

佐倉市子ども・子育て支援に係るニーズ調査

【就学前児童保護者・小学生児童保護者】

結果報告書

【速報値】

平成26年3月

佐倉市

第 1 章

調査実施の概要

1 調査の目的

佐倉市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を佐倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため実施しました。

2 調査概要

（1）調査地域

佐倉市内全域

（2）調査対象者

①就学前の子どもを持つ保護者・・・1, 000 人

②小学生の児童を持つ保護者・・・1, 000 人

（3）抽出方法

住民基本台帳より就学前児童 1, 000 人、小学生 1, 000 人の合計 2, 000 人を無作為抽出

（4）調査期間

平成 26 年 1 月 9 日（木）から 1 月 31 日（金）（2 月 14 日着分まで集計）

（5）調査方法

郵送配布・郵送回収による郵送調査法

3 調査の回収状況

調 査 票	調査対象者数（配布数）	回 収 数	回 収 率
就 学 前 児 童	1, 000	603	60, 3%
小 学 生 児 童	1, 000	543	54, 3%
合 計	2, 000	1, 146	57, 3%

4 報告書の見方について

- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方法）であっても合計値が100, 0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方法 ※複数回答であっても、選択肢が1つのケースもあります）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100, 0%を超える場合があります。
- 回答欄が未記入、または回答1つの選択肢に対して複数回答しているものにつきましては、回答内容の判別が困難なことから、分析文、グラフ、表においては反映しておりません。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

5 アンケート回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、アンケート票が少ないと誤差は大きく、アンケート票が多いと誤差は少なくなります。

票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。

統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差：3～5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると、概ね400～1, 100票程度であることが算出されます。

サンプル数（アンケートの有効回答票数）と誤差との関係式

$$\text{必要なサンプル数} = (\text{有意水準}^2 \times P(1 - P)) \div \text{目標誤差}\%^2$$

有意水準：統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数（＝1, 96）

P：誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0, 5

目標誤差：3～5%以内であれば良いとされている

6 回収票との誤差

実施の結果として仮に1, 000票の回答があったとし、上記の式にて逆算すると誤差は3, 1%となります。これは、例えば違う人を対象にして今回と同じ調査を100回行った場合でも、有意水準5%なので95回は、その結果の%の値が±3, 1以内でしか変わらないということになります。

•

第 2 章

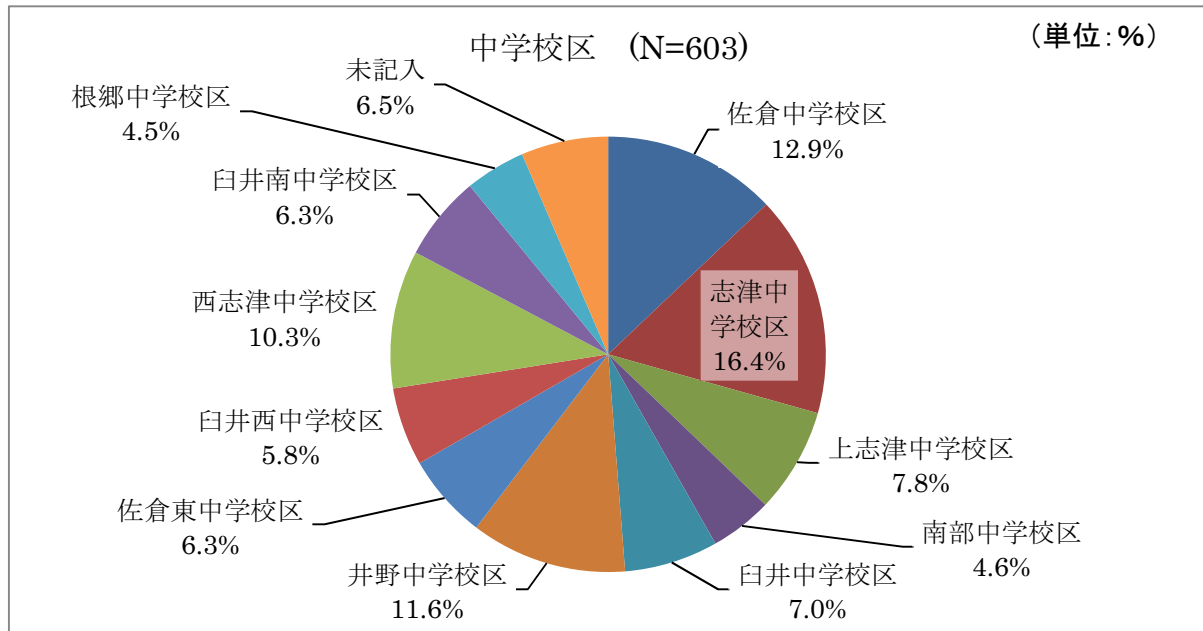
就学前児童調査

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる学区を選んでください。(単数回答)

中学校区についてみると、志津中学校区が16, 4%と最も高く、次いで佐倉中学校区の12, 9%、井野中学校区の11, 6%の順となっています。

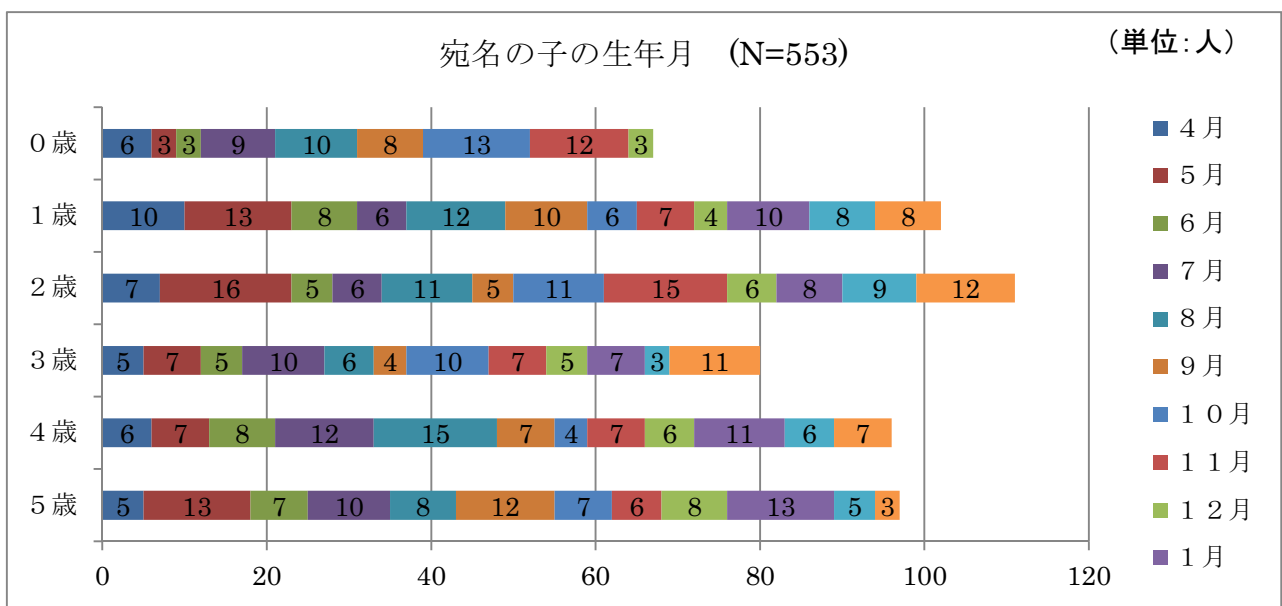
南部中学校区は4, 6%、根郷中学校区は4, 5%と低くなっています。



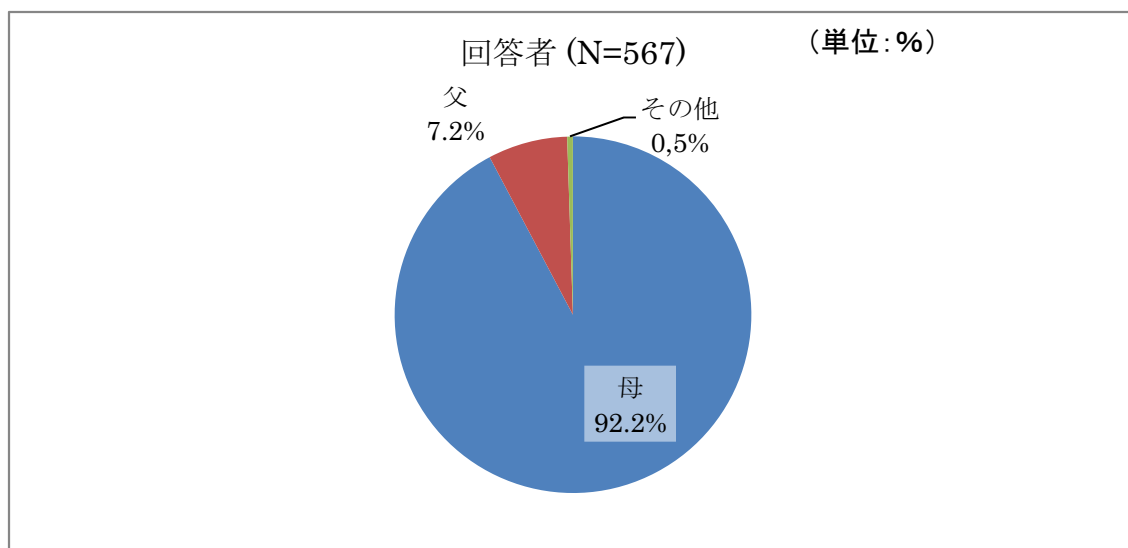
ご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

年齢順



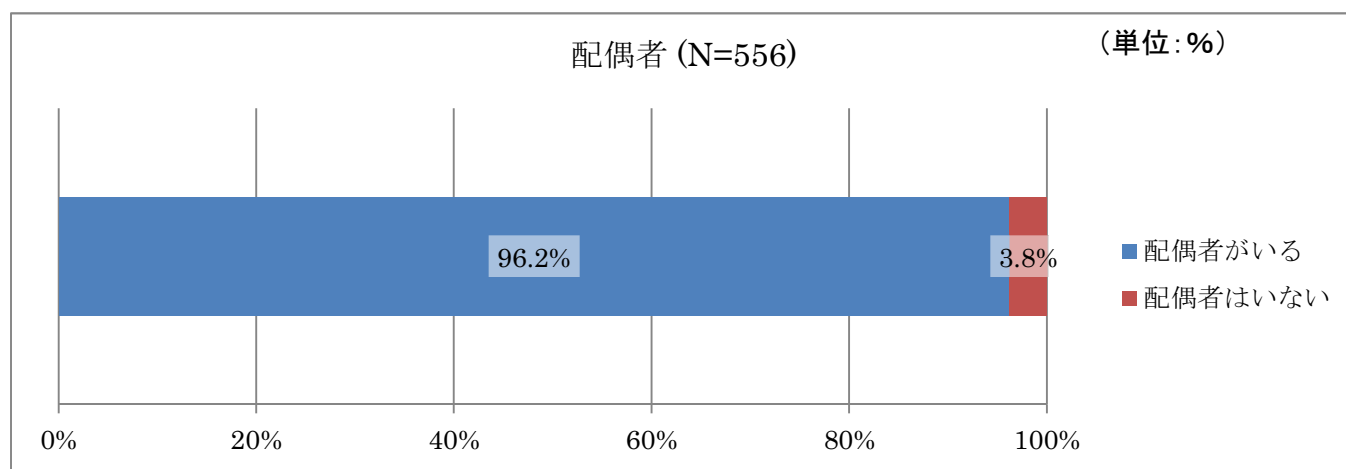
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(単数回答)



回答者についてみると、「母親」と回答した人が92.2%で大部分を占めています。

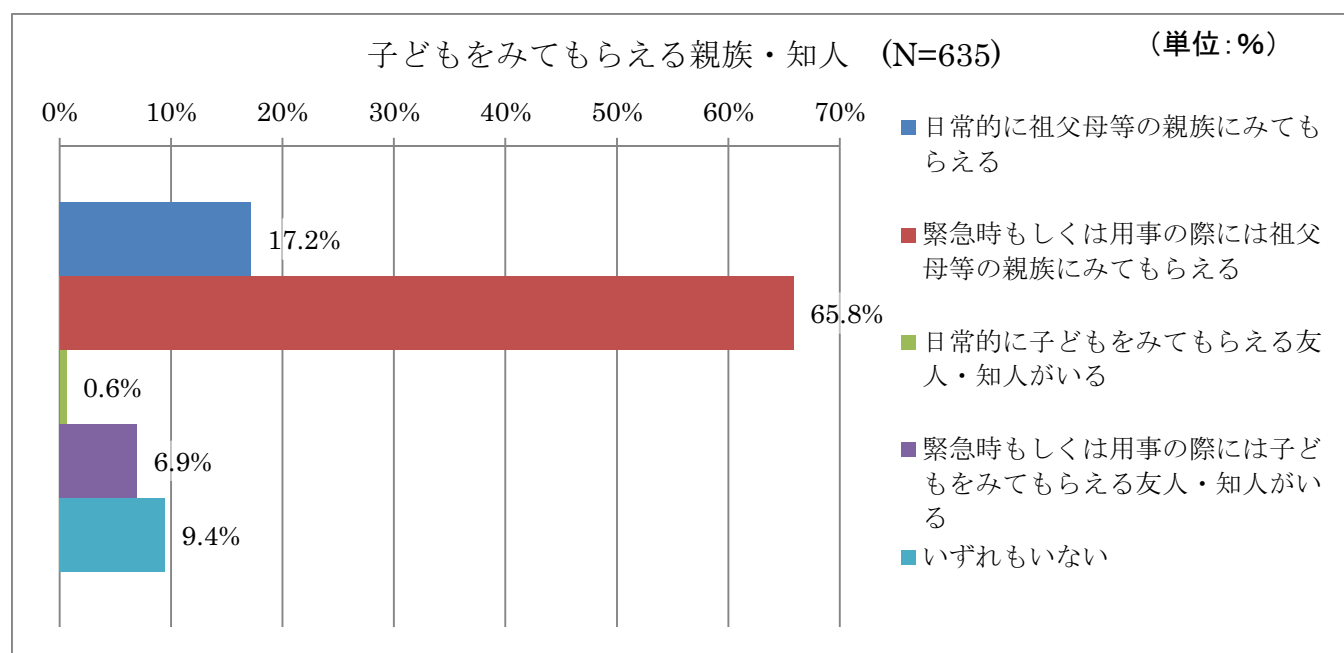
その他で「祖母」と答えた人が3人いました。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(単数回答)



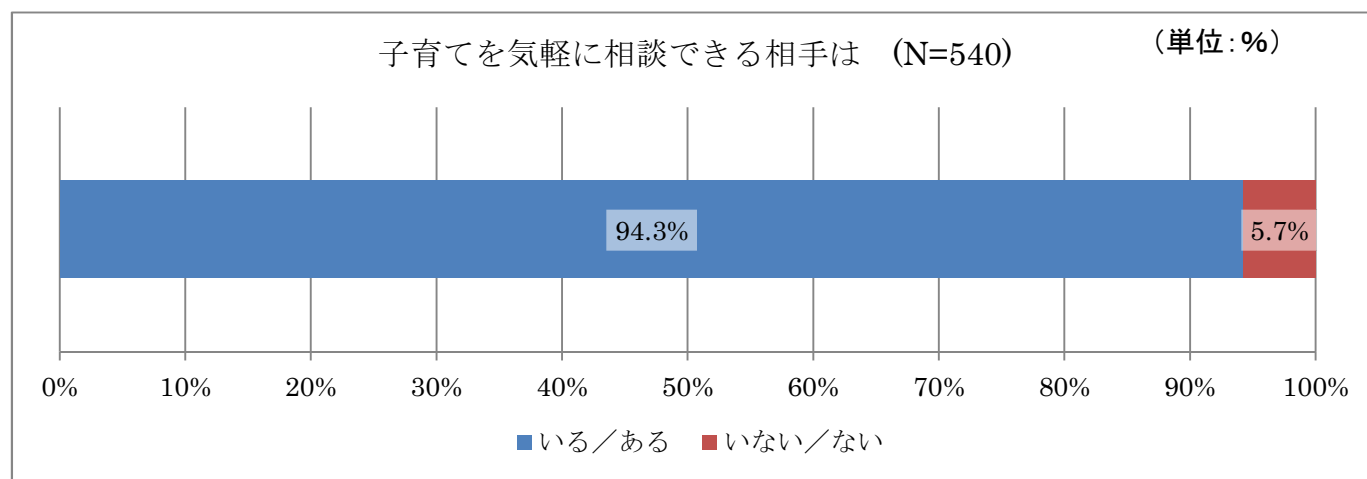
回答者の配偶者の有無についてみると、「配偶者がいる」が96.2%となっています。

問 1 0 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)



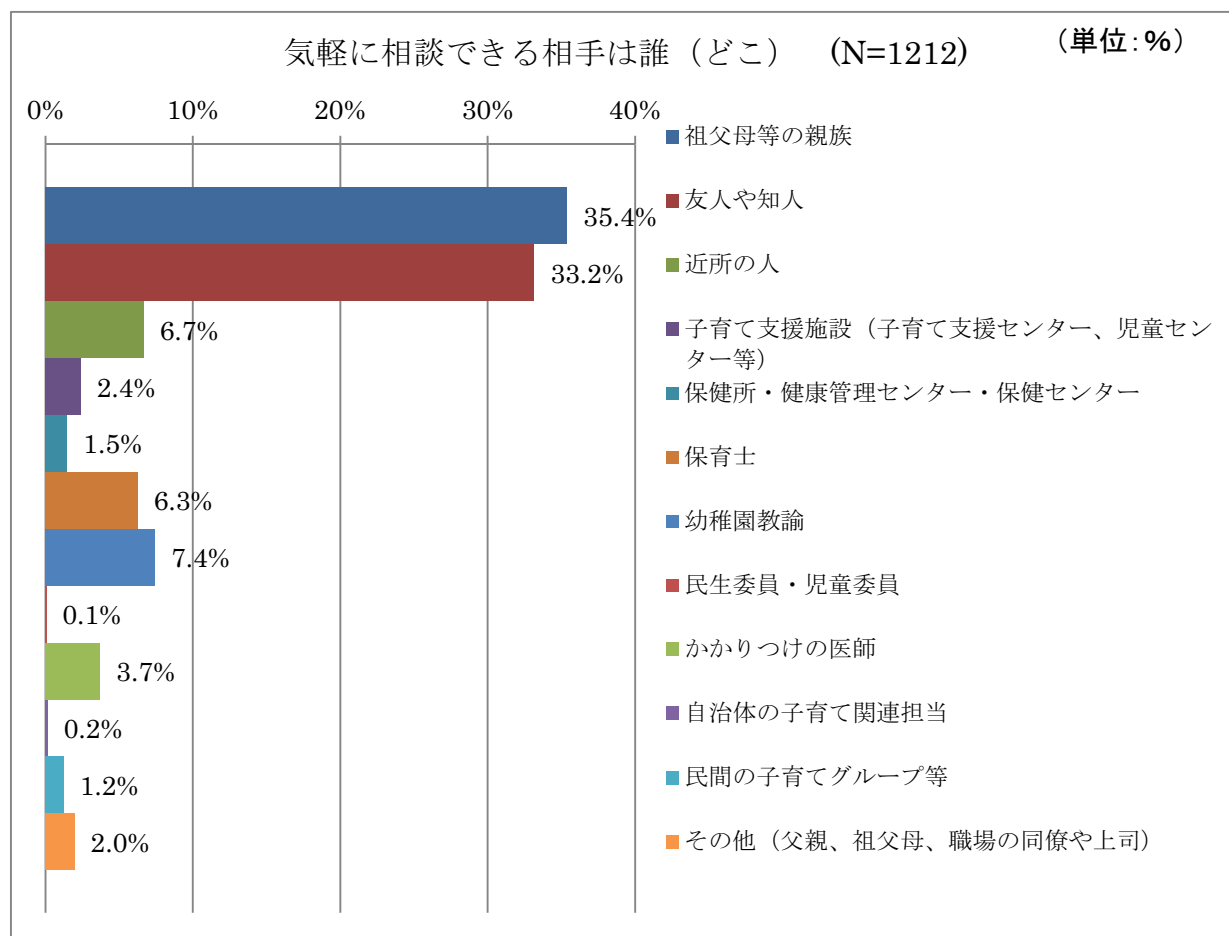
「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人と、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人の合計が83%で、祖父母等の親族にみてもらえるというケースが大部分を占める結果となりました。

問 1 1 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(単数回答)



子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所が「いる／ある」と回答した人は94.3%、「いない／ない」と回答した人は5.7%という結果となりました。

問 1 1 - 1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。（複数回答）問 1 1 で「いる／ある」と答えた方への限定設問



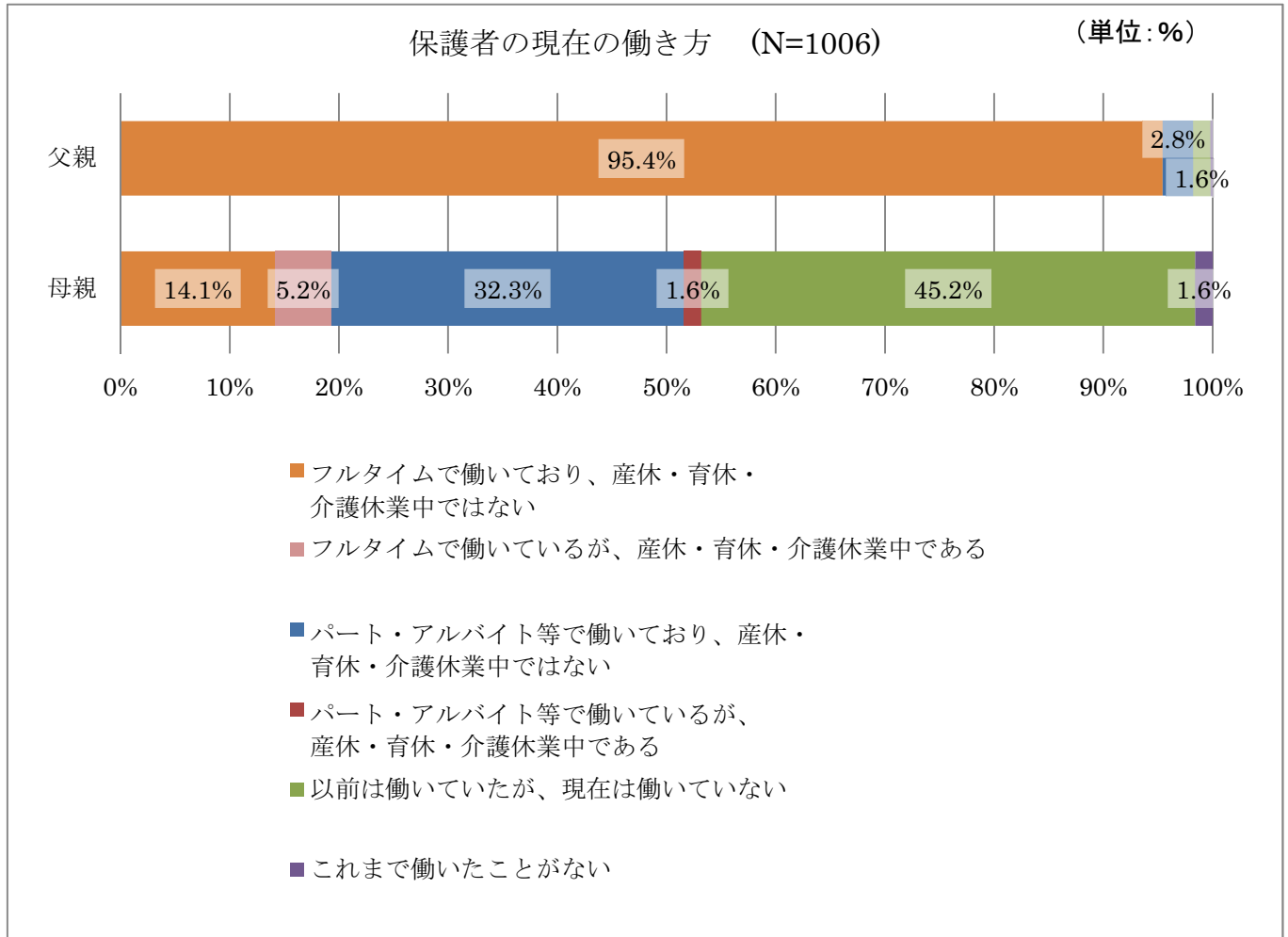
気軽に相談できる相手として、「祖父母等の親族」と答えた人は35.4％、「友人や知人」と回答した人が33.2％と高い結果となっています。

一方、「民生委員・児童委員」と回答した人は0.1％、「自治体の子育て関連担当」と回答した人は0.2％という結果でした。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ここで言う「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の働き方を言います。

また、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の働き方を言います。（単数回答）



父親の働き方をみると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」という人が95.4%を占める。「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」という人が2.8%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」という人は1.6%、「これまで働いたことがない」という人が0.2%となっています。

母親の働き方をみると、フルタイムで働いている人は19.3%おり、そのうち5.2%の人が現在、「産休・育休・介護休業中」と回答しています。

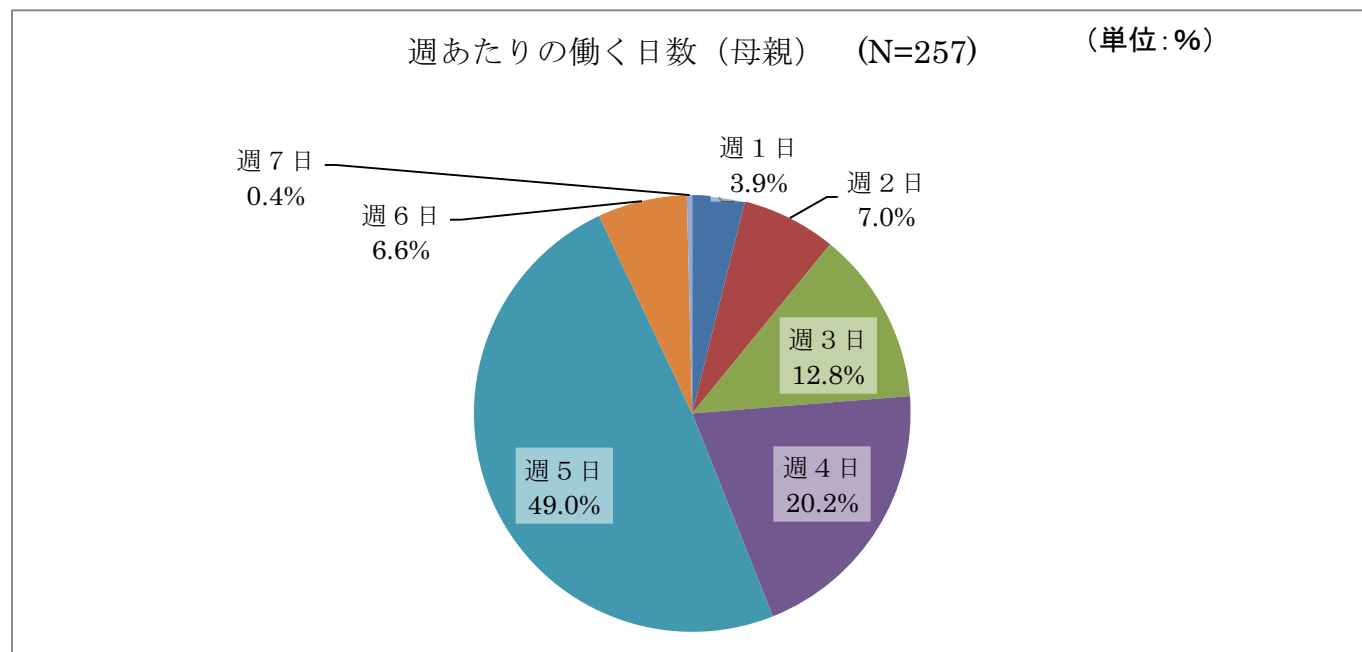
「パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である」というのは1.6%という結果でした。

「以前は働いていたが、現在は働いていない」という人は最も多い45.2%いることから、子育てや育児に専念していることが伺えます。

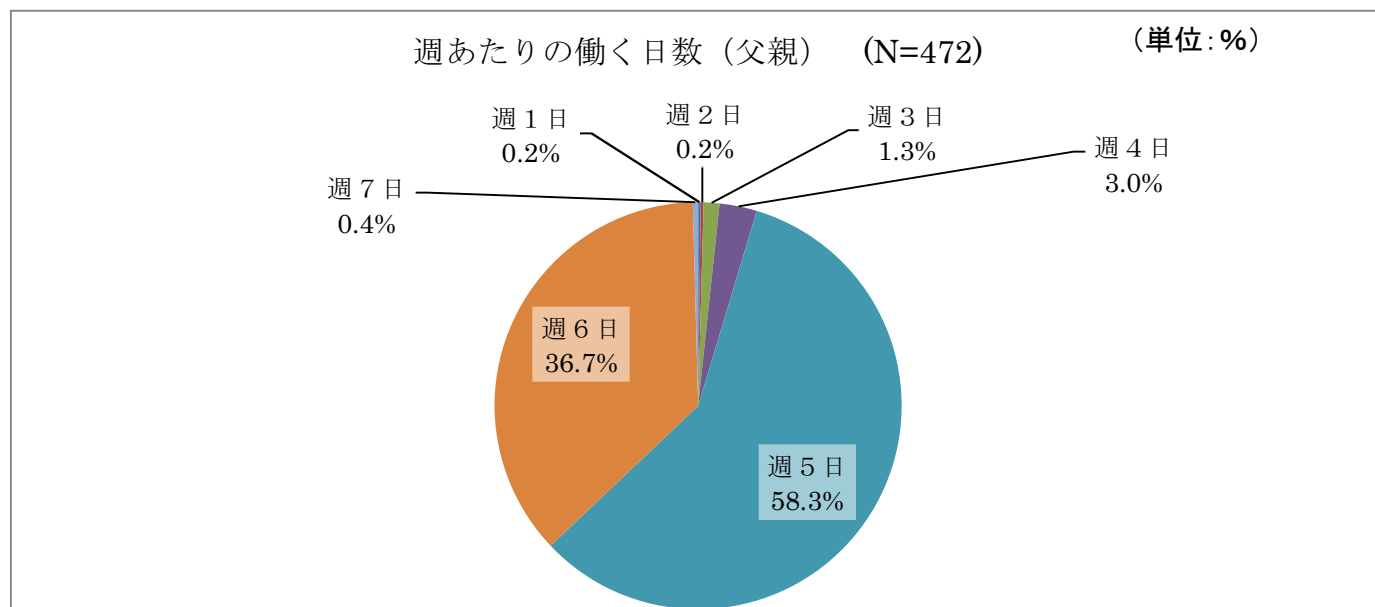
問 1 4-1 週当たりの「働く日数」、1 日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。

問 1 4 で「就労している」と答えた方への限定設問（数量回答）

母親の週当たりの「働く日数」について



父親の週当たりの「働く日数」について

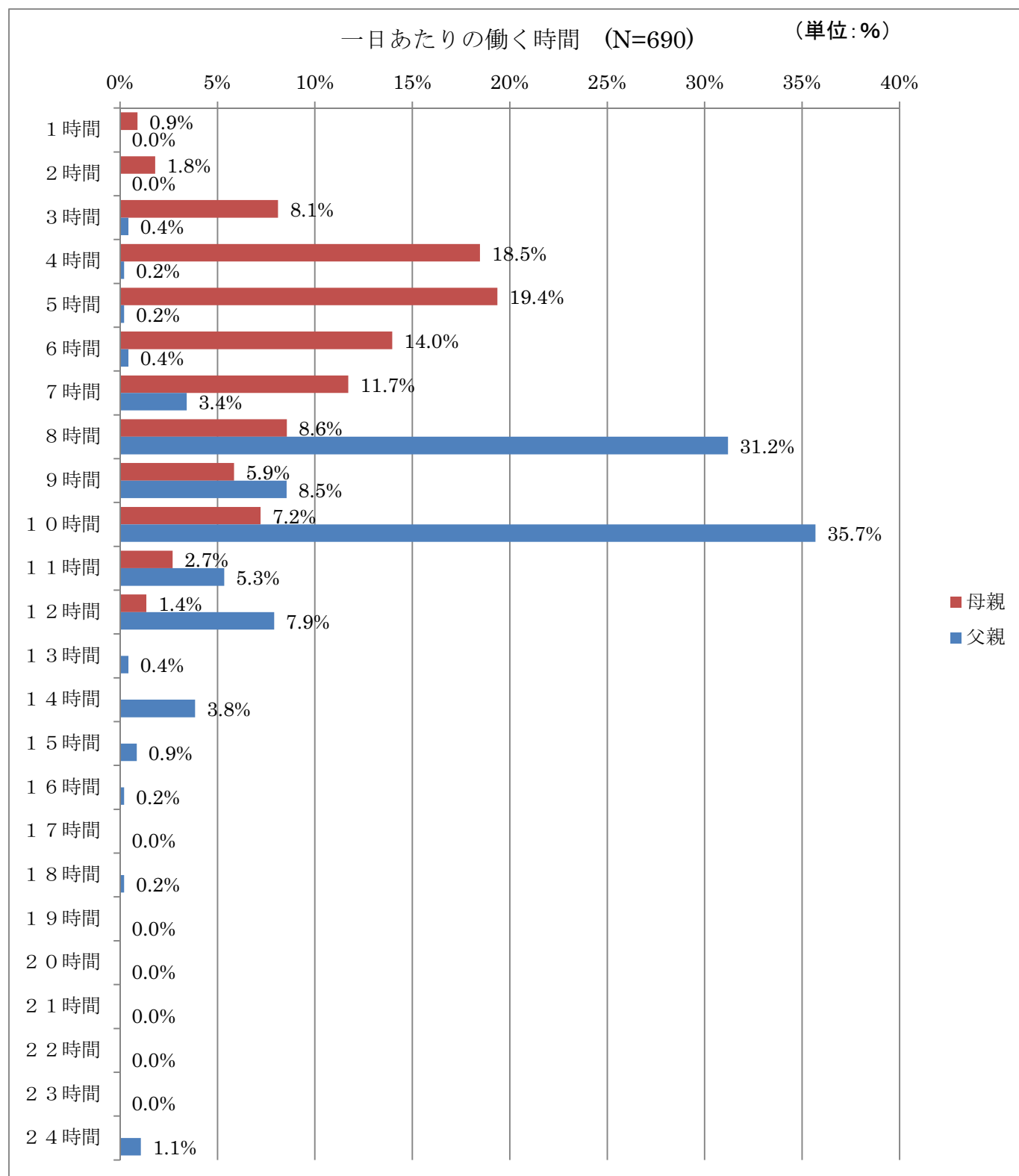


母親、父親ともに、週 5 日働いているという人が最も多い結果でした。

週 7 日勤務していると回答した人は、母親、父親ともに 0.4% います。

自営業等により不規則、または休みが決まっていないという理由が伺えます。

1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」について



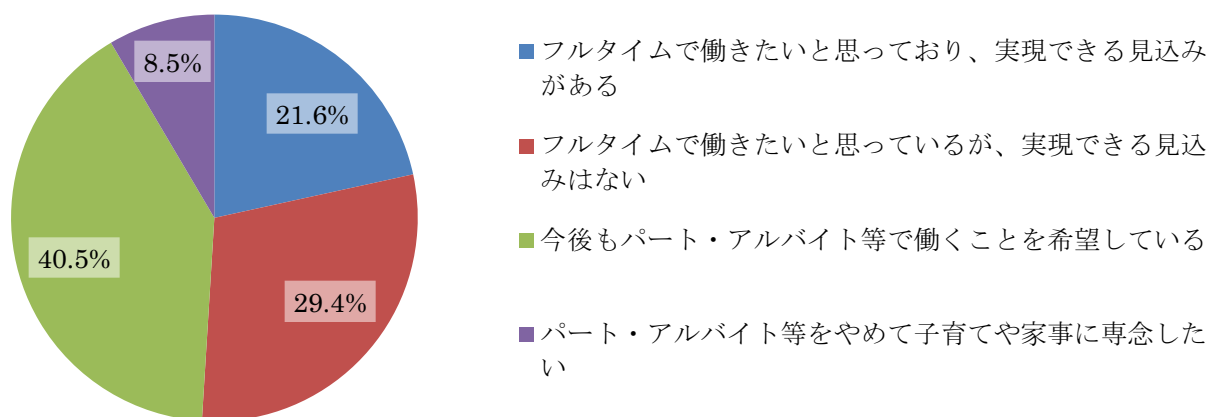
1日あたりの働く時間については、母親は5時間が19.4%で最も多く、次いで4時間の18.5%となっています。

父親についてみると、10時間が35.7%と最も多く、次いで8時間の31.2%となっています。

問 1 5 フルタイムで働きたいと思いますか。問 1 4 で「パート・アルバイト等で働いている」と答えた方への限定設問（単数回答）

母親

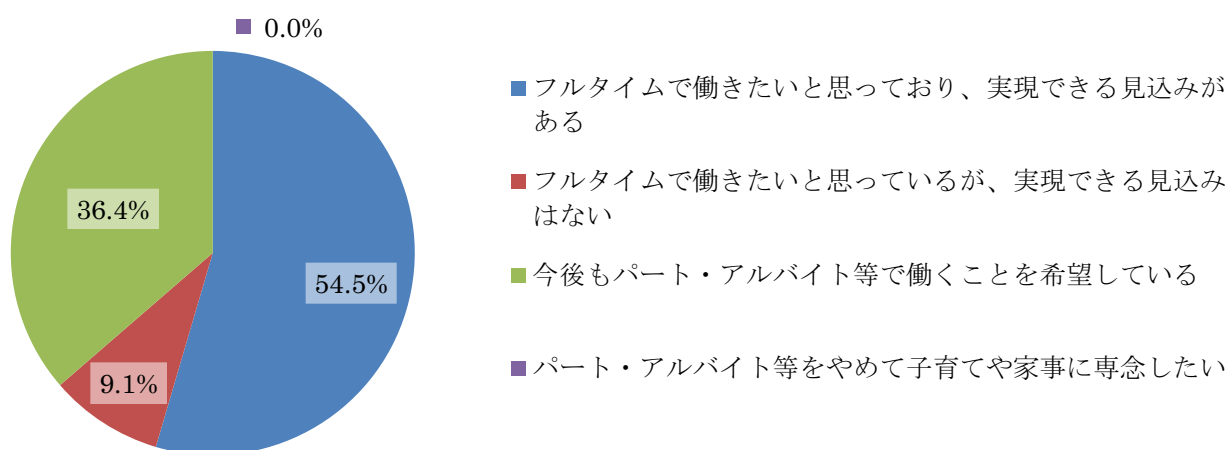
パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向（母親）（N=153）（単位：%）



「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人が40, 5%と最も多いことがわかりました。

父親

パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向（父親）（N=11）（単位：%）

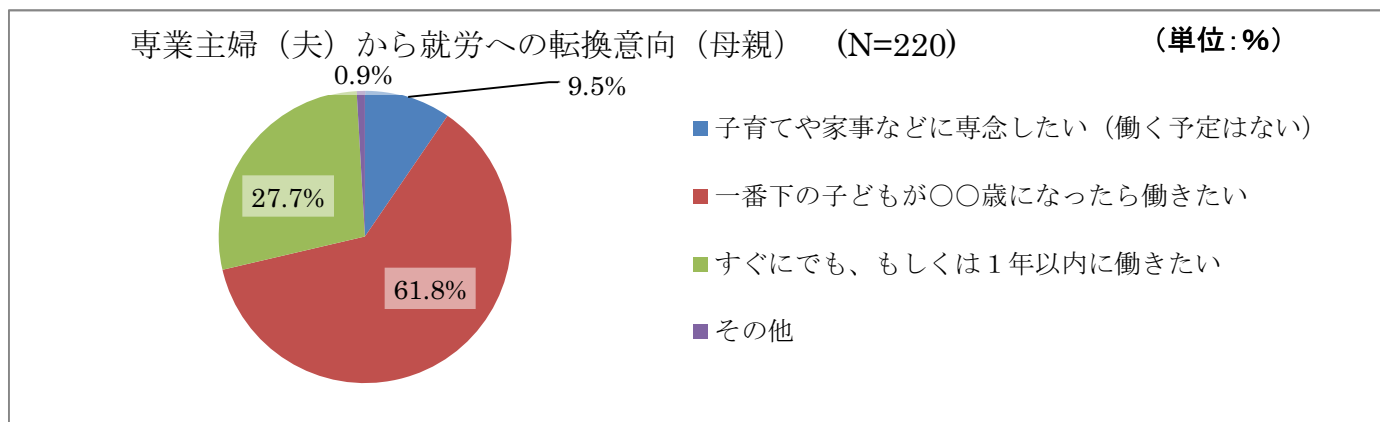


「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」と回答した人が54, 5%と最も多いことがわかりました。

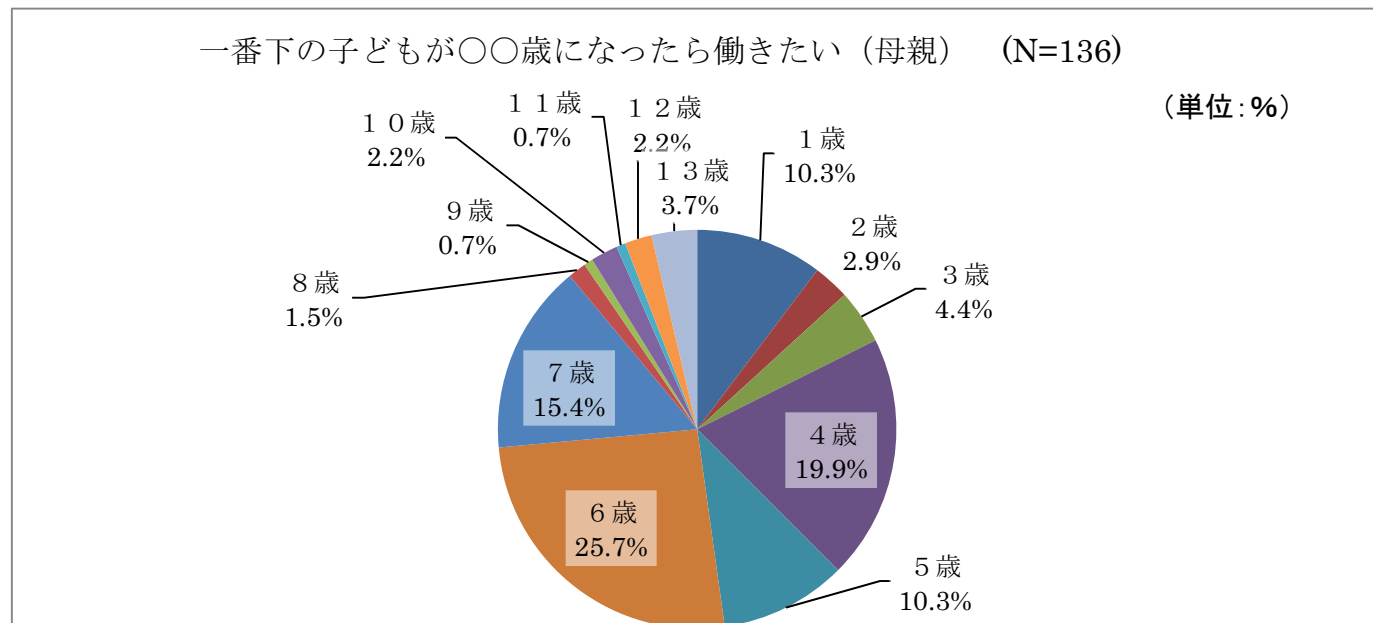
問 1 6 働きたいという希望はありますか。

問 1 4 で「以前は働いていたが、現在は働いていない」または「これまで働いたことがない」と答えた方への限定設問（数量回答）

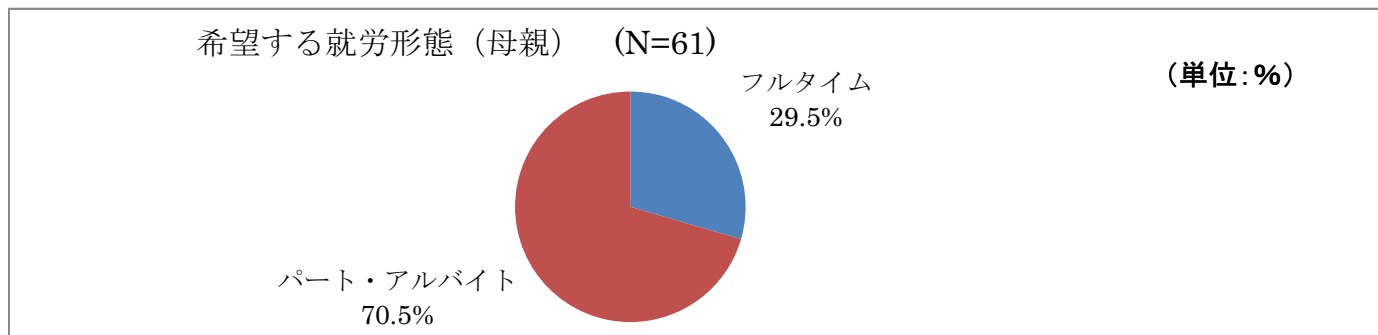
（1）母親



専業主婦から就労への意欲を持つ人は、全体で89.5％いることがわかります。

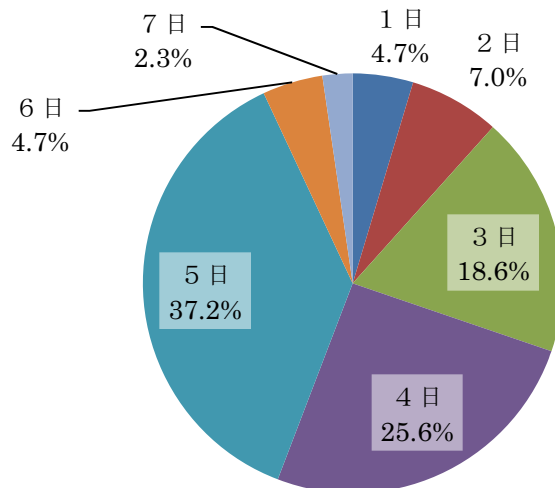


上記の表から、一番下の子どもが小学生になるまでは育児をしたいということが伺えます。



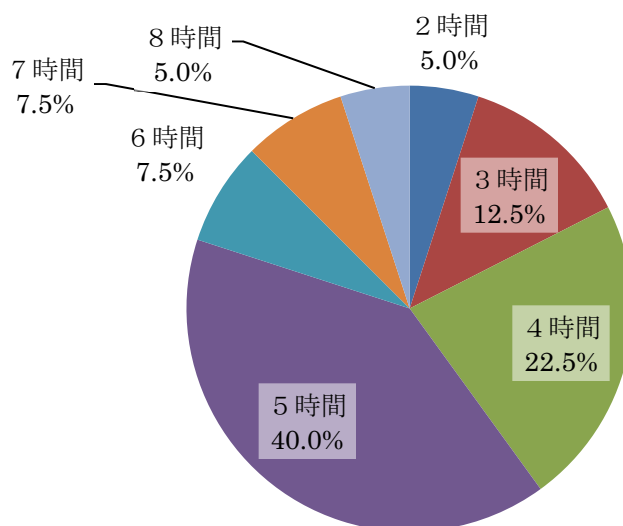
希望する就労形態では、フルタイムを希望する人の倍以上の人が、パート・アルバイトでの就労を考えていることがわかります。

1 週当たりの希望就労日数（パートタイム、アルバイト）（母親）
（N=43）
（単位：％）



1 週当たりの希望就労日数は5日を希望している人が37.2%と最も多くなっています。

1 日当たりの希望就労時間（パートタイム、アルバイト）（母親）
（N=43）
（単位：％）



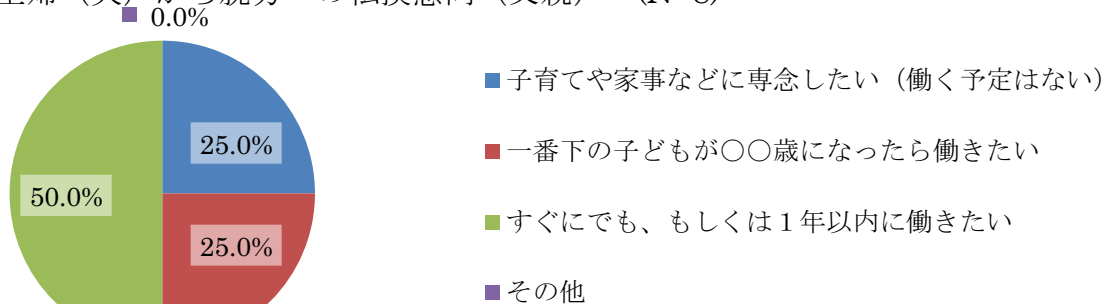
1 日当たりの希望就労時間は5時間を希望する人が40.0%と、最も多いことがわかりました。

その他としまして、持病や病気のため働けないという人が2人いました。

(2) 父親

専業主婦（夫）から就労への転換意向（父親）（N=8）

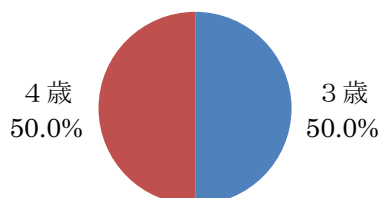
（単位：％）



50％の人がすぐにでも働きたいという就労意欲を示しています。

一番下の子どもが〇〇歳になったら働きたい（父親）（N=2）

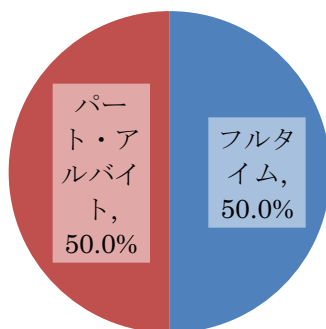
（単位：％）



子どもが保育園や幼稚園に入園してから働きたいということが伺えます。

希望する就労形態（父親）（N=4）

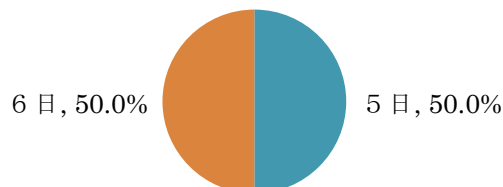
（単位：％）



得られた回答では、希望する就労形態はフルタイムとパート・アルバイトが同率となっています。

1週当たりの希望就労日数（パートタイム、アルバイト）（父親）（N=2）

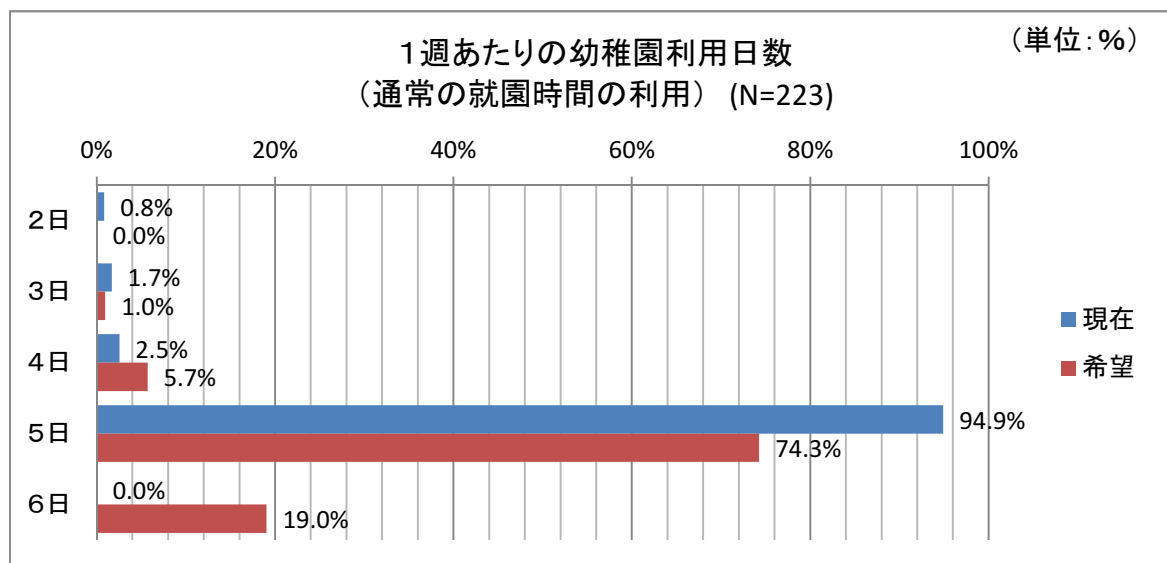
（単位：％）



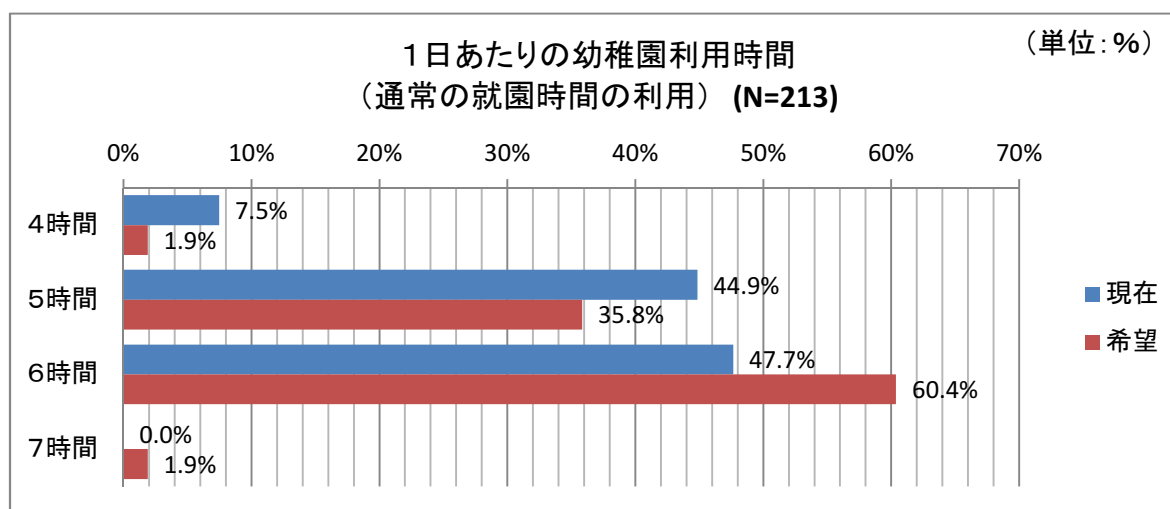
パート・アルバイトでの希望就労日数は、5日、6日ともに50％です。

問 17 宛名のお子さんは、平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（数量回答）

1. 幼稚園

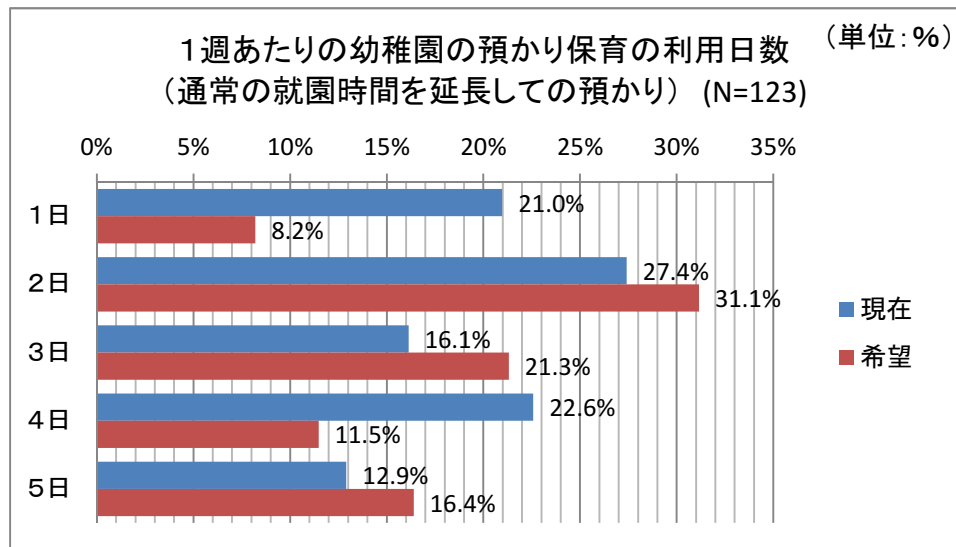


1週あたりの利用日数と希望日数は、いずれも5日が最も多い結果です。

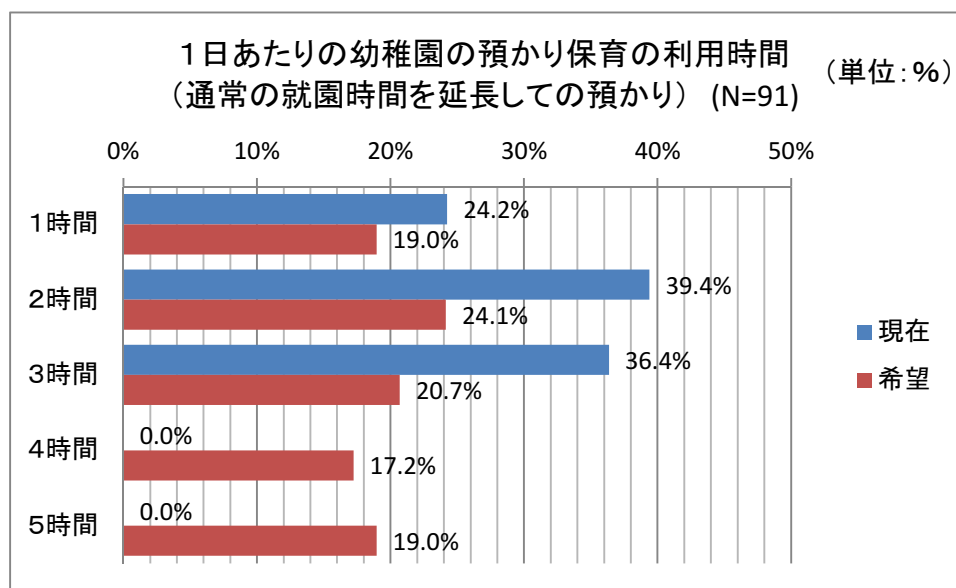


1日あたりの利用時間と希望時間は、いずれも6時間が最も多い結果です。

2. 幼稚園の預かり保育

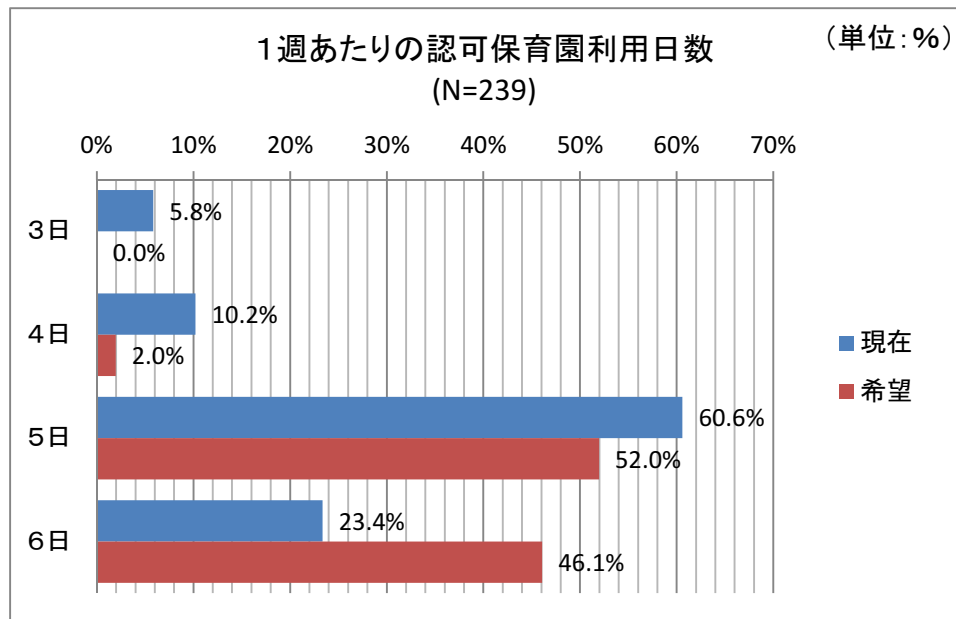


1週あたりの利用日数と希望日数は、いずれも2日が最も多い結果です。

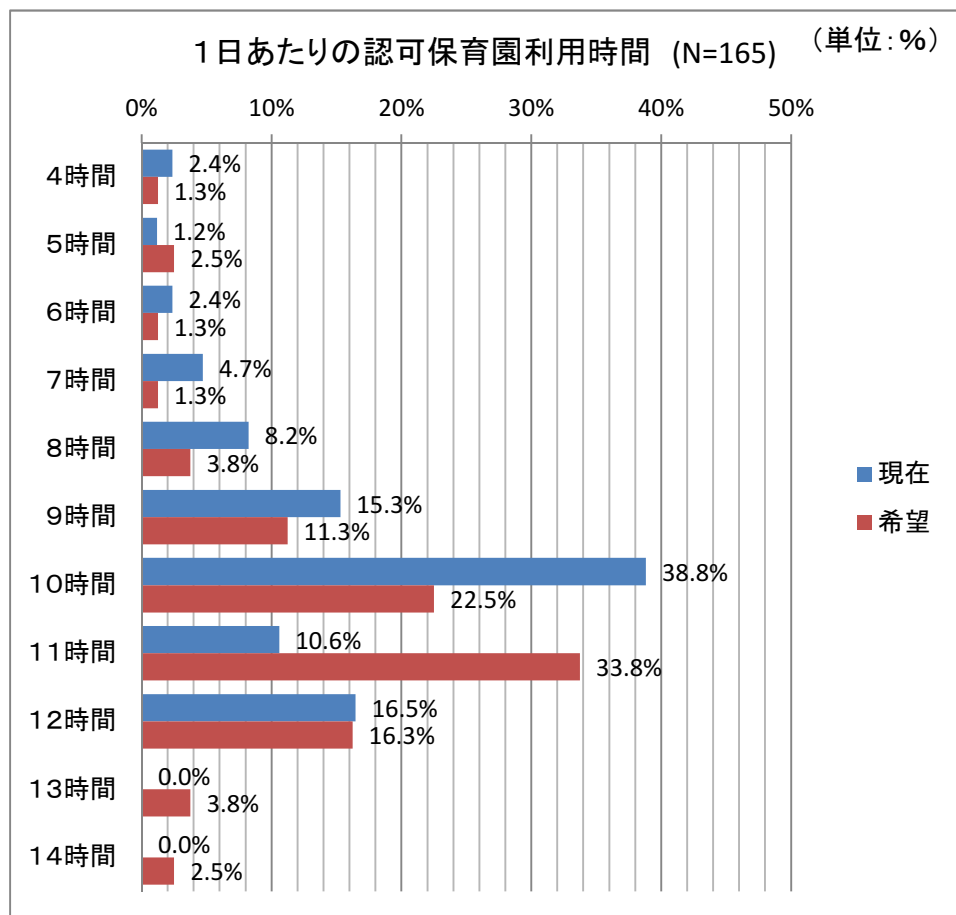


1日あたりの利用時間と希望時間は、いずれも2時間が最も多い結果です。

3. 認可保育園幼稚園

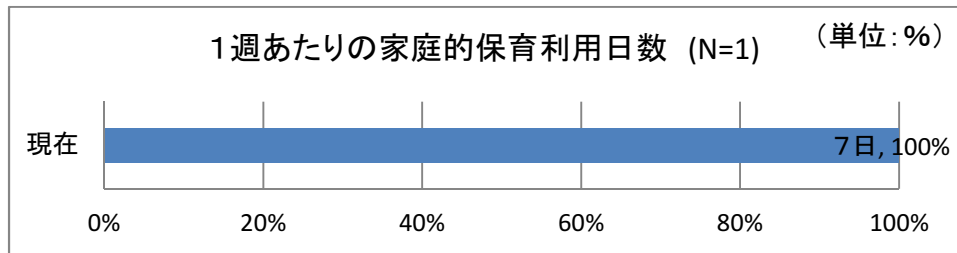


1週あたりの利用日数と希望日数は、いずれも5日が最も多い結果です。



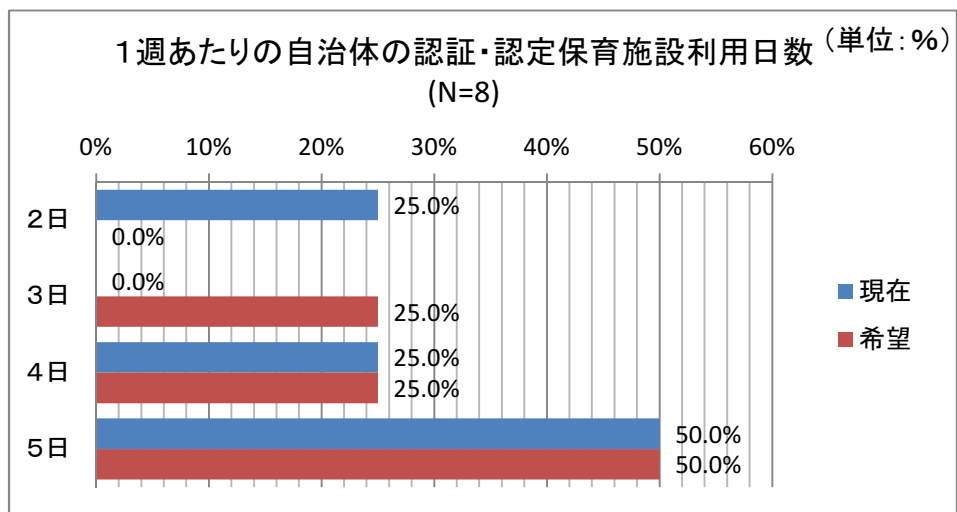
1日あたりの利用時間10時間、希望時間は11時間となっています。

4. 家庭的保育園



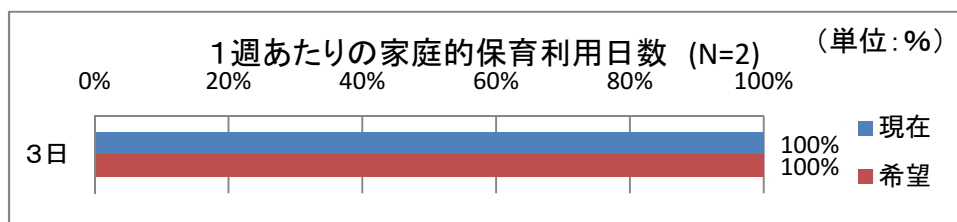
1週あたりの利用日数と希望日数は7日でした。(他未記入)

6. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）



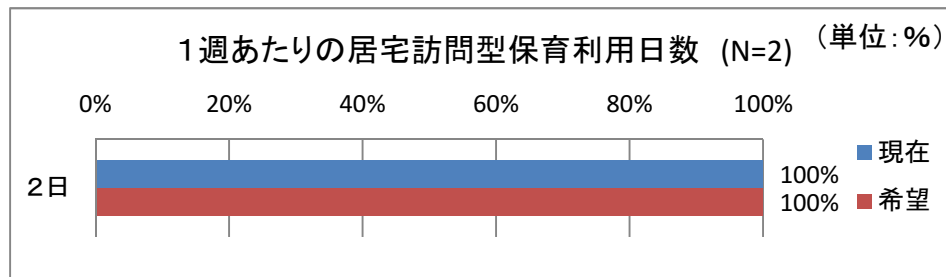
1週あたりの利用日数と希望日数は5日でした。

7. その他の認可外の保育施設



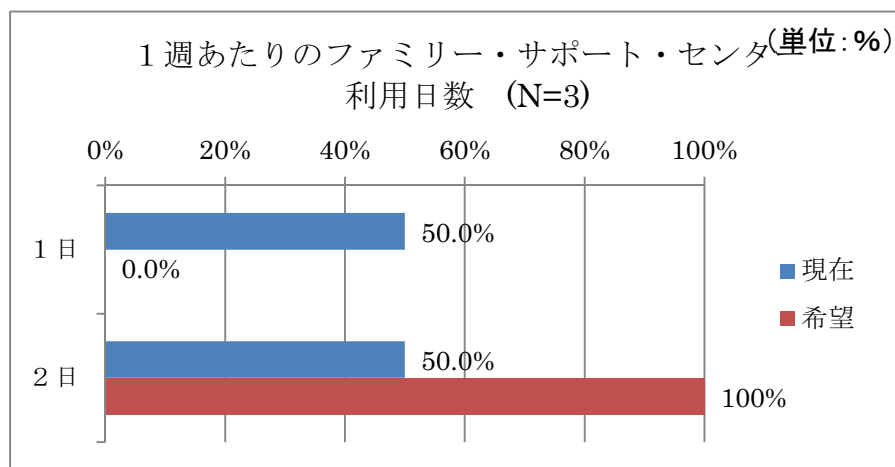
1週あたりの利用日数と希望日数は3日でした。

8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）



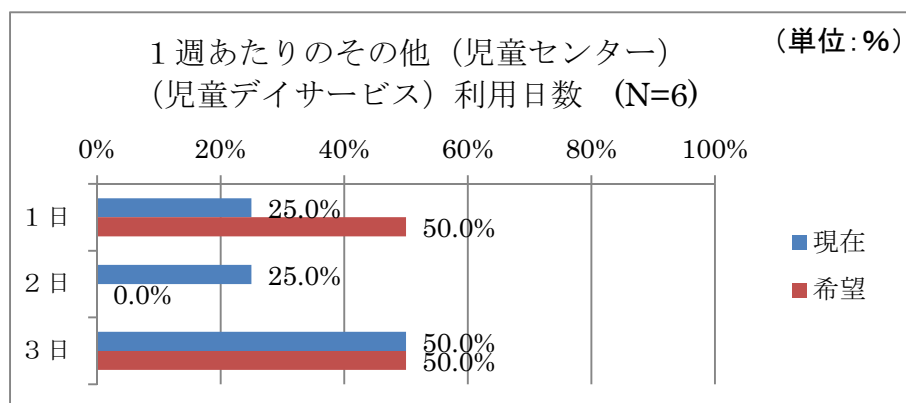
1週あたりの利用日数と希望日数は2日でした。

9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）



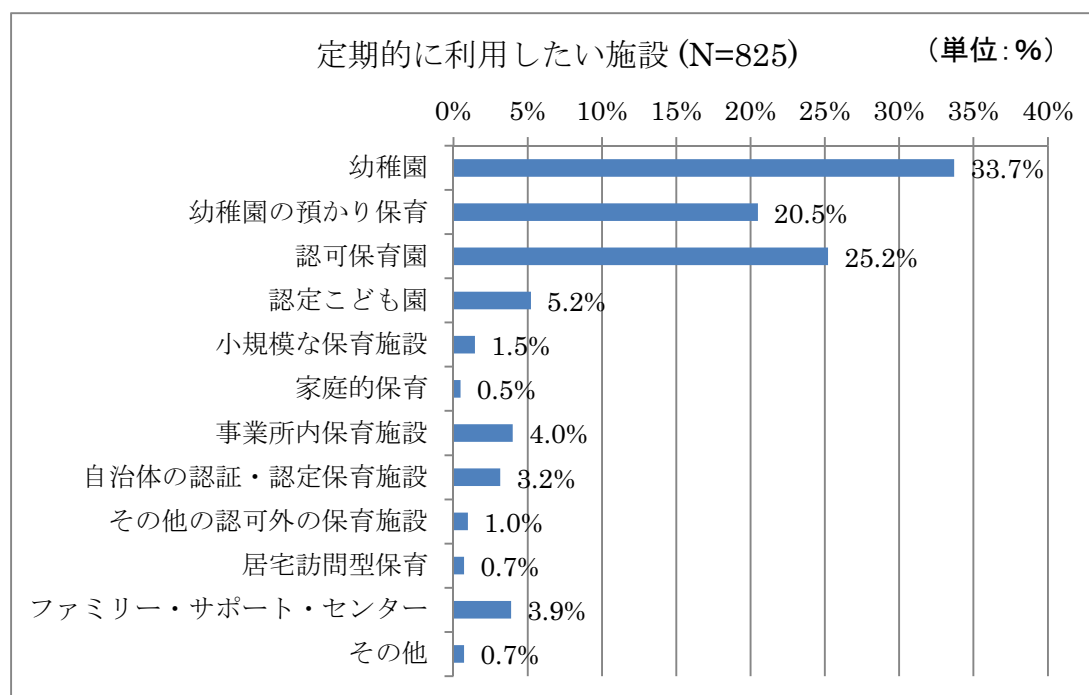
1週あたりの利用日数は、1日・2日がともに50%。希望日数は2日でした。

10. その他



その他としまして、児童センター・児童デイサービスの1週あたりの利用日数は、現在の状況が3日と多く、希望は1日と3日という回答でした。

問18 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える施設はどこですか。(複数回答)

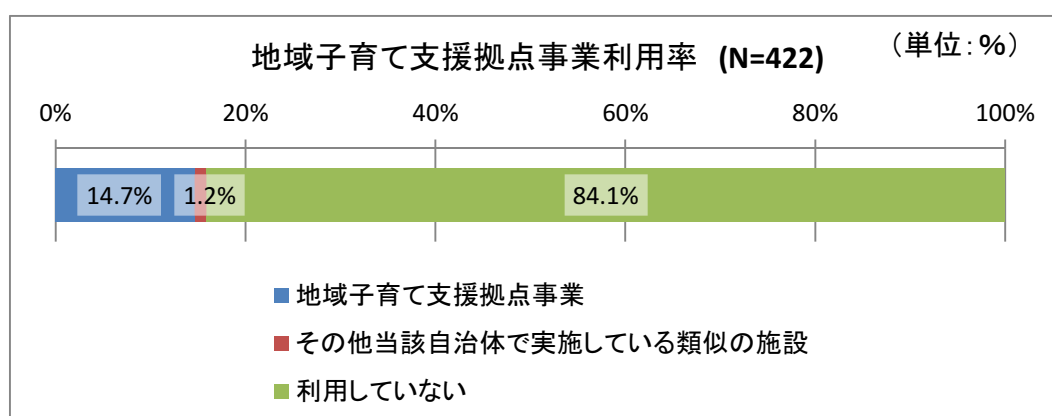


平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える施設で最も多かった施設は、幼稚園の33.7%、次いで認可保育園の25.2%でした。

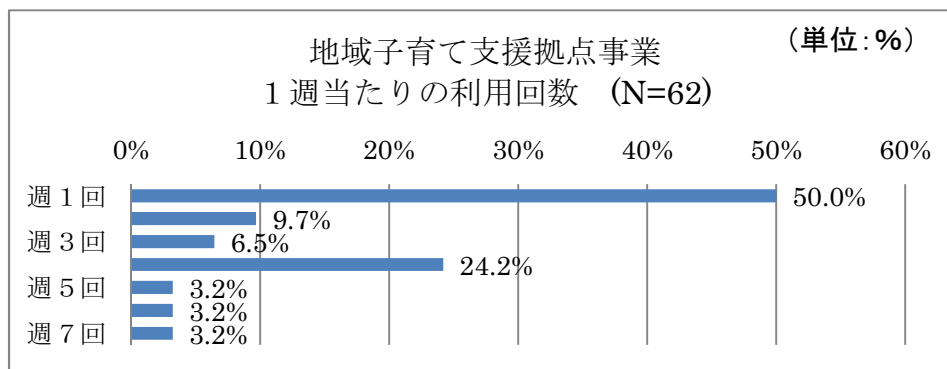
地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問19 地域子育て支援拠点事業（レイクピアうすい内の子育て支援センターや、保育園の園庭開放など、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。(複数回答)

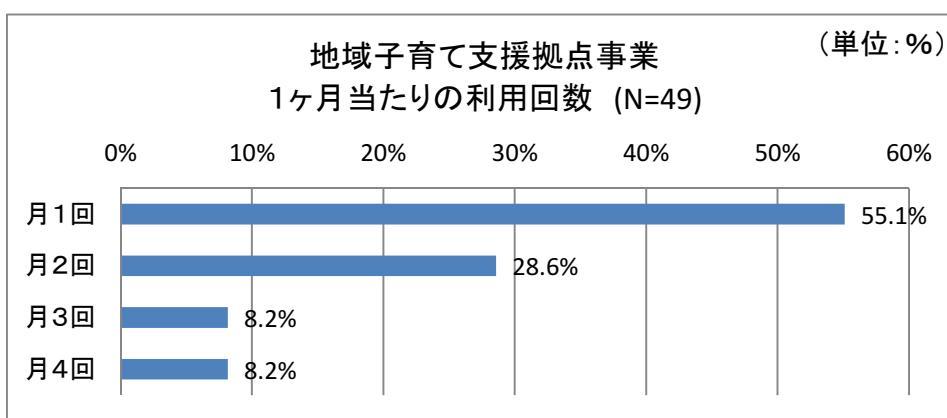
大別分類はグラフのとおりです



1. 地域子育て支援拠点事業



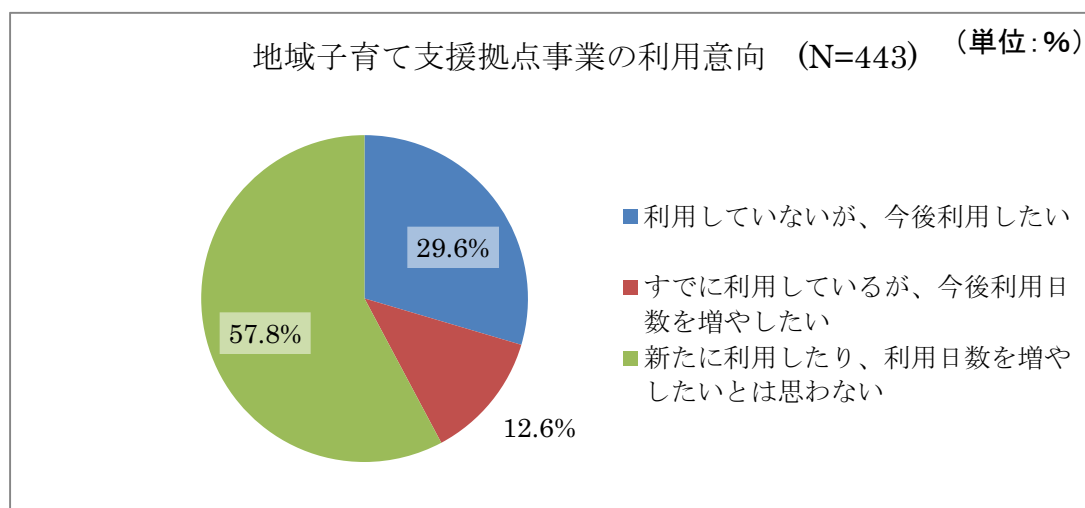
1 週当たりの利用回数は、週 1 回が最も多い 50% となっています。



1 ヶ月当たりの利用回数は、月 1 回と答えた人が最も多い 55.1% です。

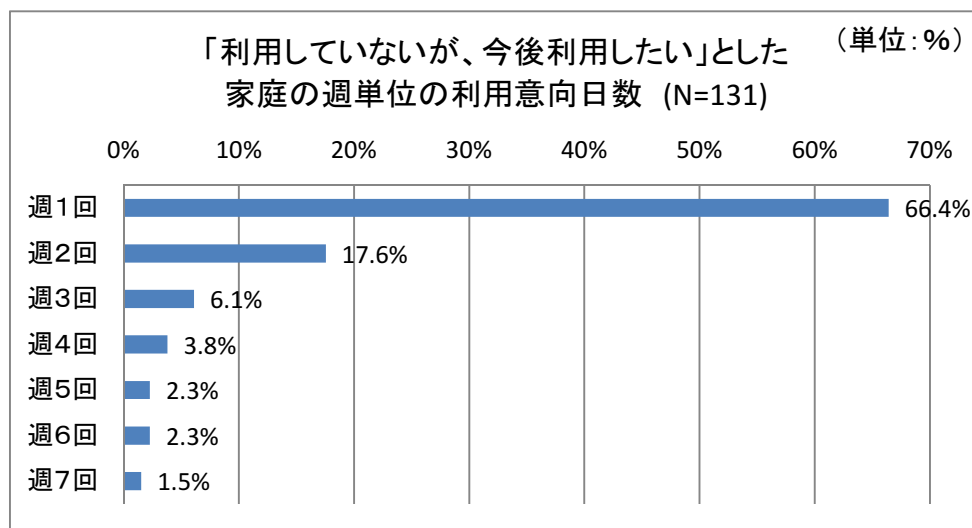
問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後は利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(単数回答)

大別分類



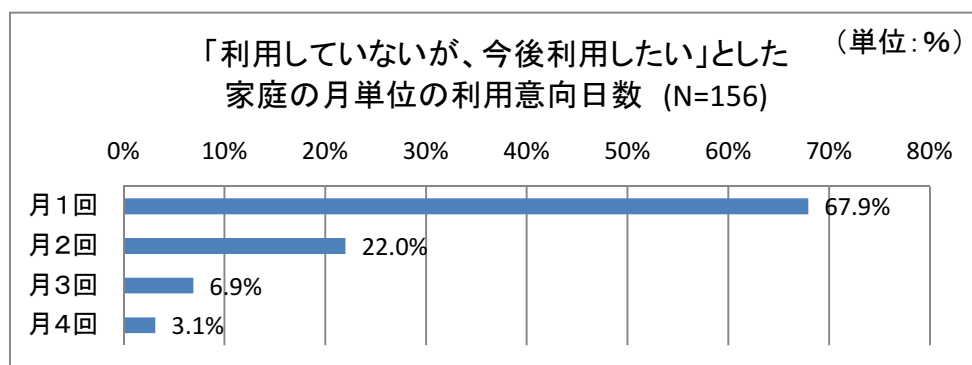
1. 利用していないが、今後利用したい

週単位



1週あたりでは、週1回利用したいという人が66.4%と最も多い結果です。

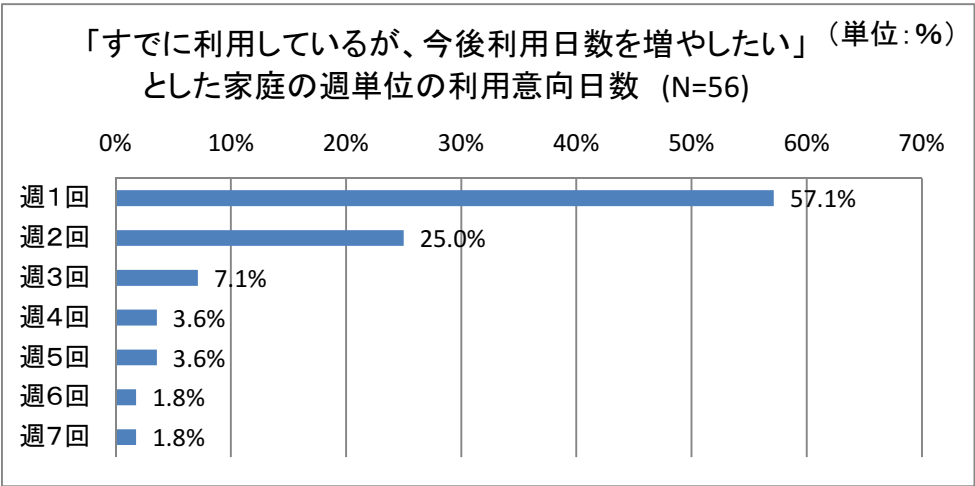
月単位



1ヶ月あたりでは、月1回利用したいという人が67.9%と最も多い結果でした。

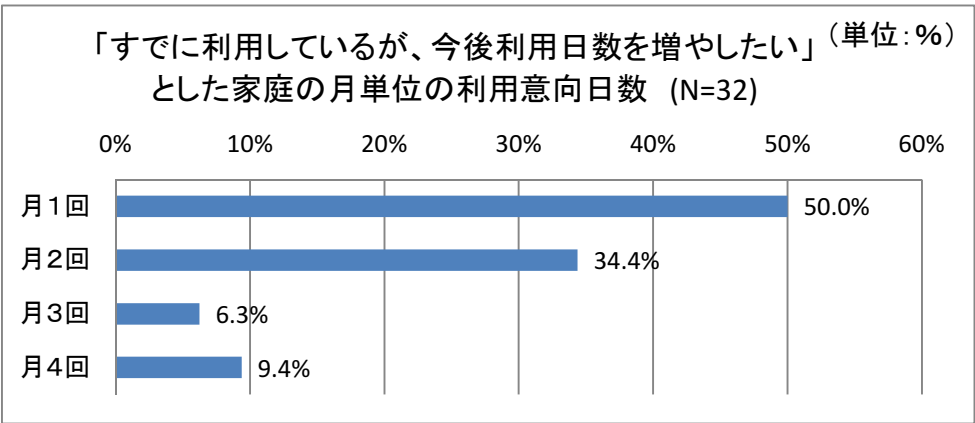
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

週単位



1 週あたりでは、週 1 回利用したいという人が 57.1%と最も多い結果です。

月単位

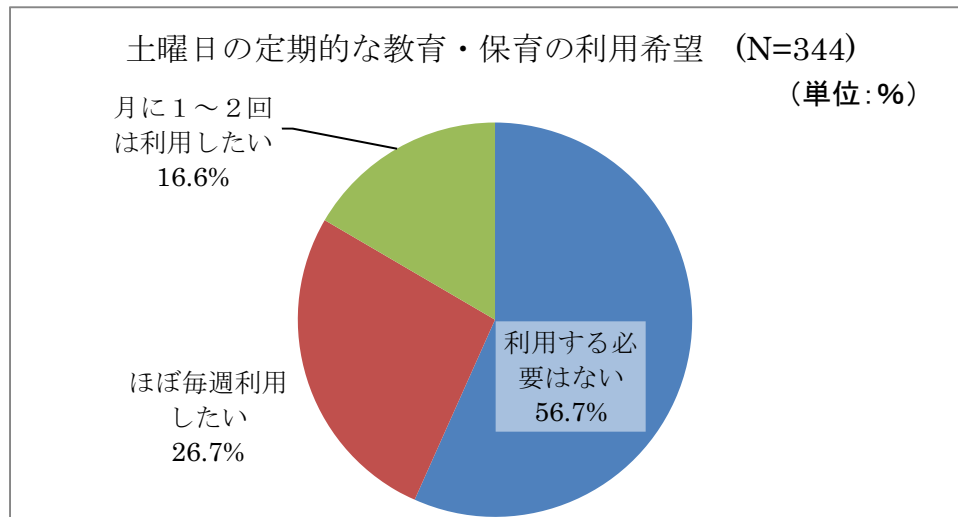


1 ヶ月あたりでは、月 1 回利用したいという人が 50.0%と最も多い結果でした。

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）（単数回答）

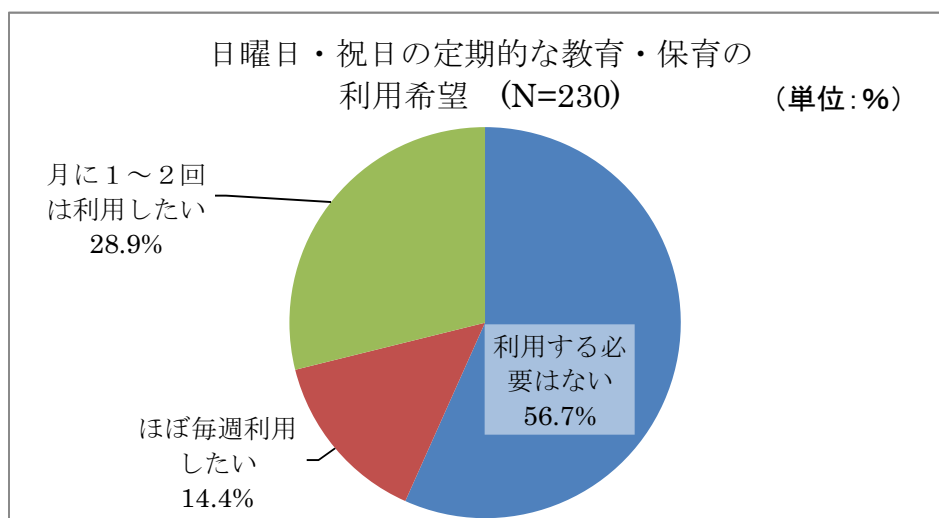
（1）土曜日 回答は以下のとおりです。

1. 利用希望



（2）日曜日・祝日

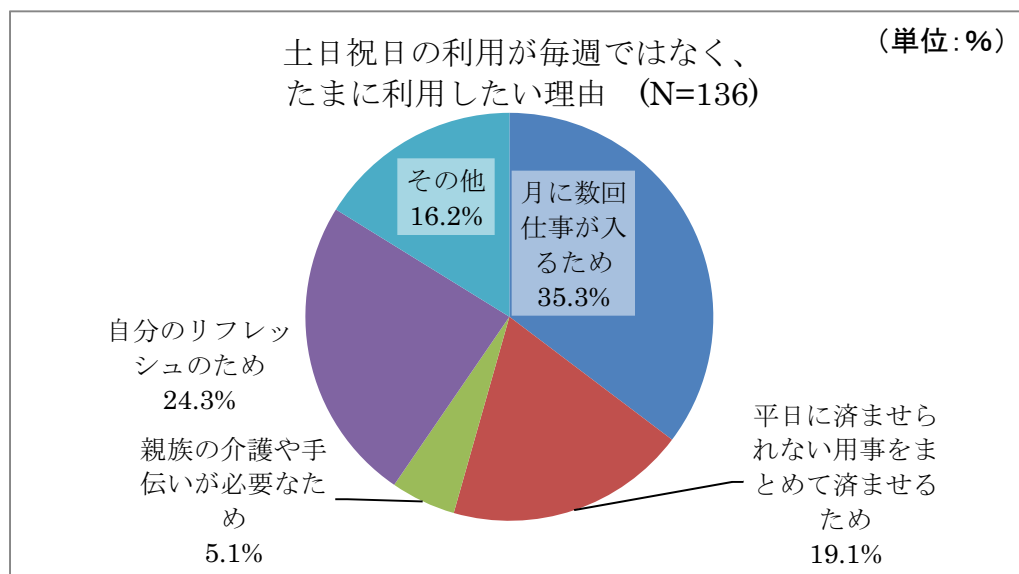
1. 利用希望 回答は以下のとおりです。



問 2 3 - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

問 2 3 の (1) もしくは (2) で「月に 1 ～ 2 回は利用したい」と答えた人への限定設問

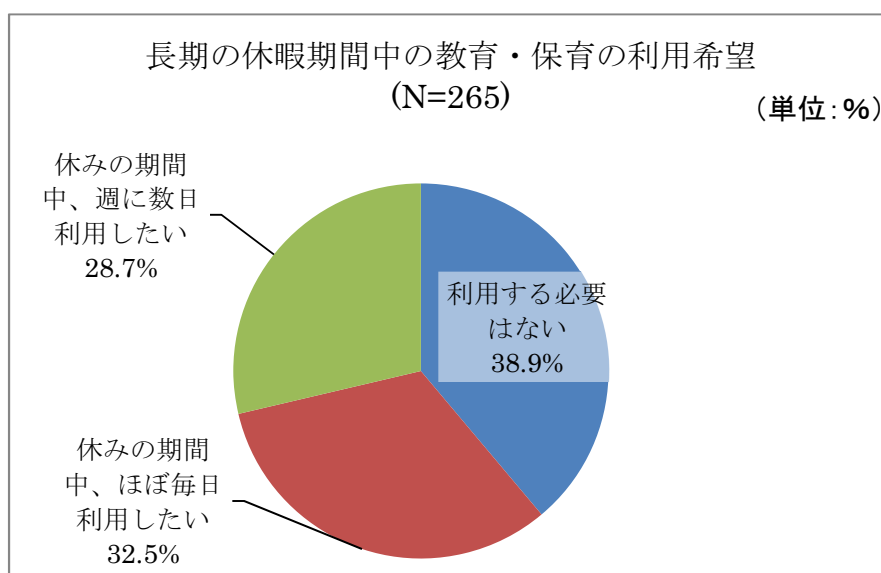
(複数回答)



たまに利用したい理由として、「月に数回仕事が入るため」と回答した人が 3 5 , 3 % と最も多い理由でした。

問 2 4 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。幼稚園を利用している人への限定設問 (複数回答)

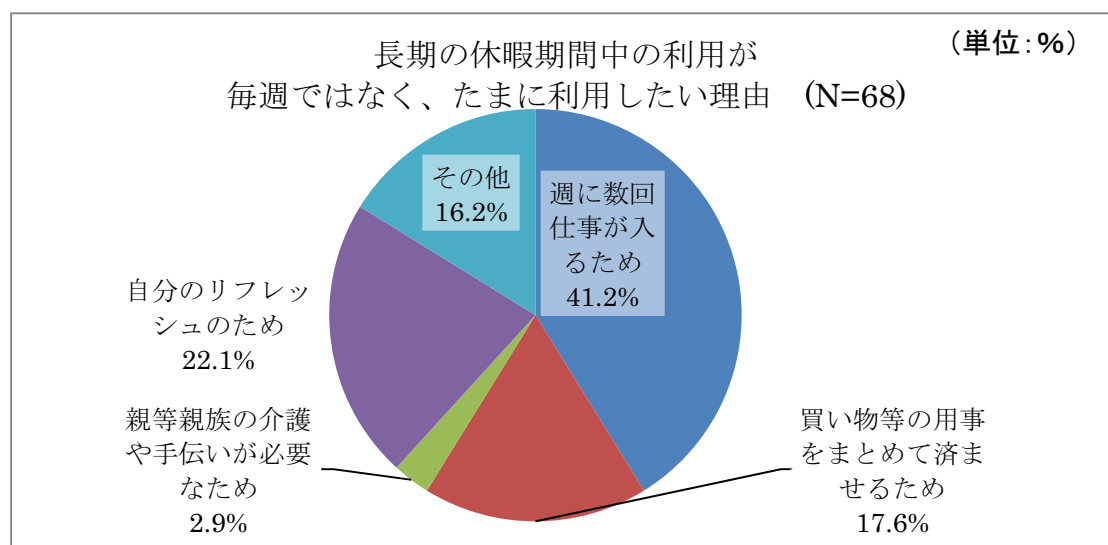
1. 利用希望 回答は以下のとおりです。



「利用する必要はない」と回答した人が 3 8 , 9 % と最も多い結果ですが、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」という人との差は 6 , 4 ポイントであり、「休みの期間中、週に数日利用したい」という人と合わせると、休みの日に利用したいという人の合計は 6 1 , 2 % が希望していることがわかりました。

問 2 4 - 1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

問 2 4 で、「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた人への限定設問（複数回答）

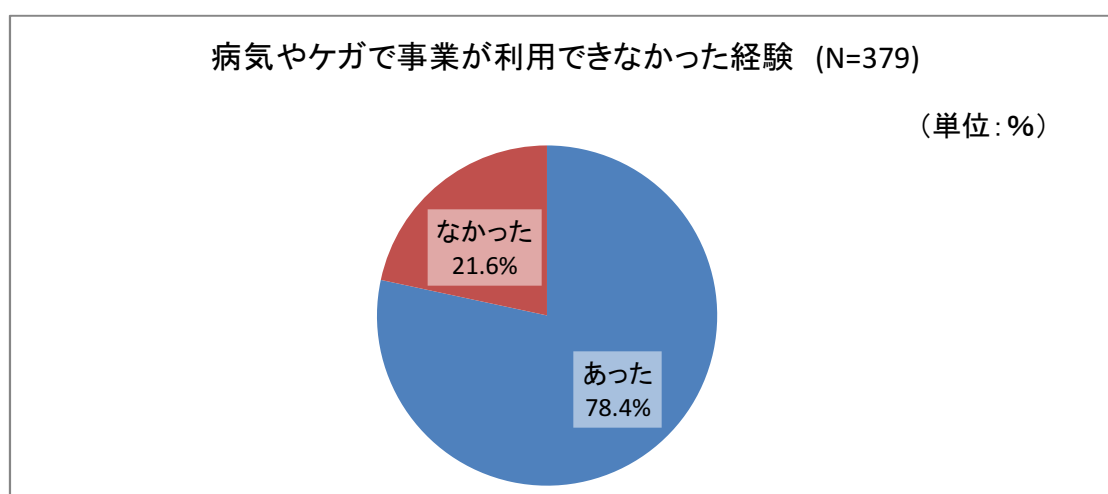


「週に数回仕事が入るため」と回答した人が 41.2%と最も多い結果です。

その他として聞かれた主な意見 土・日も仕事があるから。休みの日が多いと時間をもてあそぶ。休みでも幼稚園の友達と遊ばせたい。たまにはゆっくりしたい。息抜き。

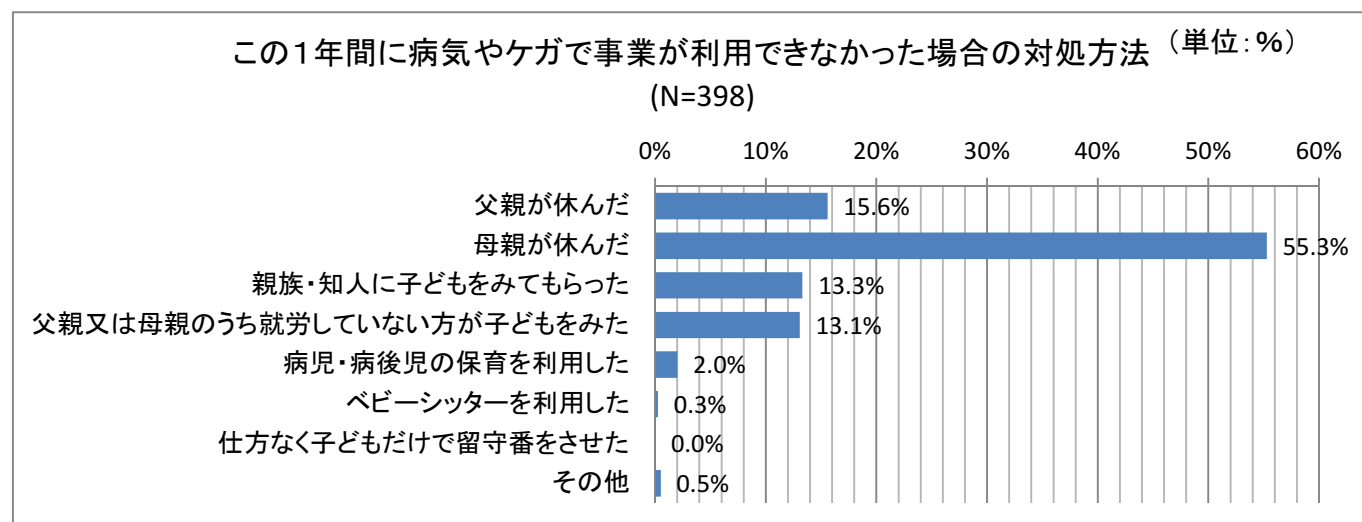
子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する人のみ）

問 2 5 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた人への限定設問。（単数回答）



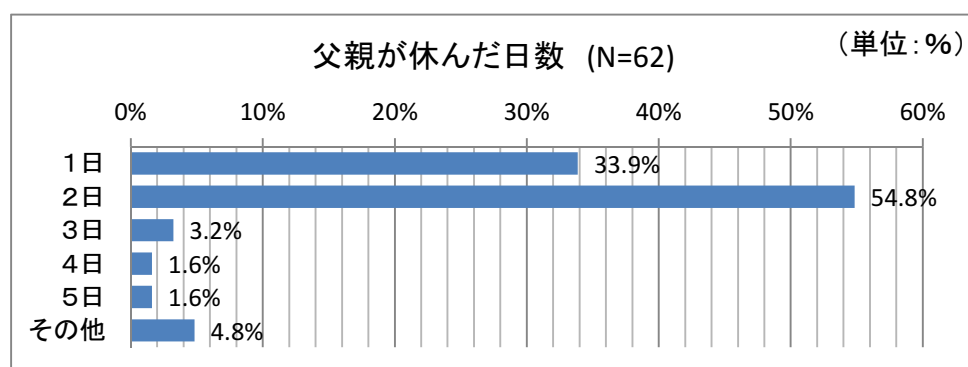
この 1 年間に、あて名のお子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあった人が、78.4%という回答でした。

問 2 5 - 1 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法をお答えください。(数量回答)



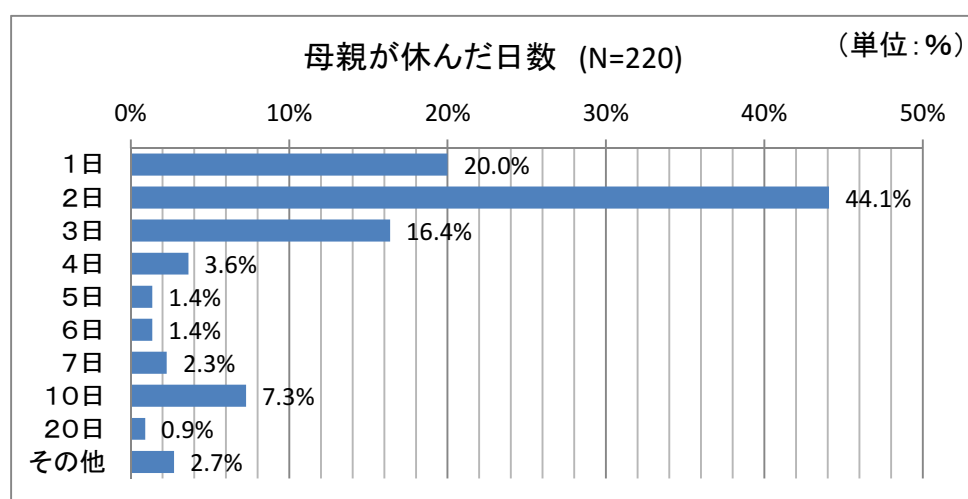
対処方法として、母親が休んだという人が 5 5, 3 %と最も多い回答でした。

ア. 父親が休んだ日数



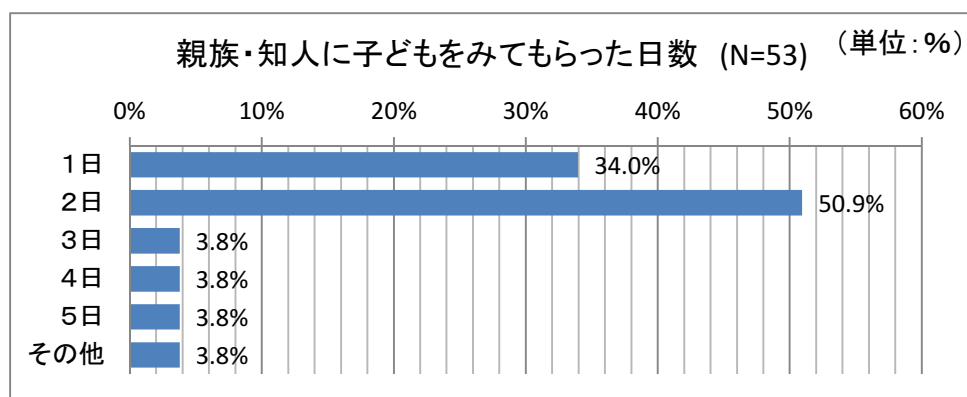
1 日、2 日と回答した人の合計が 8 8, 7 %にのぼります。

イ. 母親が休んだ日数



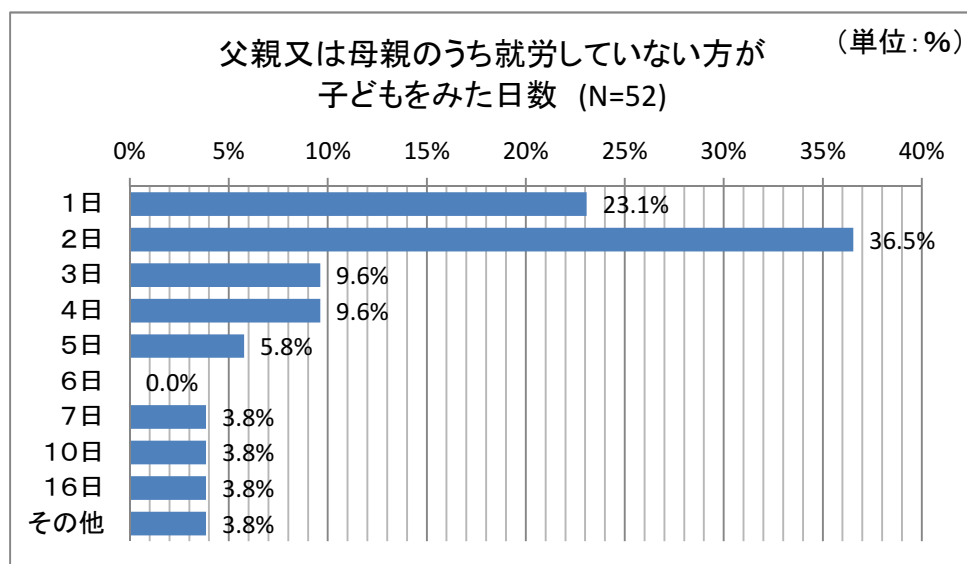
2 日と回答した人が最も多いですが、3 日と答えた人も 1 6, 4 %います。

ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった日数



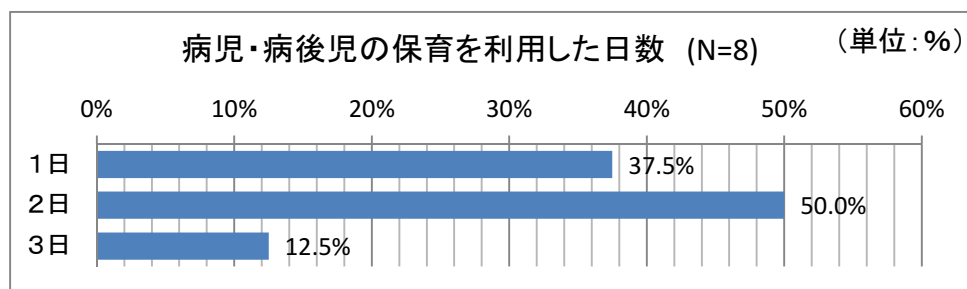
2日と回答した人が50.9%に及びました。

エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



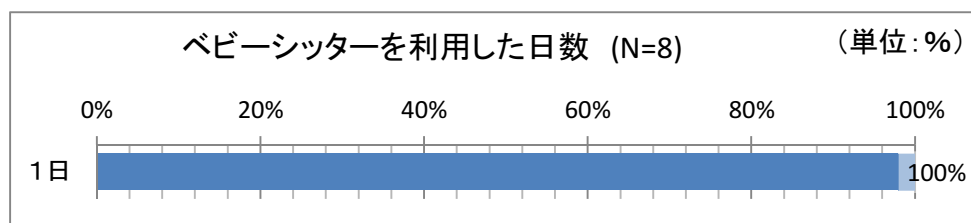
1日・2日と回答した人の合計が59.6%で、両親共働きの家庭は、短期間しか子どもをみてあげられていないことが伺えます。

オ. 病児・病後児の保育を利用した日数



2日と回答した人が50%に及びます。

カ. ベビーシッターを利用した日数

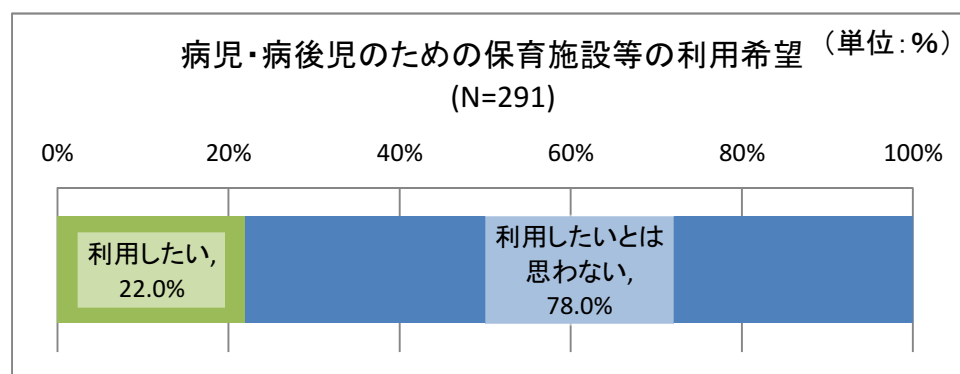


ベビーシッターを頼む場合、1日という回答でした。

※「キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」はゼロでしたので割愛します。

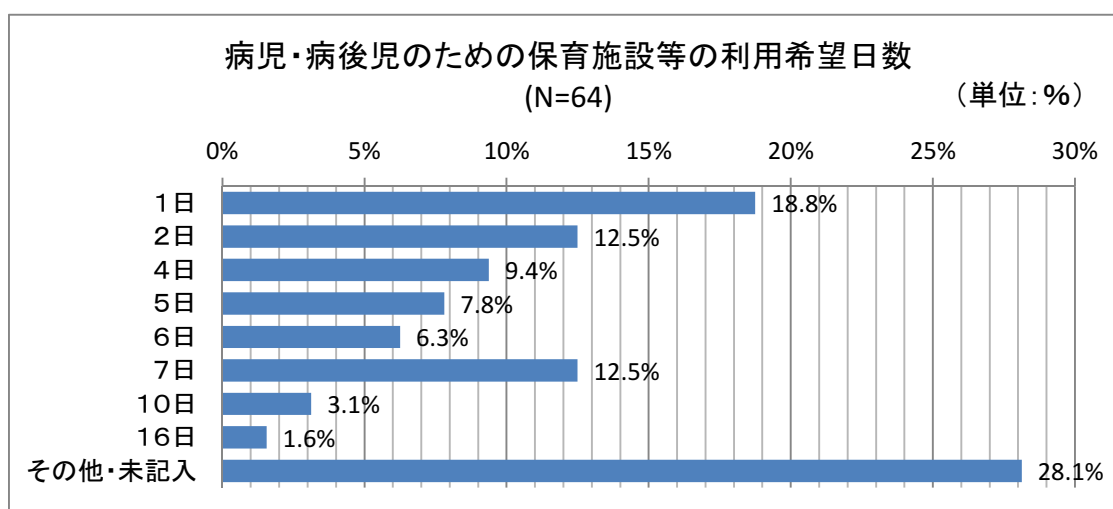
「ク. その他」は、友達、職場の同僚に看てもらったと2人が回答。

問25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。問25-1で、「ア」「イ」のいずれかに回答した人への限定設問（単数回答）



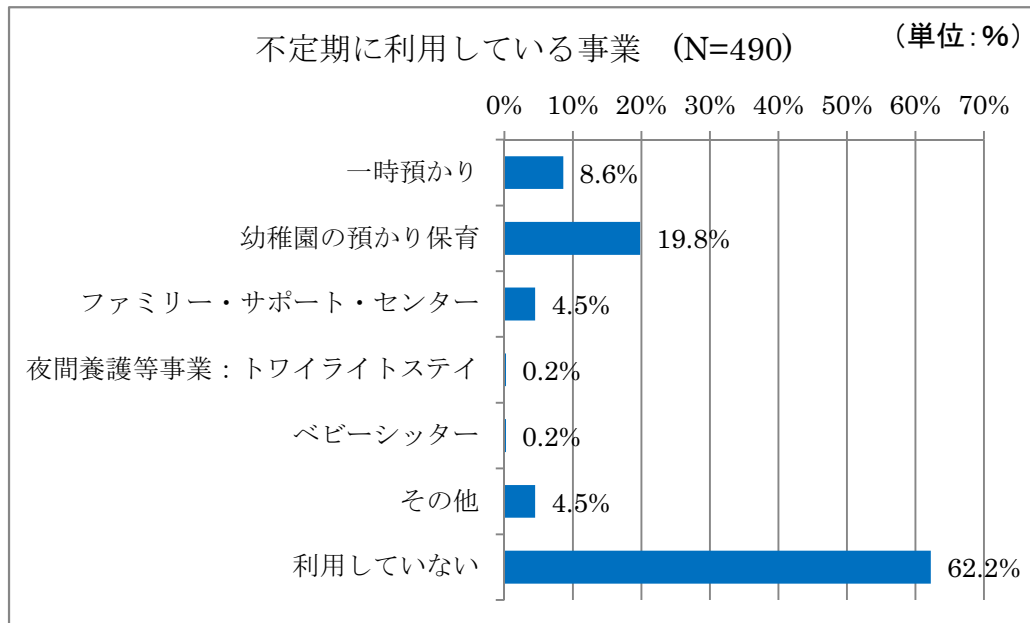
利用したいとは思わないという人が78%に及びました。

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思う日数



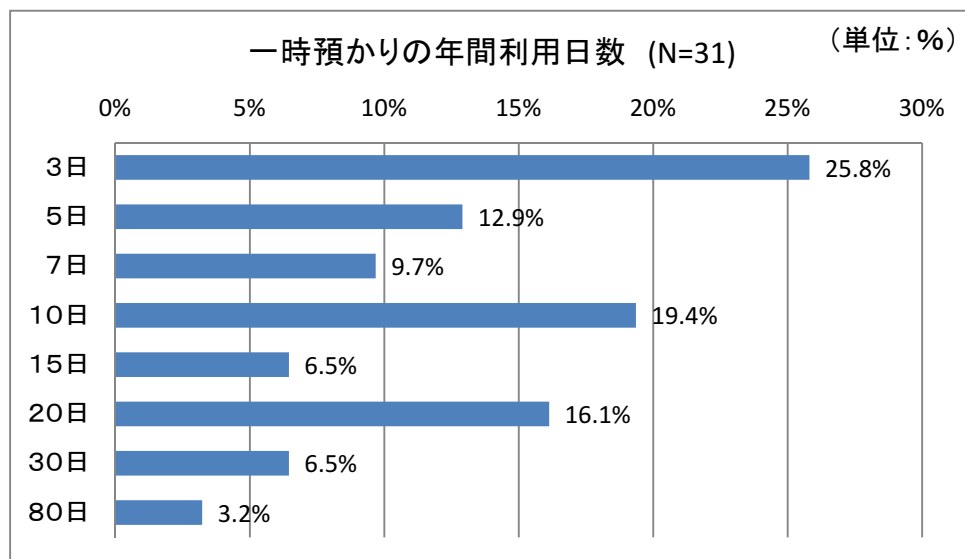
1日と回答した人が18.8%。2日、7日と回答した人がそれぞれ12.5%でした。

問 2 6 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している施設はありますか。（数量回答）



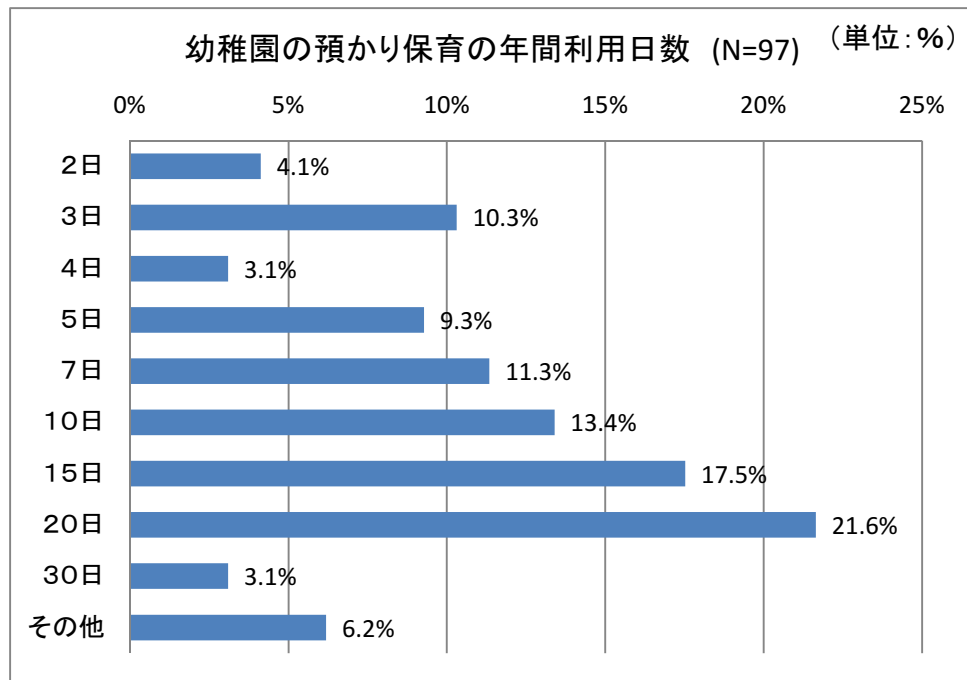
利用していないと回答した人が62.2%と最も多い結果でした。

1. 一時預かり



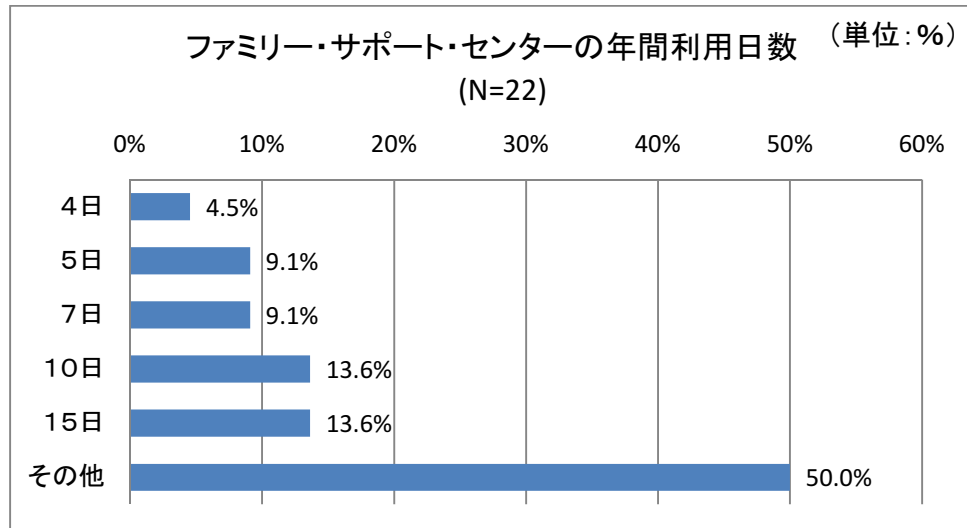
3日と回答した人が25.8%と最も多く、次いで10日が19.4%でした。

2. 幼稚園の預かり保育



20日と回答した人が最も多い21.6%。次いで15日の17.5%でした。

3. ファミリー・サポート・センター



半数が未記入でした。10日と15日が13.6%でした。

4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ 1人

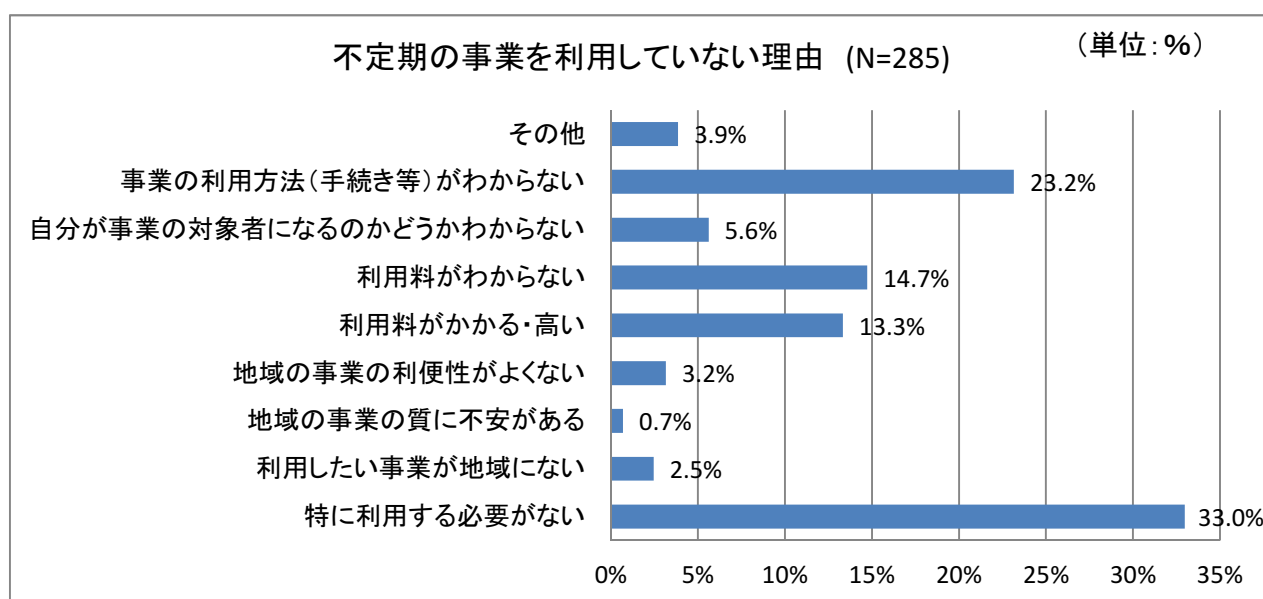
5. ベビーシッター 1人

6. その他 22人

7. 利用していない305人

問 2 6 - 1 現在利用していない理由は何ですか。

問 2 6 で、「利用していない」と回答した人への限定設問（複数回答）

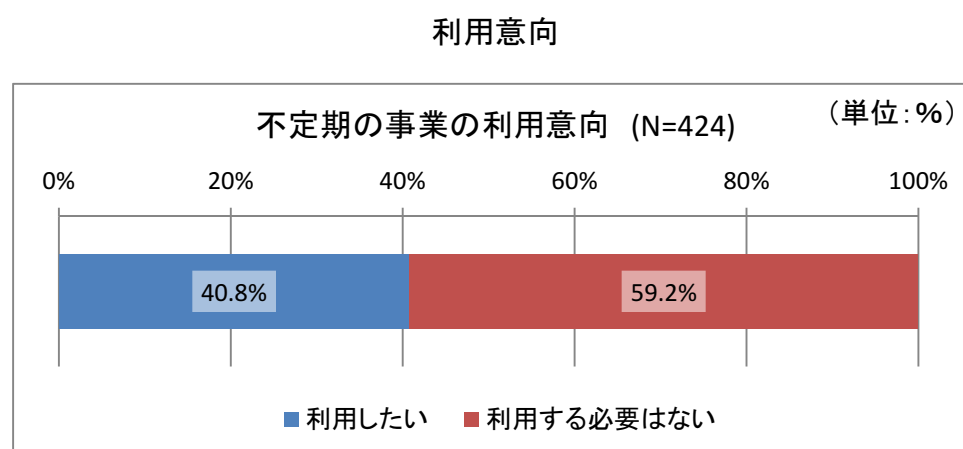


「特に利用する必要がない」と回答した人が最も多い 33%。次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の 23.2%でした。

その他として聞かれた主な意見

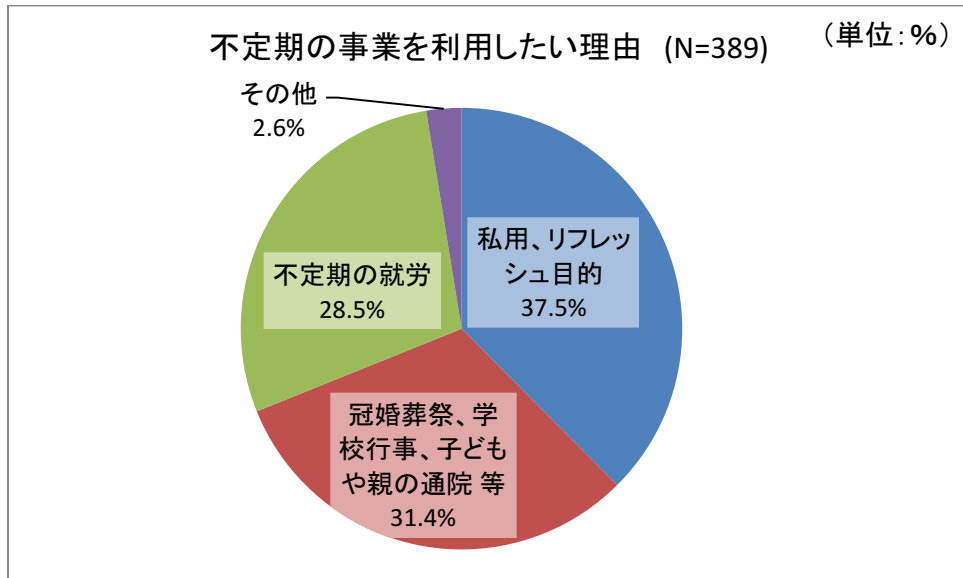
事前に手続きに行けない。準備が多い。内容がよくわからない。

問 2 7 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、勤務日が一定でない仕事等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（数量回答）



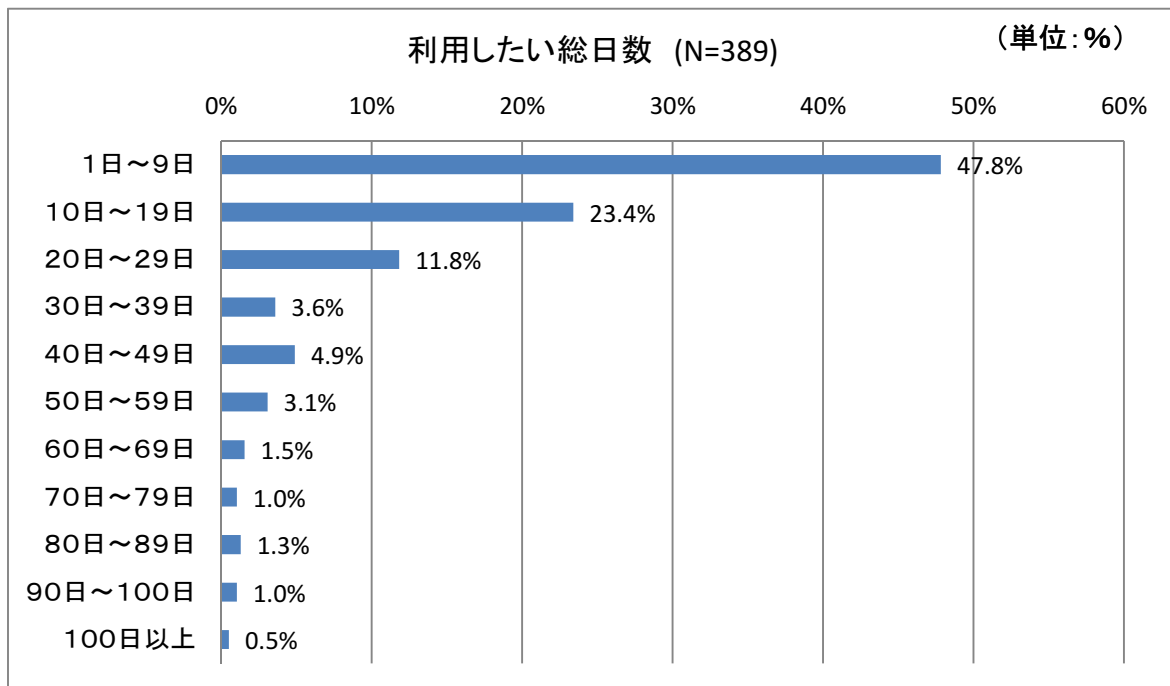
「利用する必要はない」と回答した人が 59.2%でした。

利用希望の内訳



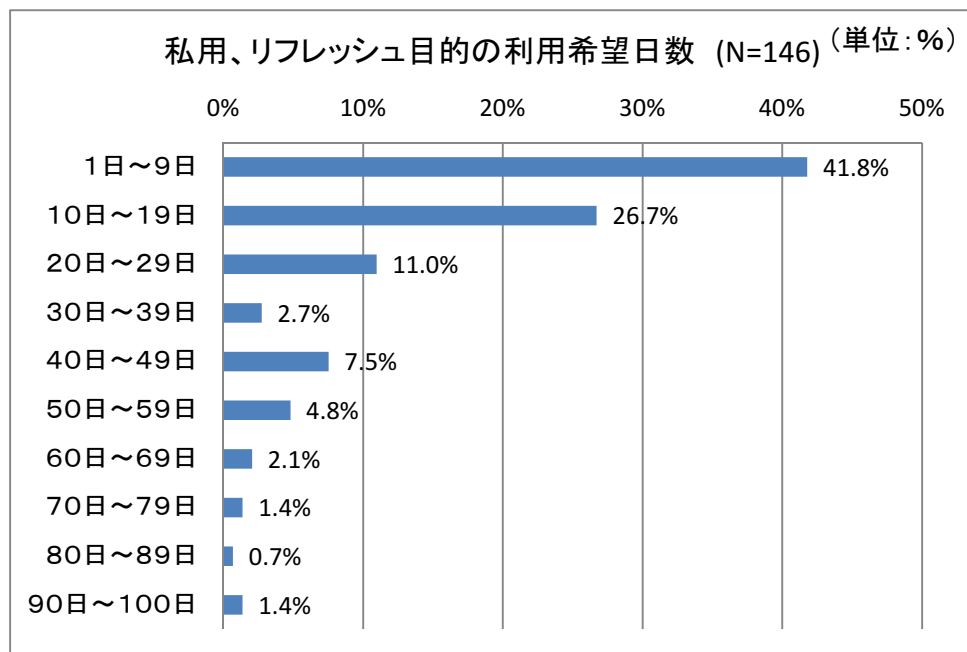
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の回答が最も多い37, 5%、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」と回答した31, 4%でした。

利用したい総日数



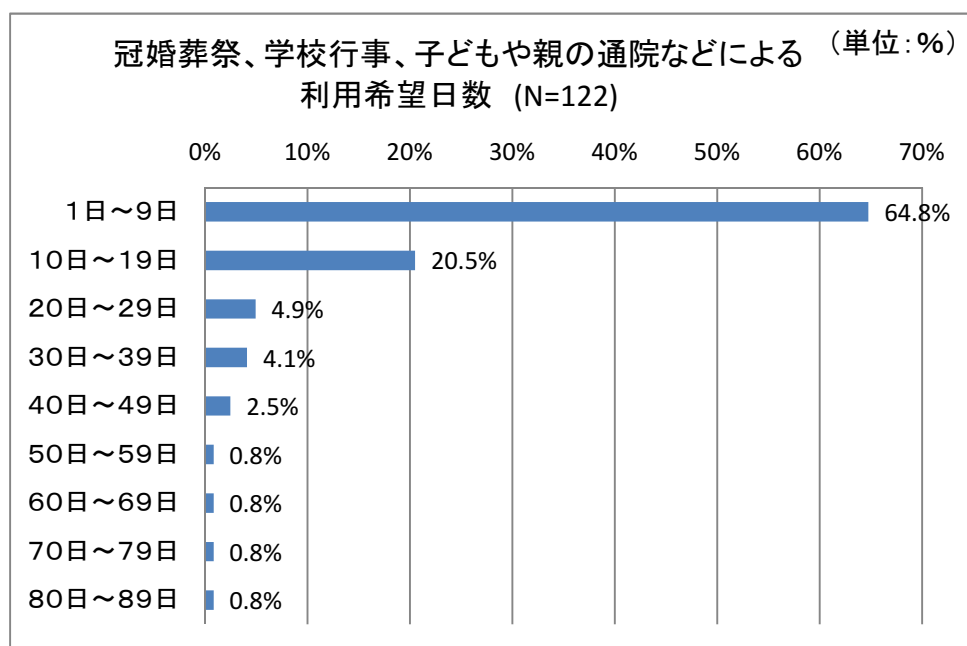
利用したい総日数は、1日から9日を回答した人が全体の47, 8%でした。

私用、リフレッシュ目的



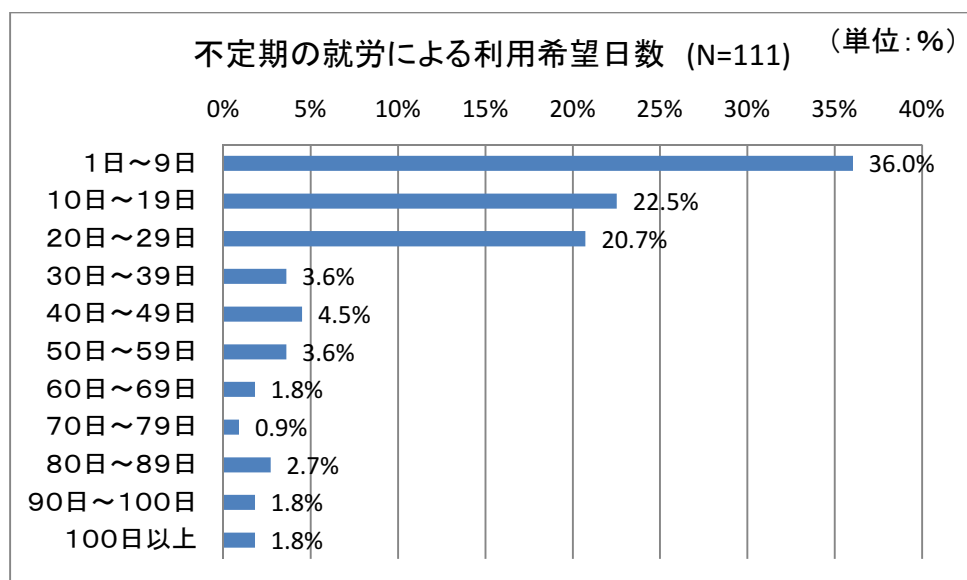
1日から9日と回答した人が41, 8%に及びます。

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など



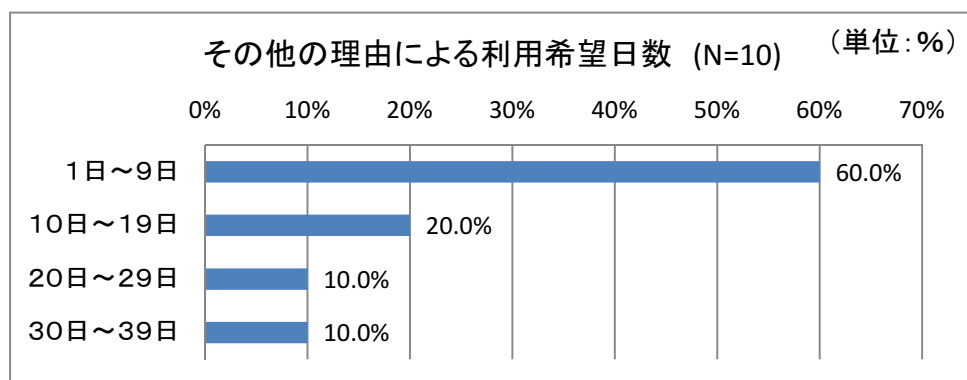
1日から9日と回答した人が64, 8%に及びます。

不定期の就労



1日から9日と回答した人が36%に及びます。

その他

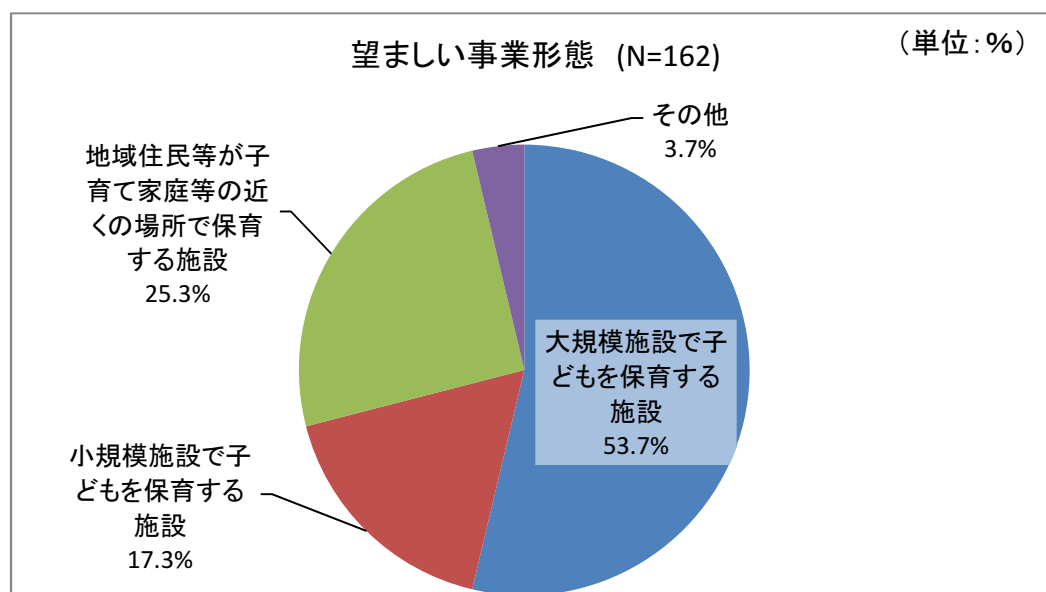


1日から9日と回答した人が60%に及びます。

その他として聞かれた主な意見

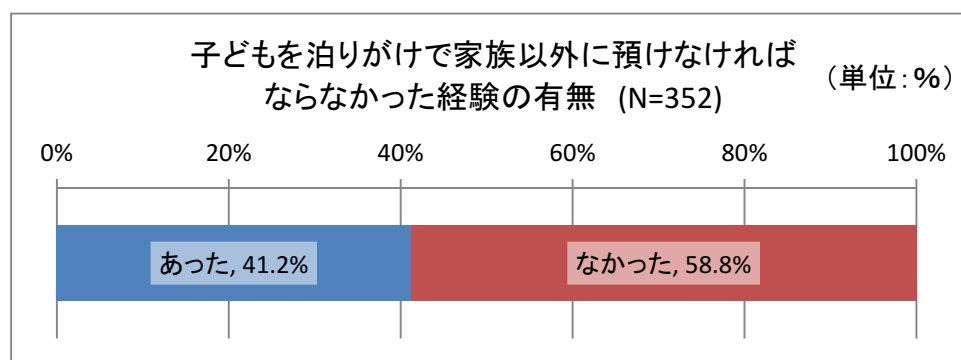
自分の通院、治療など

問28 問27の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。
問27で「利用したい」と回答した人への限定設問。（複数回答）



私用、親の通院、勤務日が一定でない仕事等の目的で、事業を利用する場合、「大規模施設で子どもを保育する施設（例：幼稚園・保育園等）」を希望する人が53.7%に及びました。

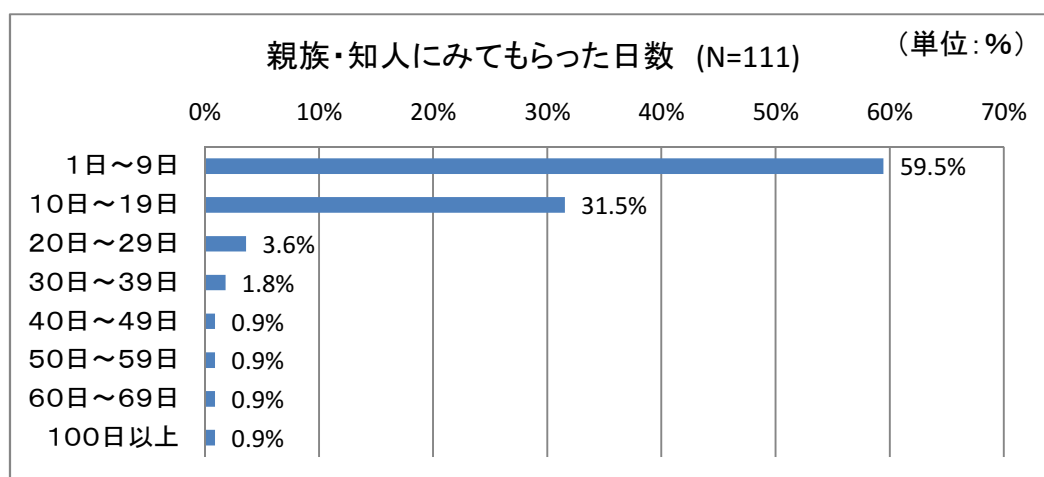
問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（数量回答）



なかったと回答した人が58.8%に及びています。

問29で「あった」と回答したうち

ア。(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

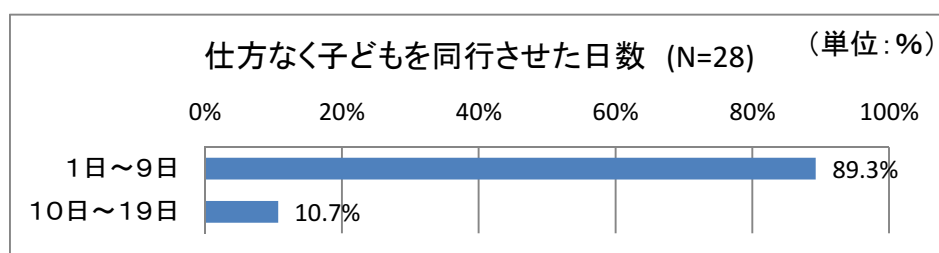


1日から9日と回答した人が59.5%に及んでいます。

イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した 0人

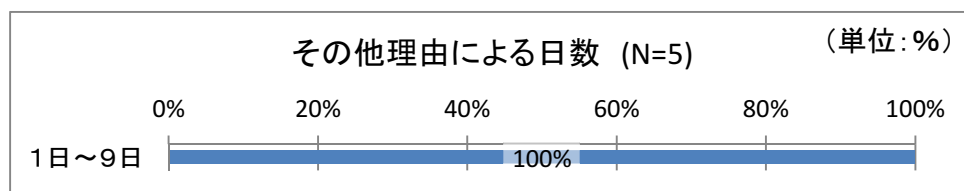
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した 1人（泊数記入なし）

エ. 仕方なく子どもを同行させた



オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 0人

カ. その他



その他として聞かれた主な意見

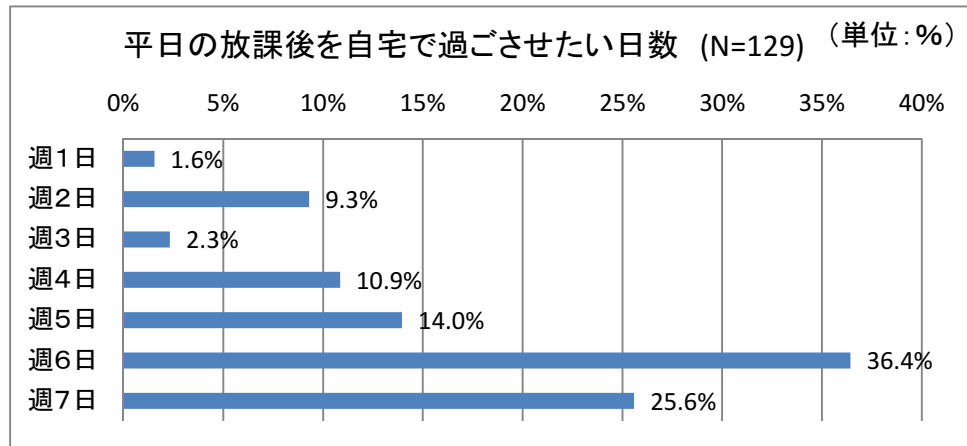
出張・親の危篤のときなど、遠方に住む親・親戚にみてもらった。

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問30 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

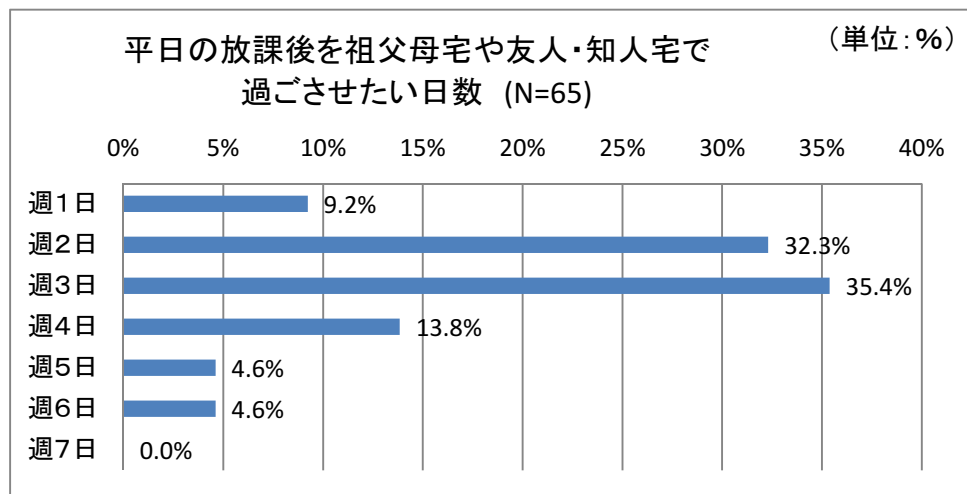
子どもが5歳以上である人への限定設問（数量回答）

1. 自宅



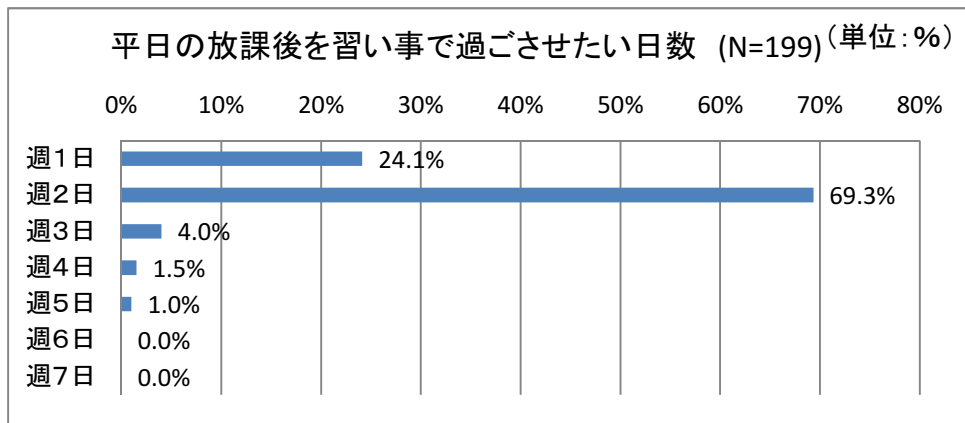
週6日が36.4%と最も多く、次いで週7日の25.6%となっています。

2. 祖父母宅や友人・知人宅



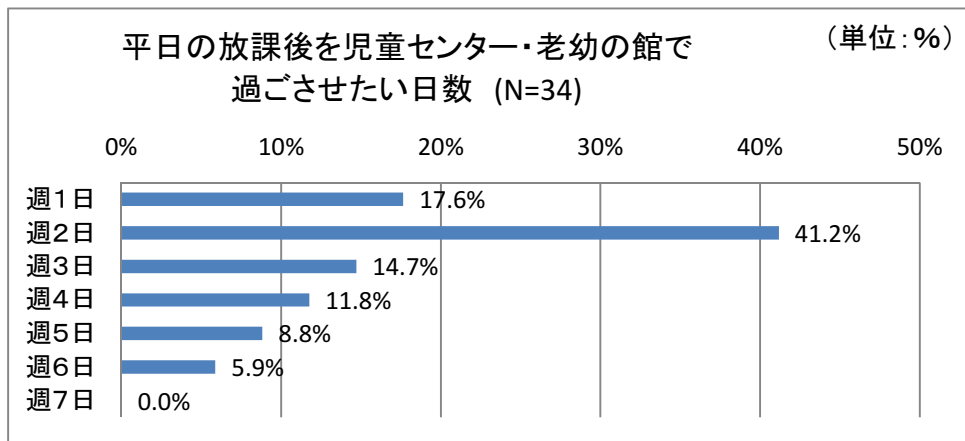
週3日が35.4%と最も多く、次いで週2日の32.3%となっています。

3. 習い事



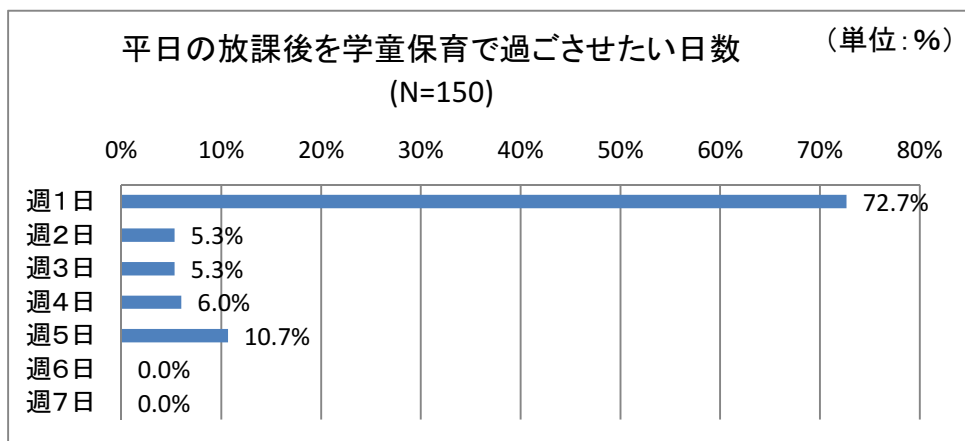
週2日が69.3%と最も多く、次いで週1日の24.1%となっています。

4. 児童センター・老幼の館



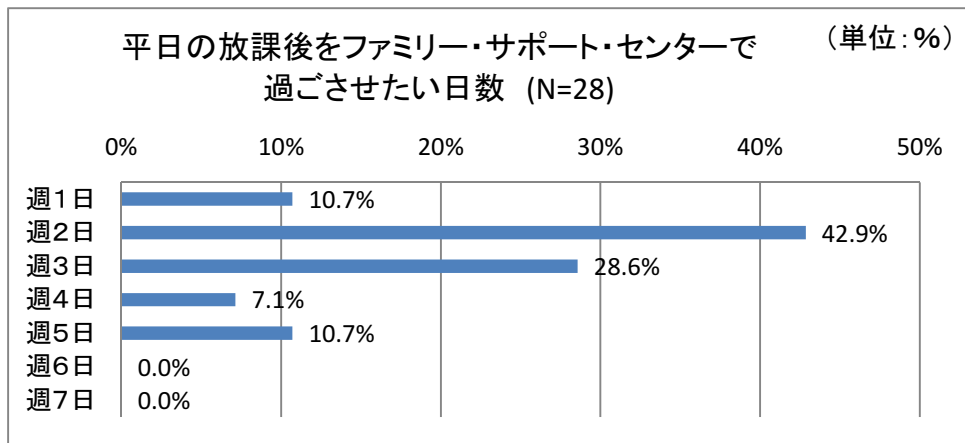
週2日が41.2%と最も多く、次いで週1日の17.6%となっています。

5. 学童保育所



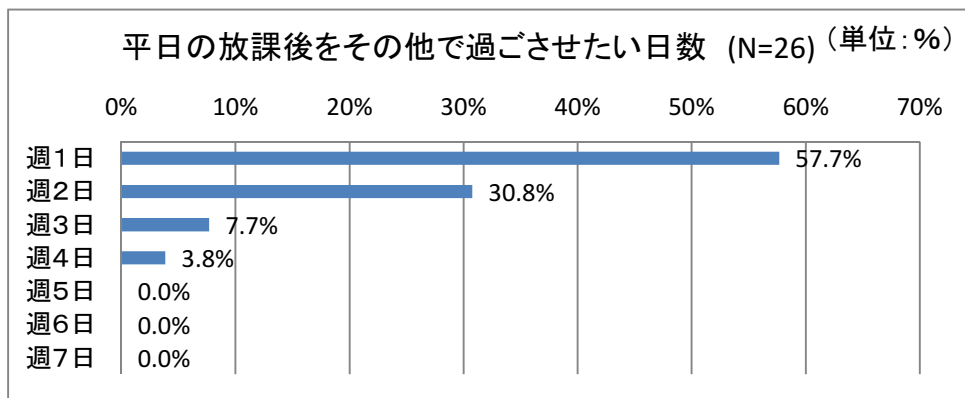
週1日が最も多い72.7%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター



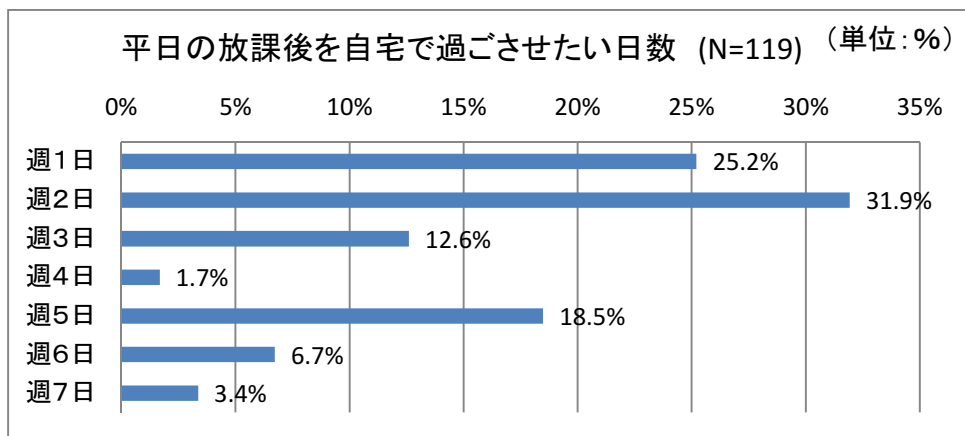
週2日の利用が42.9%と最も多く、次いで週3日の28.6%となっています。

7. その他（公民館、公園など）



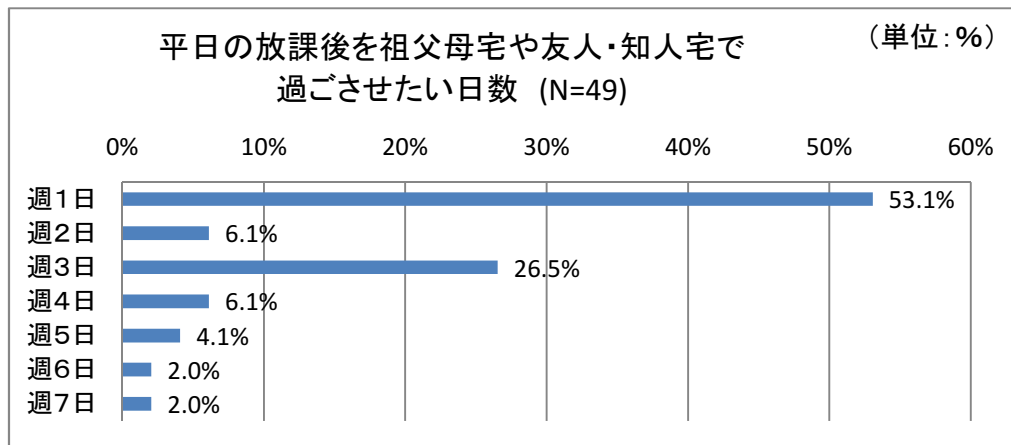
問3 1 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（数量回答）

1. 自宅



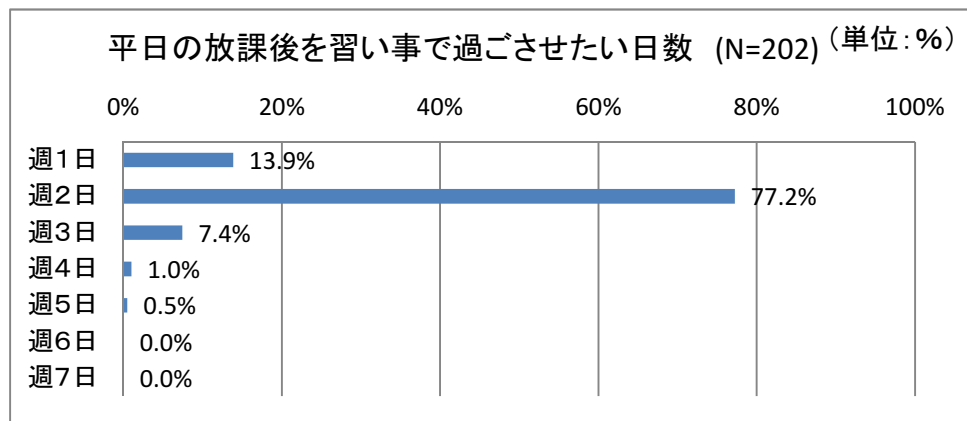
週2日が31.9%と最も多く、次いで週1日の25.2%となっています。

2. 祖父母宅や友人・知人宅



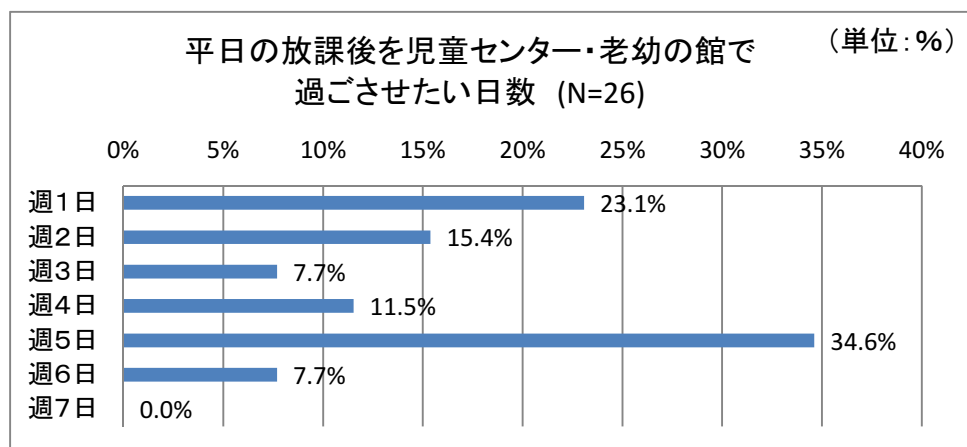
週1日が53.1%と最も多く、次いで週3日の26.5%となっています。

3. 習い事



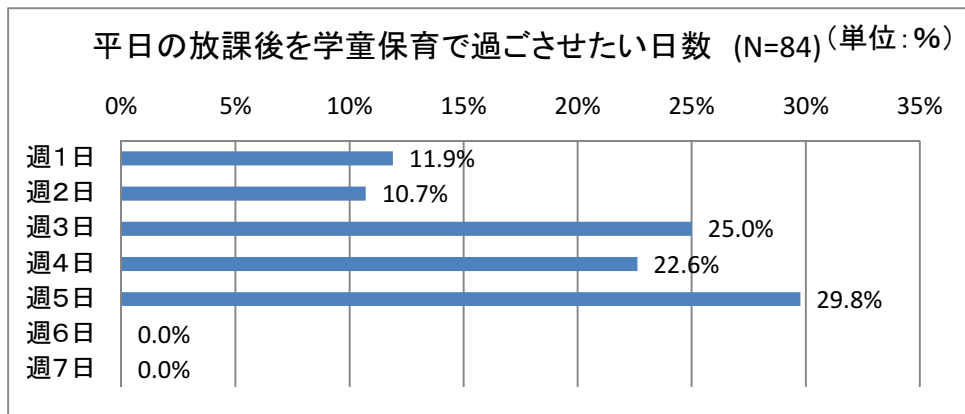
週2日が77.2%と最も多く、次いで週1日の13.9%となっています。

4. 児童センター・老幼の館



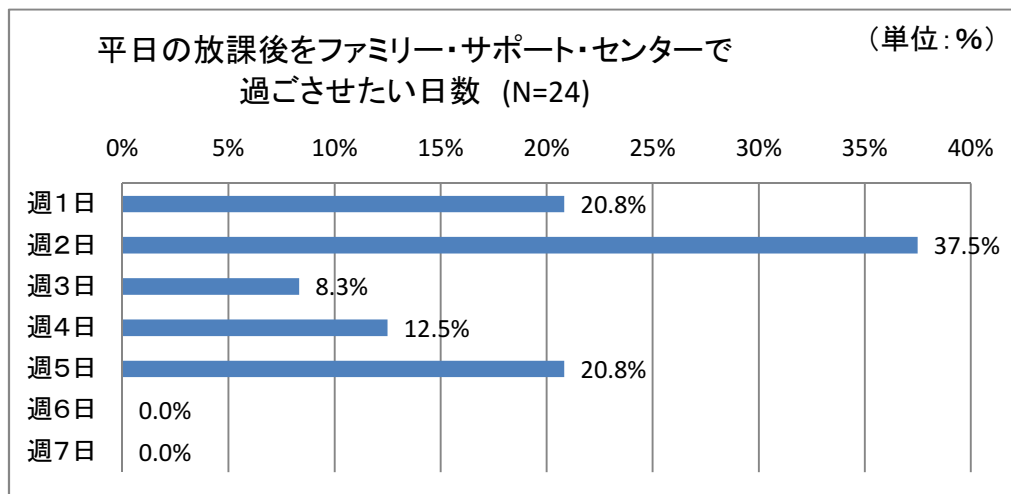
週5日が34.6%と最も多く、次いで週1日の23.1%となっています。

5. 学童保育所



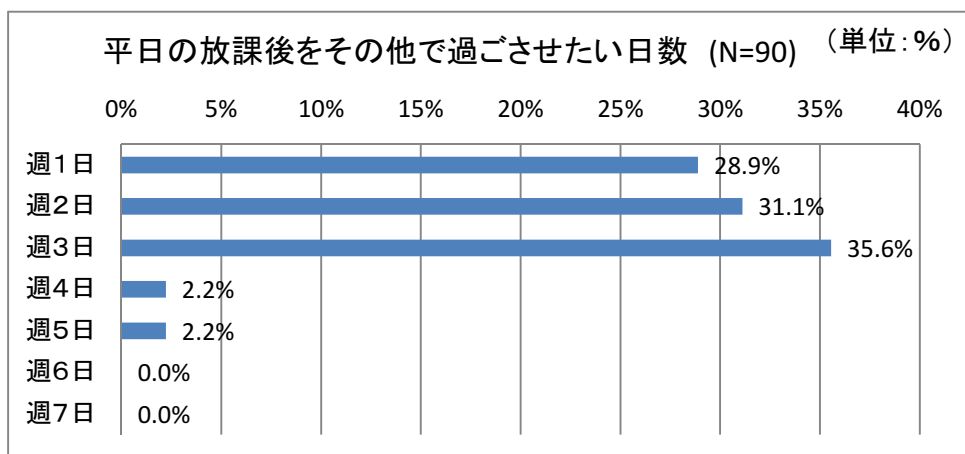
週5日が最も多い29.8%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター



週2日が37.5%と最も多く、次いで週1日と週5日が20.8%となっています。

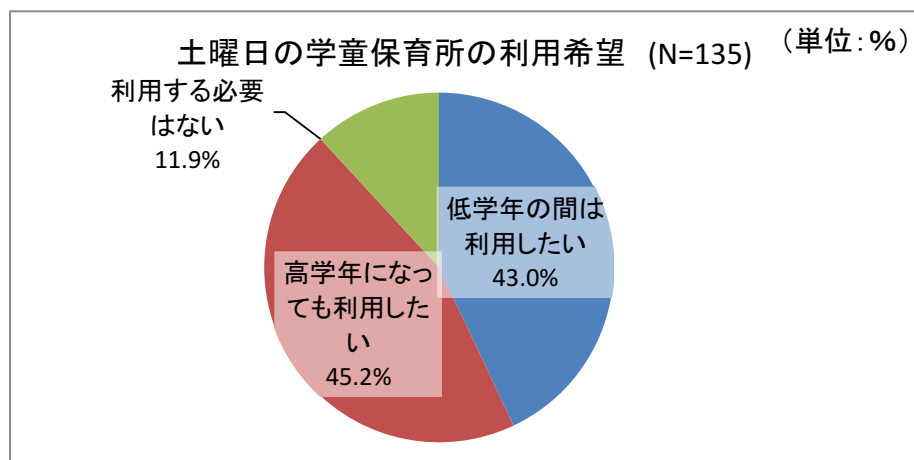
7. その他（公民館、公園など）



問 3 2 土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

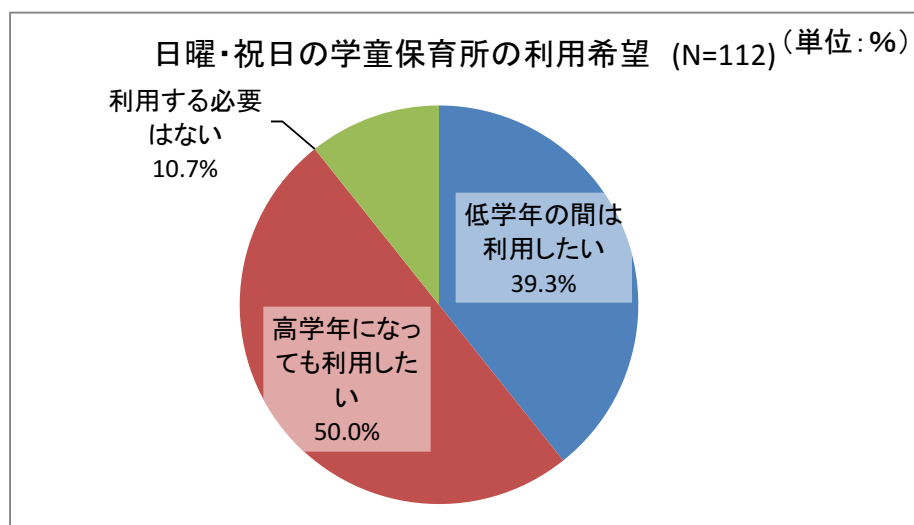
問 3 0・問 3 1 で「学童保育」を選択した人への限定設問（数量回答）

（１）土曜日 利用希望時間帯はグラフのとおりです。



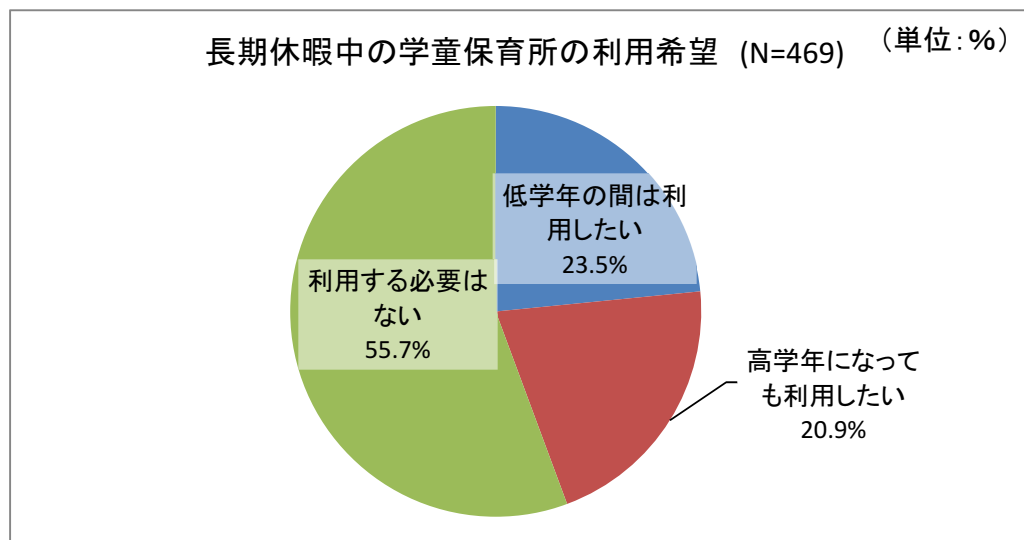
学童保育所の土曜日の利用希望についてみると、低学年（１～３年生）の間は利用したいという人が４３％。高学年（４～６年生）になっても利用したいという人が４５，２％でした。

（２）日曜日・祝日 利用希望時間帯はグラフのとおりです。



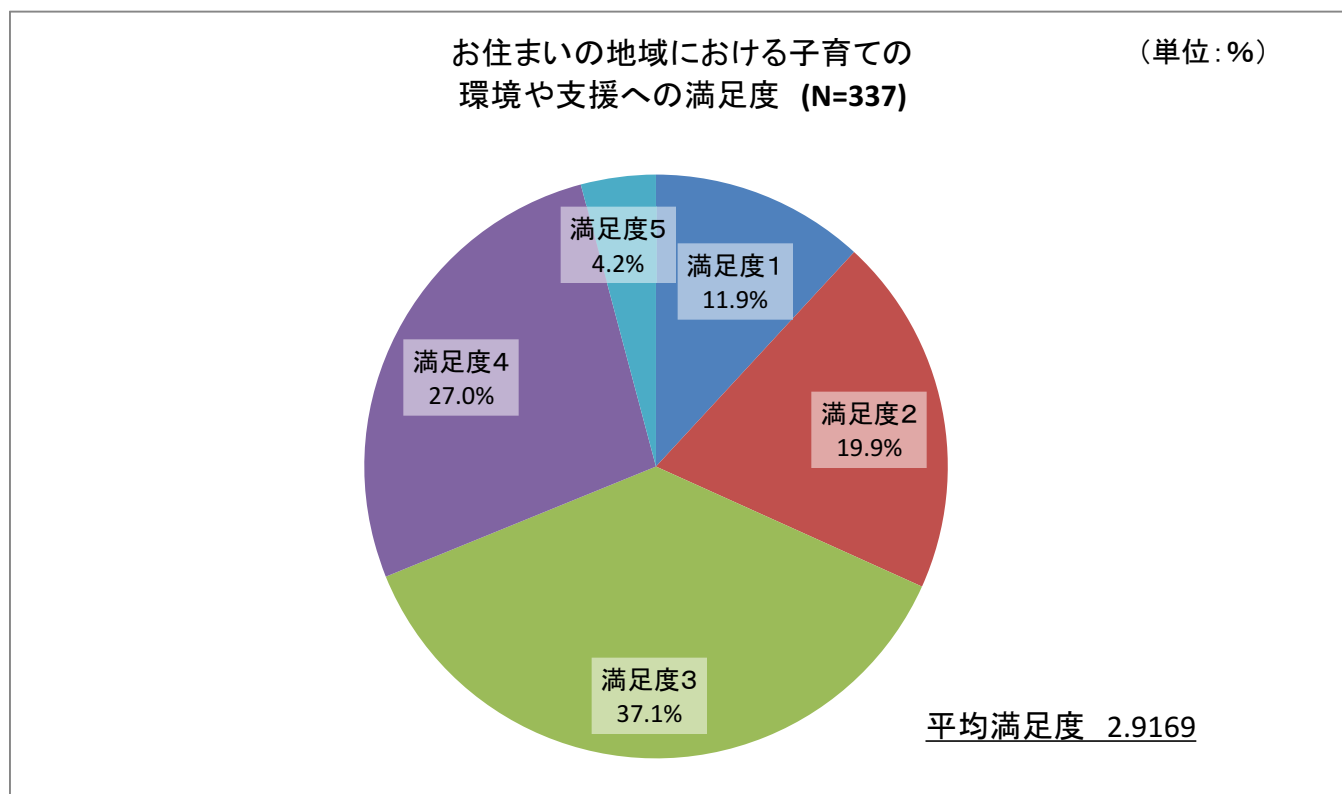
学童保育所の日曜日・祝日の利用希望についてみると、低学年（１～３年生）の間は利用したいという人が３９，３％。高学年（４～６年生）になっても利用したいという人が５０％でした。

問３３ お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。（数量回答）



長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、「利用する必要はない」と回答した人が５５，７％に及びました。利用希望時間帯はグラフのとおりです。

問３５ お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。（単数回答）



本アンケート調査において、地域における子育ての環境や支援への満足度を５段階評価で質問した結果、満足度３という回答が３７，１％と最も多く、次いで満足度４が２７％という結果でした。

第 3 章

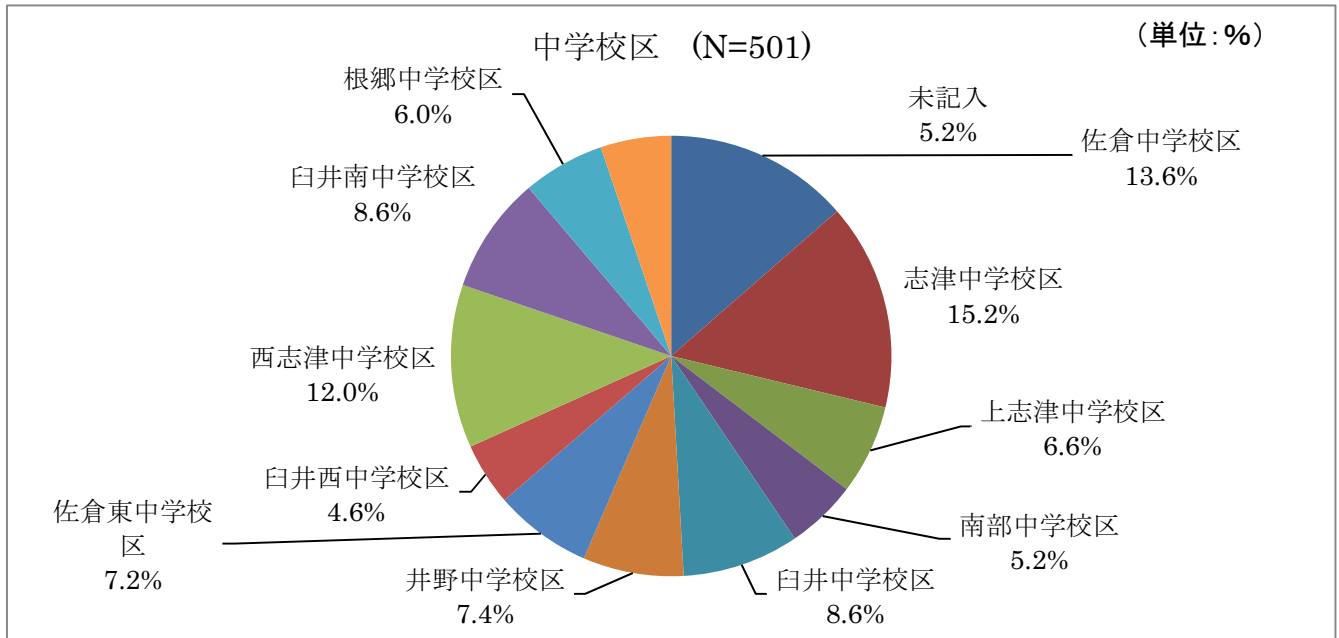
小学生児童調査

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる学区を選んでください。(単数回答)

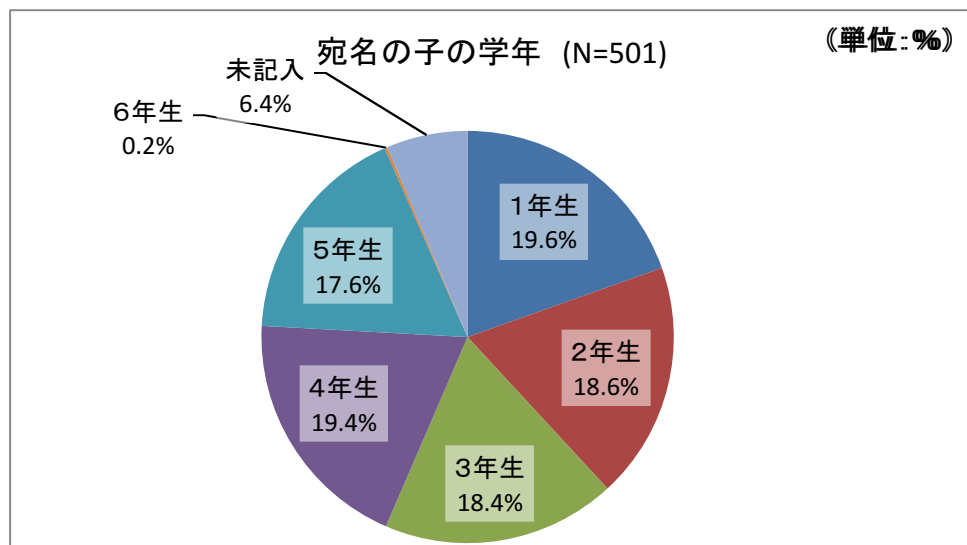
中学校区についてみると、志津中学校区が15.2%と最も高く、次いで佐倉中学校区の13.6%、西志津中学校区の12.0%の順となっています。

南部中学校区は5.2%、臼井西中学校区は4.6%と低くなっています。



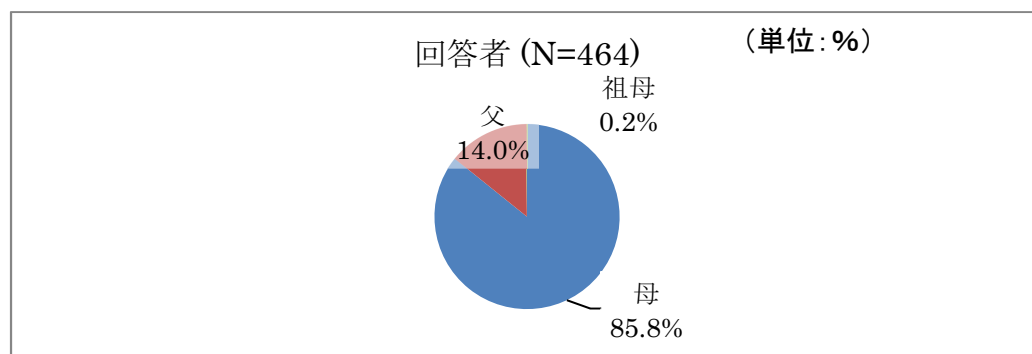
ご家族の状況について

問2 宛名のお子さんは小学校何年生ですか。(数量回答)



宛名の子どもの学年は、1年生が19.6%と最も多く、次いで4年生が19.4%の結果となりました。最も多い1年生と最も少ない5年生の差は僅か2%であり、バランスよい回答を得ることができています。※6年生は1人につき例外としています。

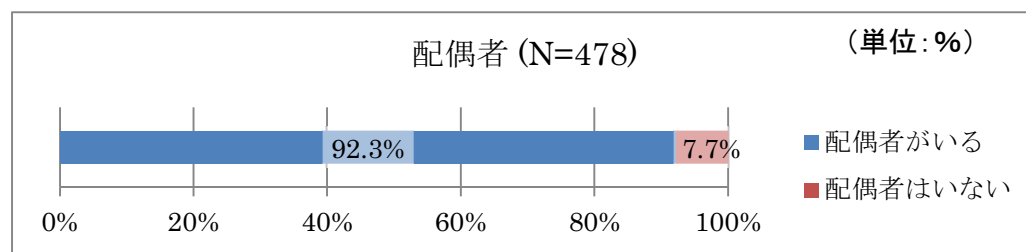
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(単数回答)



「母親」と回答した人が85.8%で大部分を占めています。

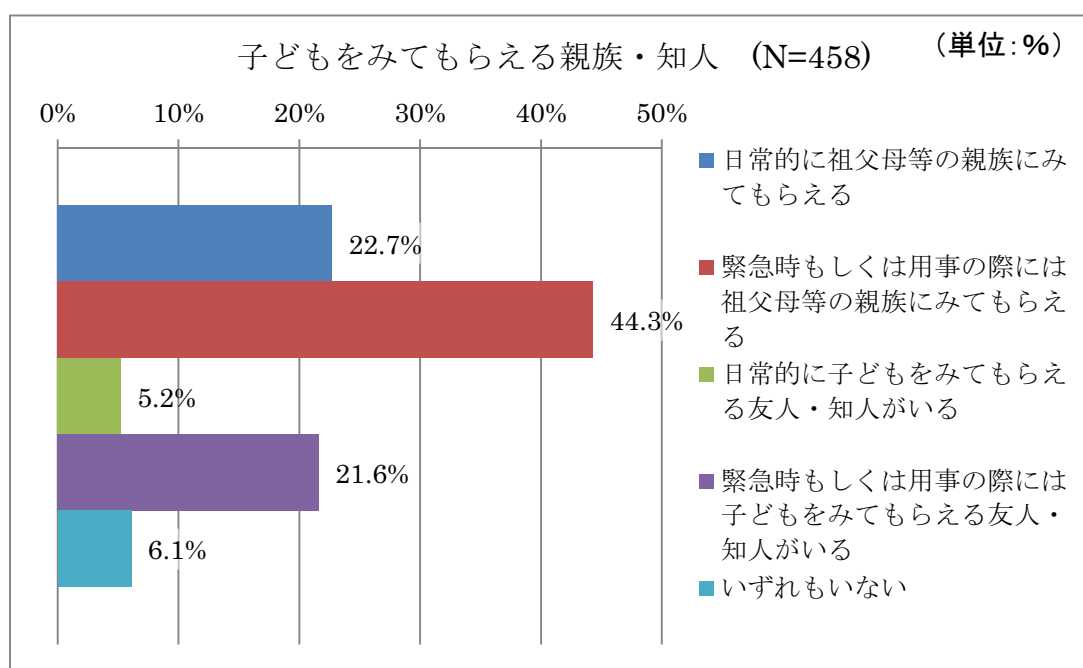
その他で「祖母」と答えた人が1人いました。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(単数回答)



「配偶者がいる」が92.3%となっています。

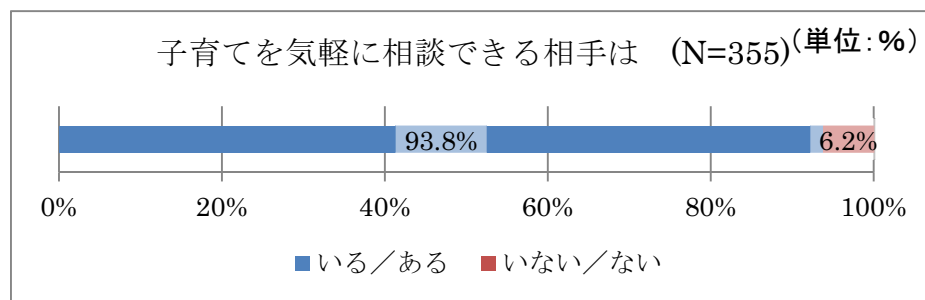
問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)



「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人と、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人の合計が67%となります。

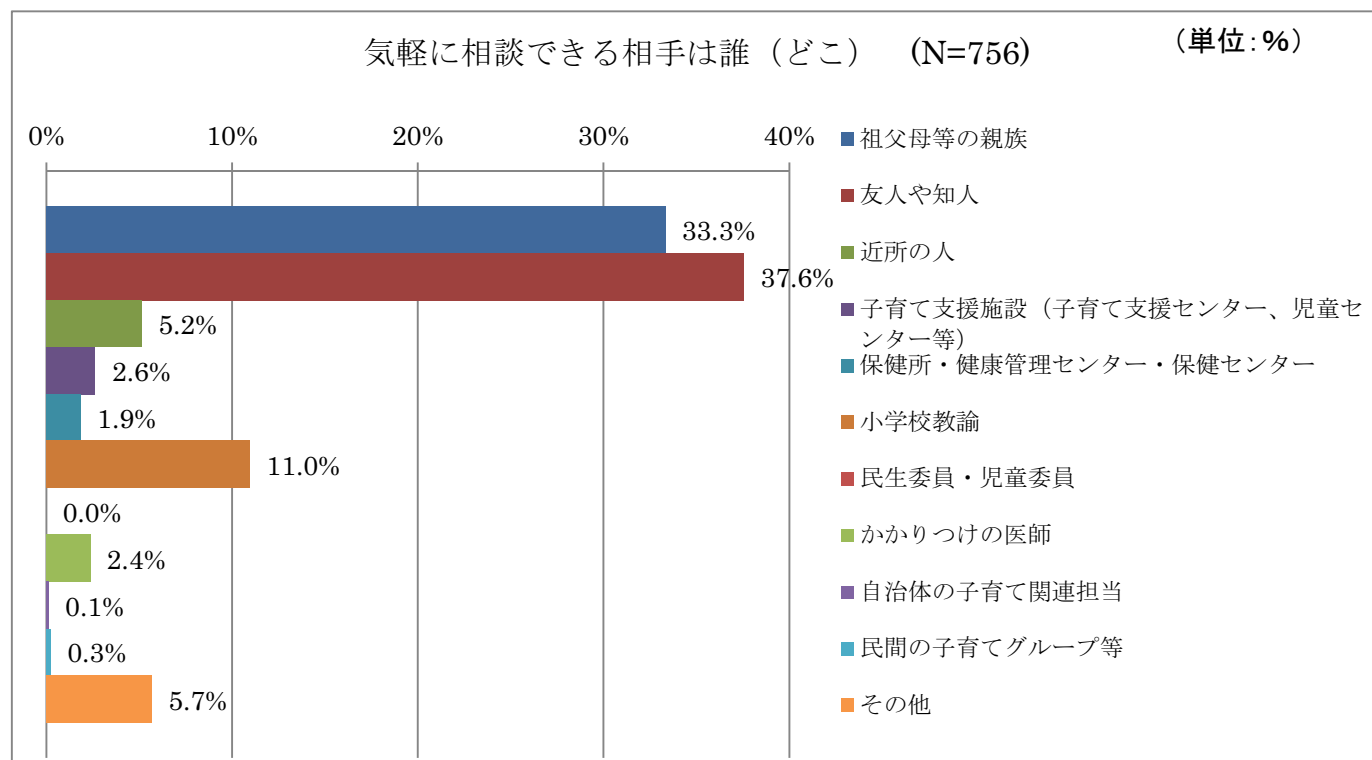
「いずれもない」という人は6, 1%です。

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（単数回答）



子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所が「いる／ある」と回答した人は93, 8%、「いない／ない」と回答した人は6, 2%という結果となりました。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。問11で「いる／ある」と答えた方への限定設問（複数回答）

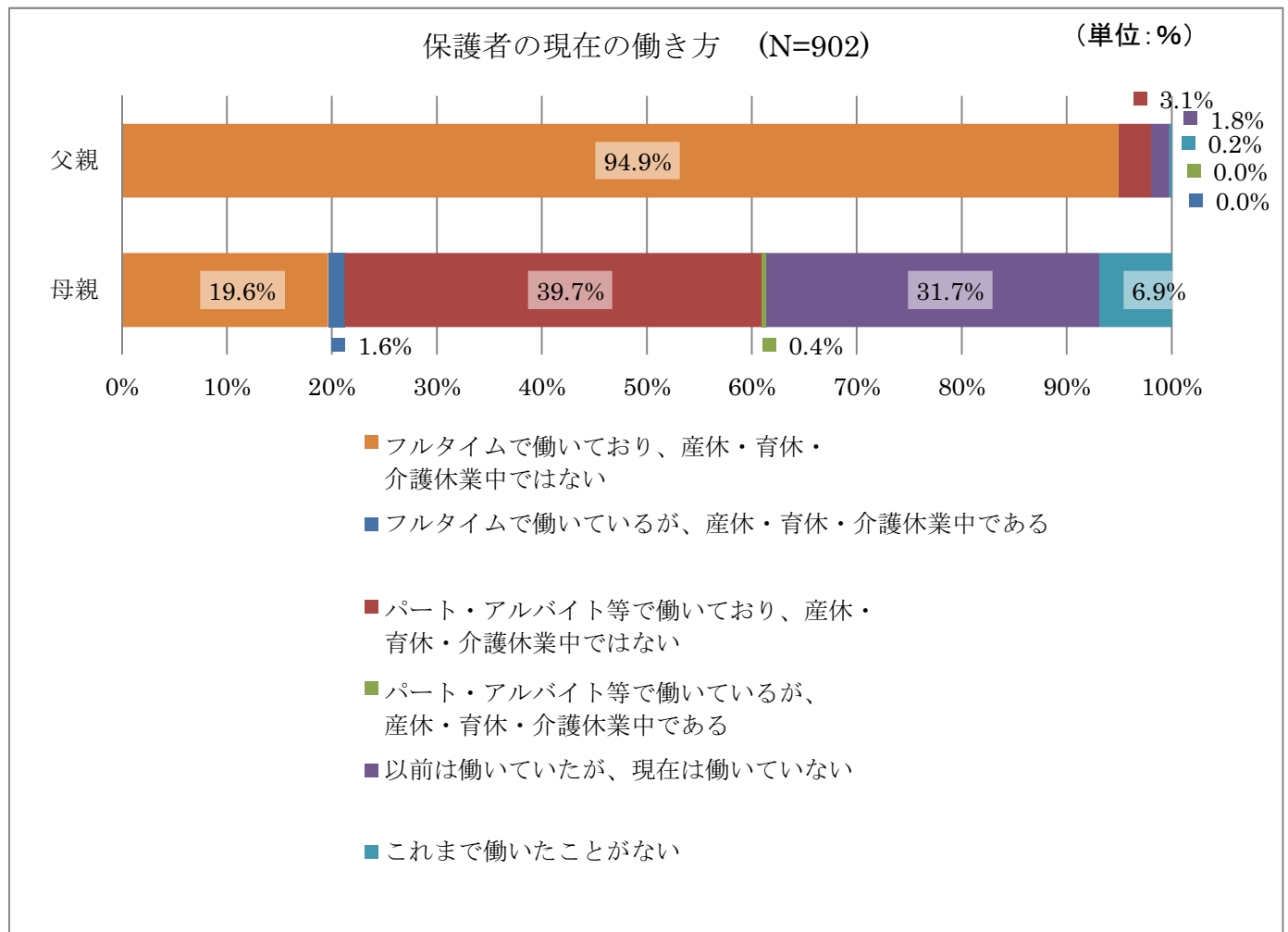


気軽に相談できる相手として、「祖父母等の親族」と答えた人は33, 3%、「友人や知人」と回答した人は37, 6%と最も多い結果となっています。

問 1 4 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ここで言う「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の働き方を言います。

また、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の働き方を言います。（単数回答）



父親の働き方をみると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」という人が94.9%を占める。「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」という人が3.1%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」という人は1.8%、「これまで働いたことがない」という人が0.2%となっています。

母親の働き方をみると、フルタイムで働いている人は21.2%おり、そのうち1.6%の人が現在、「産休・育休・介護休業中」と回答しています。

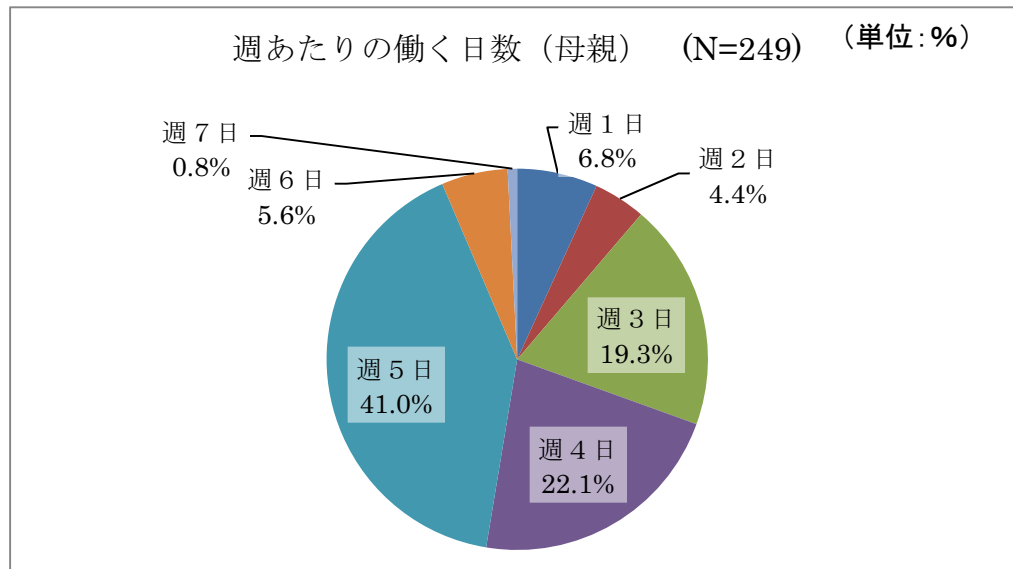
「パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である」というのは0.4%という結果でした。

「以前は働いていたが、現在は働いていない」という人は31.7%いることがわかりました。

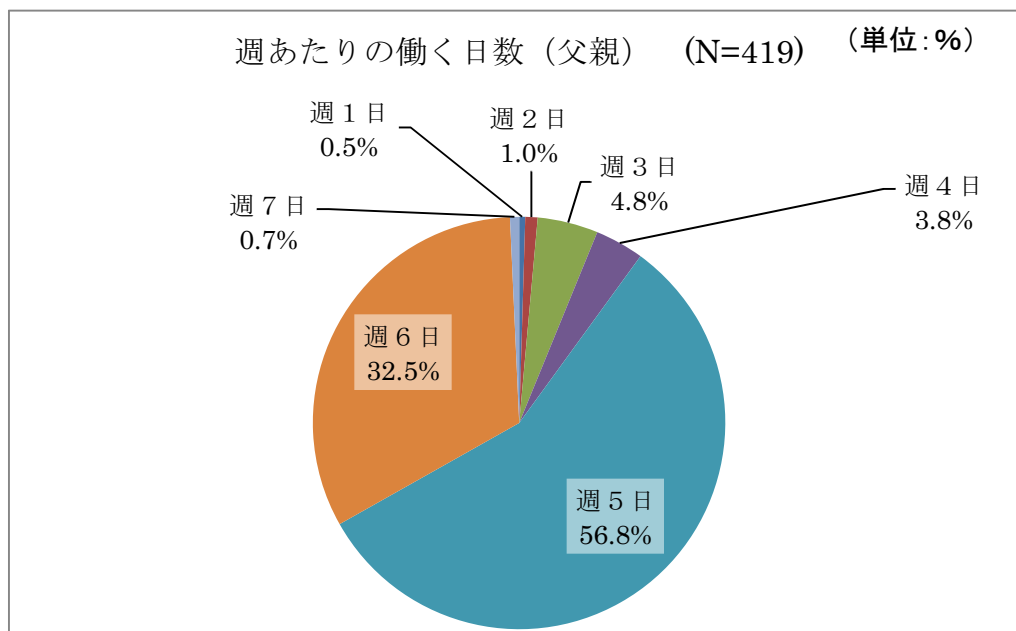
問 1 4-1 週当たりの「働く日数」、1 日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。

問 1 4 で「就労している」と答えた方への限定設問（数量回答）

母親の週当たりの「働く日数」について



父親の週当たりの「働く日数」について

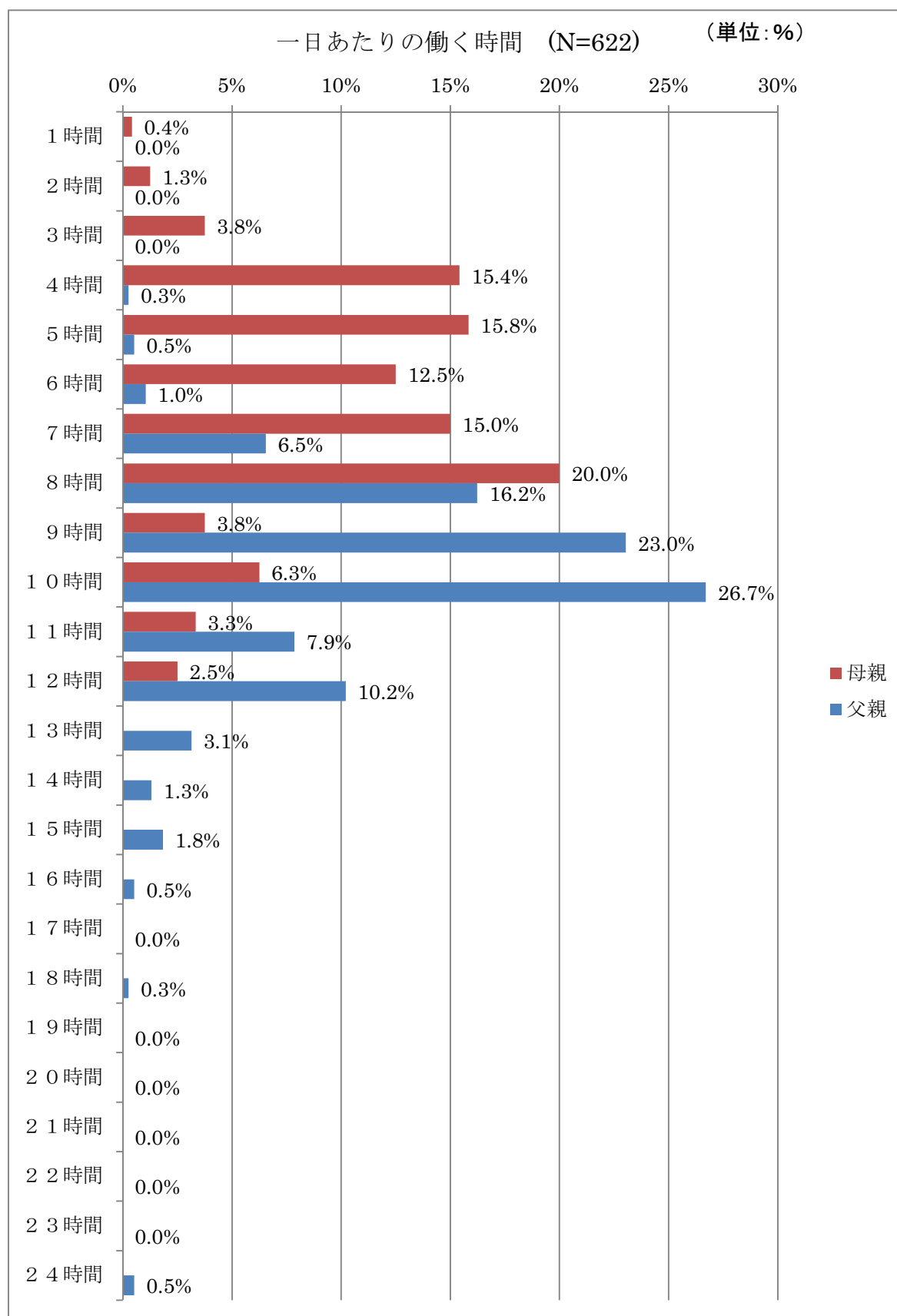


母親、父親ともに、週 5 日働いているという人が最も多い結果でした。

週 7 日勤務していると回答した人は、母親で 0.8%、父親は 0.7% います。

自営業等により不規則、または休みが決まっていないという理由が考えられます。

1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」について

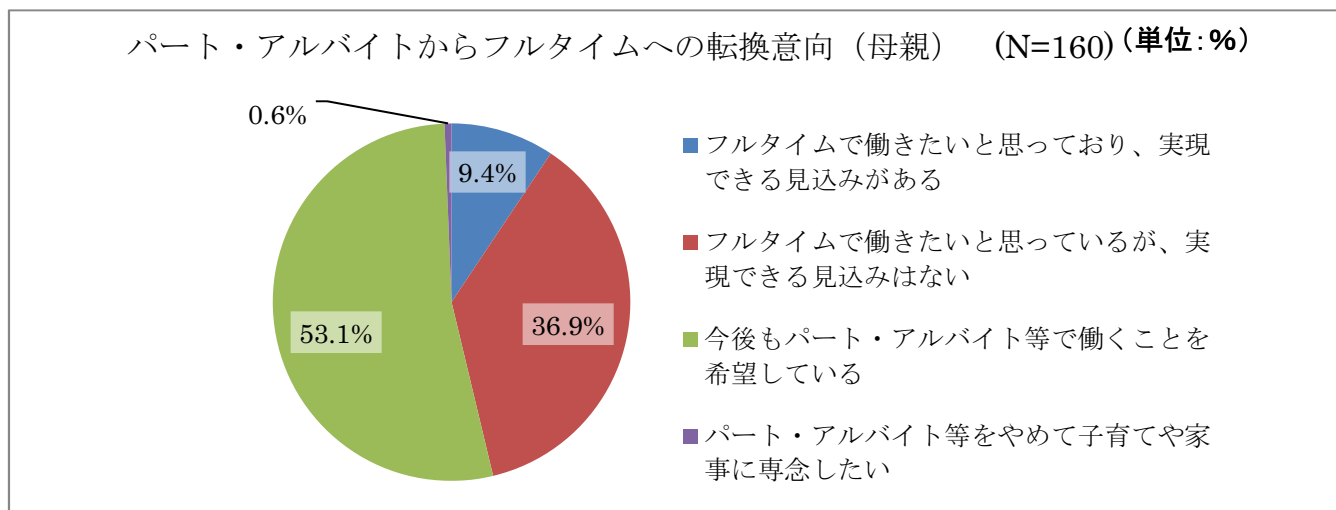


1日あたりの働く時間については、母親は8時間が20%で最も多く、次いで5時間の15.8%となっています。

父親についてみると、10時間が26.7%と最も多く、次いで9時間の23.0%です。

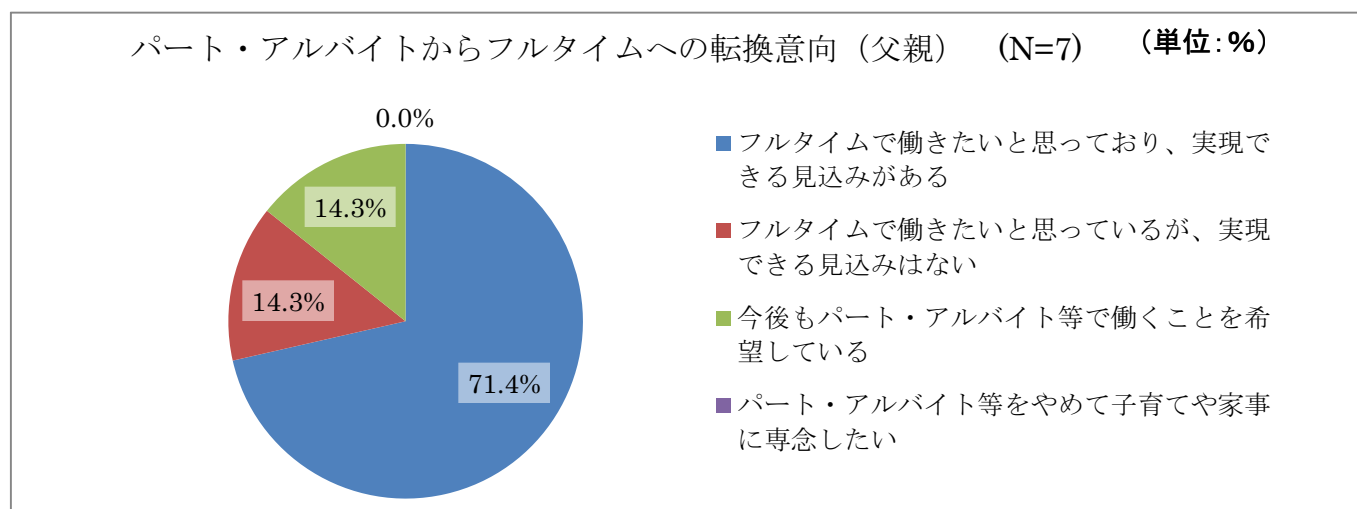
問 1 5 フルタイムで働きたいと思いますか。問 1 4で「パート・アルバイト等で働いている」と答えた方への限定設問（単数回答）

母親



「今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人が53.1%と最も多いことがわかりました。

父親

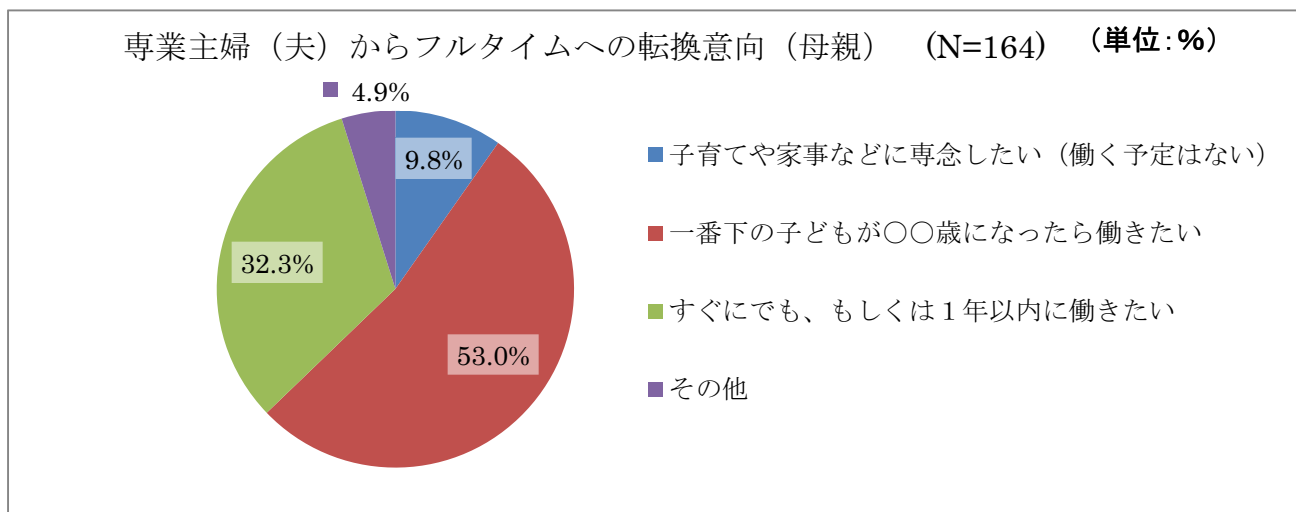


「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」と回答した人が71.4%と最も多いことがわかりました。

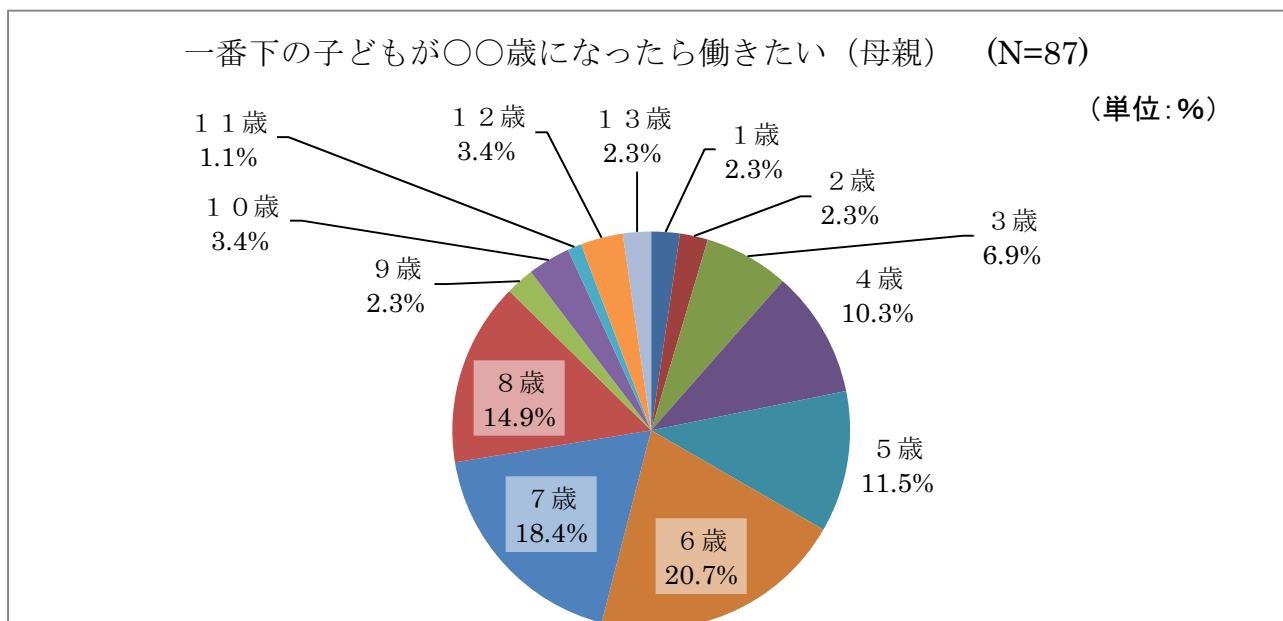
問 1 6 働きたいという希望はありますか。

問 1 4 で「以前は働いていたが、現在は働いていない」または「これまで働いたことがない」と答えた方への限定設問（数量回答）

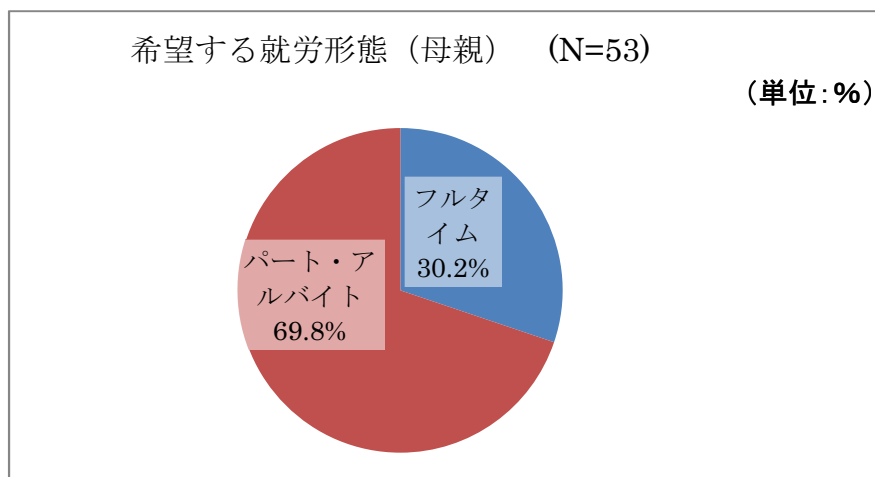
（1）母親



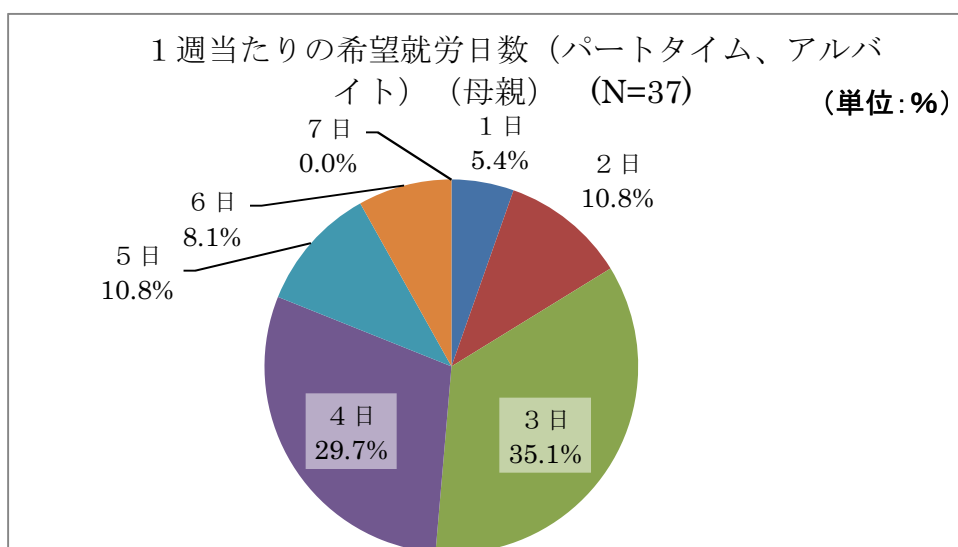
専業主婦から就労への意欲を持つ人は、全体で85, 3%いることがわかります。



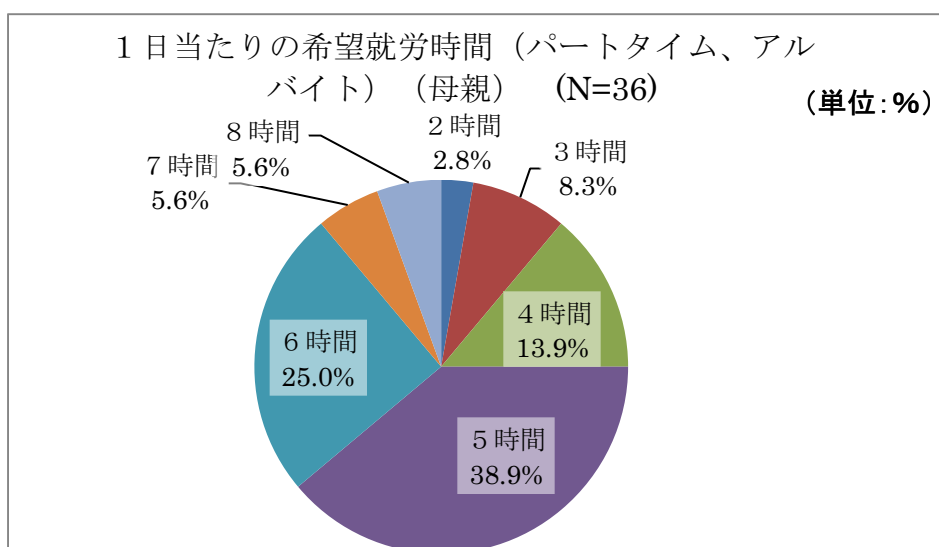
上記の表から、一番下の子どもが小学生になるまでは育児をしたいということが伺えます。



希望する就労形態では、フルタイムを希望する人の倍以上の人が、パート・アルバイトでの就労を考えていることがわかります。

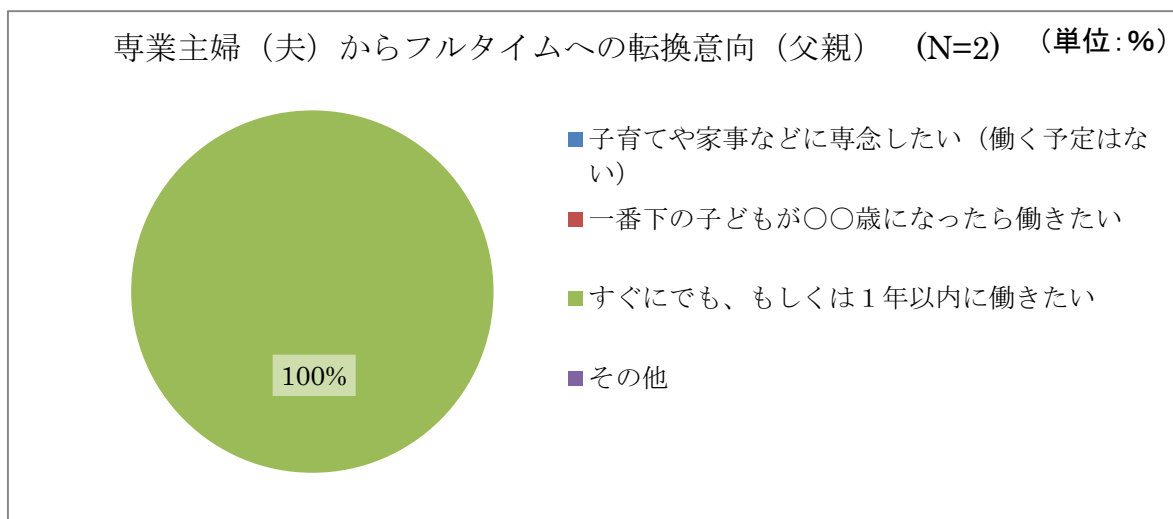


1 週当たりの希望就労日数は3日を希望している人が35.1％と最も多くなっています。



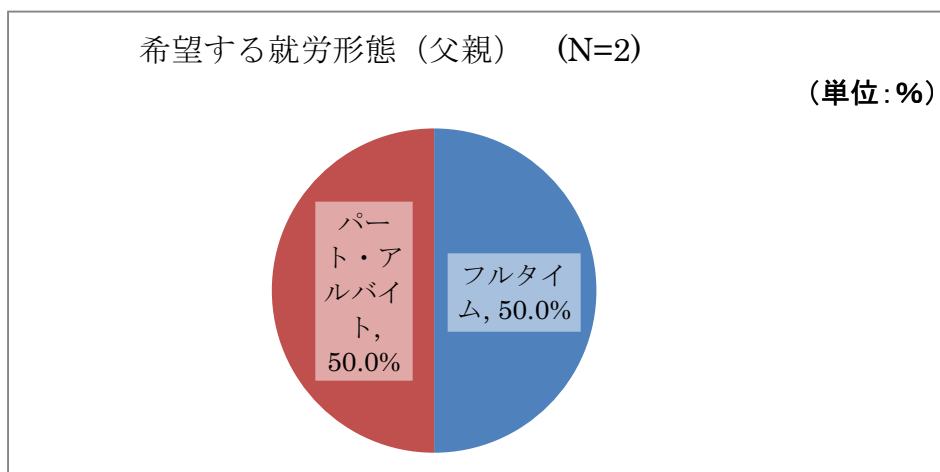
1 日当たりの希望就労時間は5時間を希望する人が38.9％と、最も多いことがわかりました。

(2) 父親

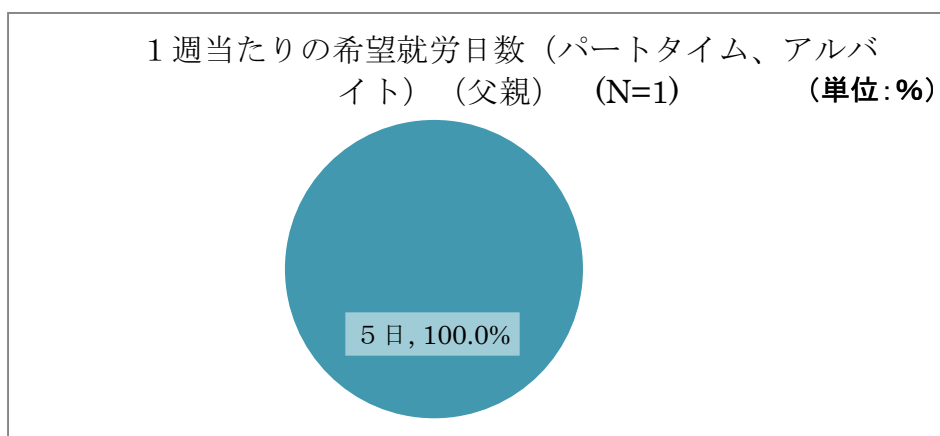


100%の人がすぐにでも働きたいという就労意欲を示しています。

一番下の子どもが〇〇歳になったら働きたいについては、父親は該当ありませんでした。



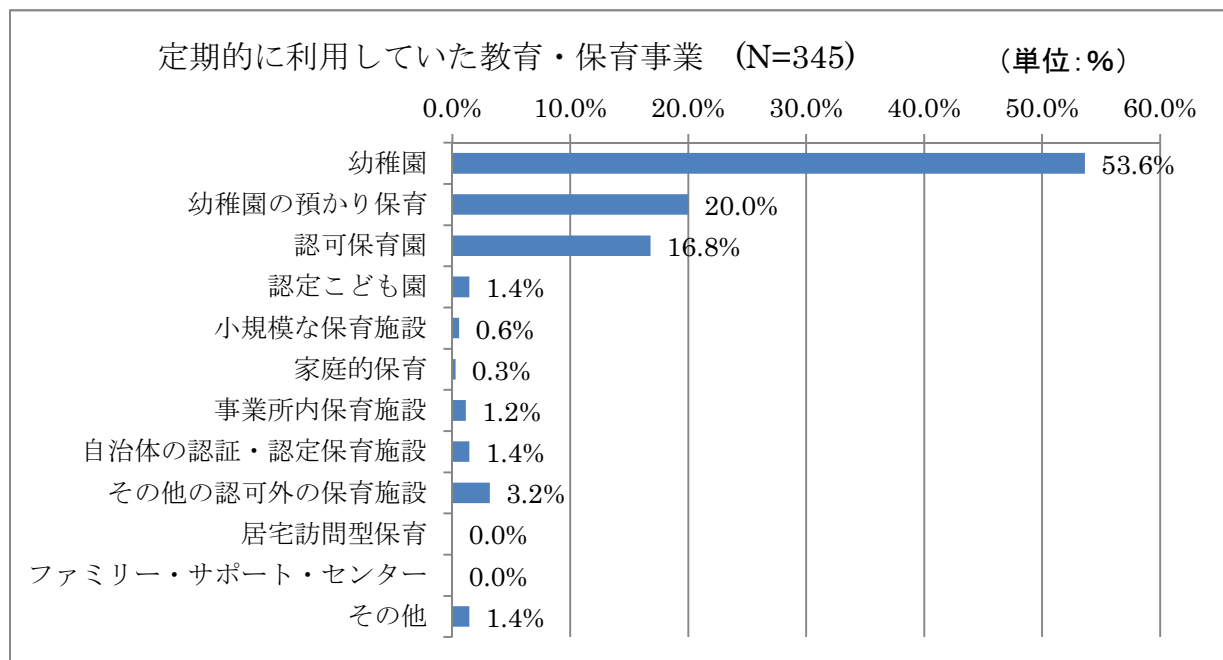
得られた回答では、希望する就労形態はフルタイムとパート・アルバイトが同率となっています。



パート・アルバイトでの希望就労日数は、1週あたり5日と回答した人が1名です。

宛名のお子さんの就学前の教育・保育の事業の利用状況について

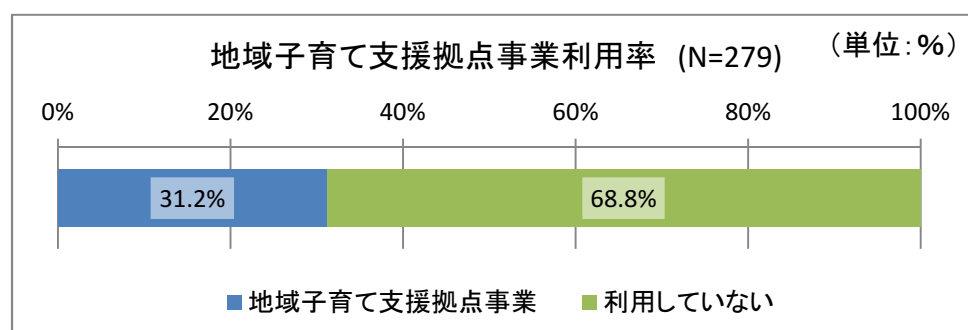
問 1 7 宛名のお子さんが小学校に入学する前に平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用していた施設をお応えください。（複数回答）



小学校に入学する前に平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用していた施設についてみると、53.6%が「幼稚園」と回答しました。「幼稚園の預かり保育」を加えると、「幼稚園」を利用していた人は73.6%に及びます。

宛名のお子さんの就学前の地域子育て支援拠点事業の利用状況について

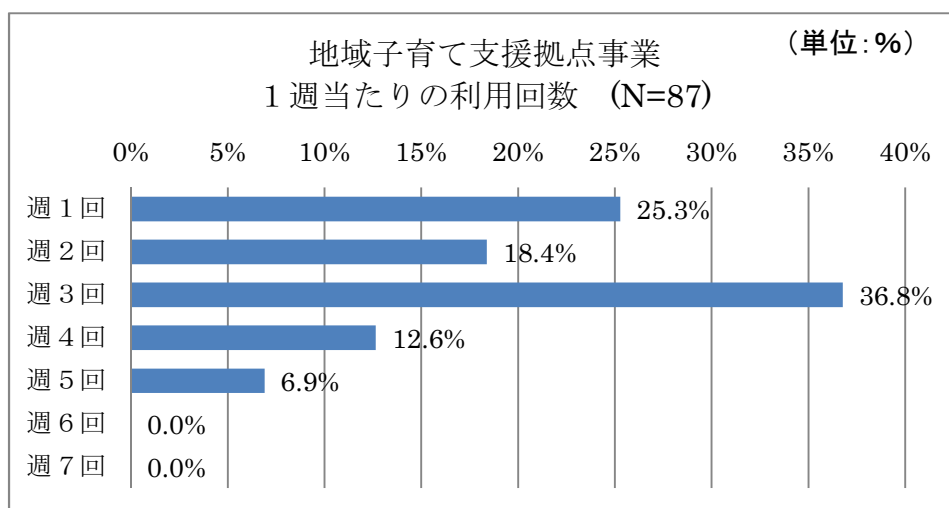
問 1 8 宛名のお子さんが小学校に入学する前に、地域子育て支援拠点事業（レイクピアウスイ内の子育て支援センターや、保育園の園庭開放など、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していましたか。（複数回答）



「利用していない」と回答した人が68.8%となっています。

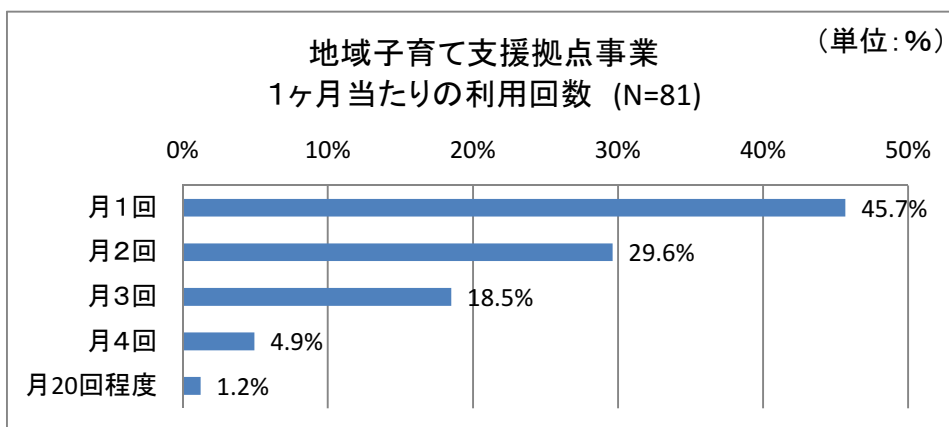
1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

① 1 週当たりの利用回数



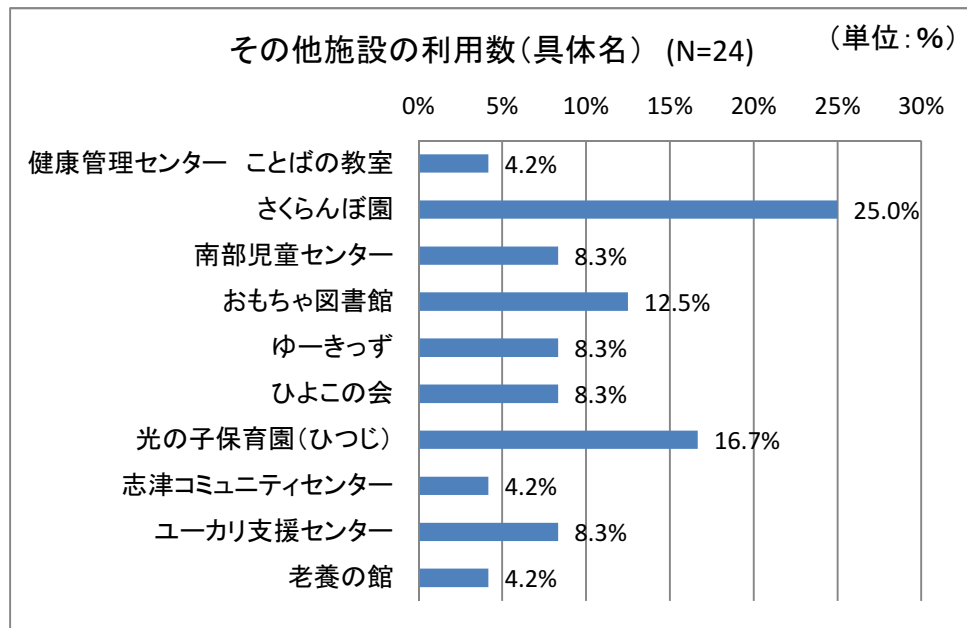
1 週当たりの利用回数をみると、週 3 回と回答した人が 36.8%と最も多く、次いで週 1 回の 25.3%という結果でした。

② 1 ヶ月当たりの利用回数



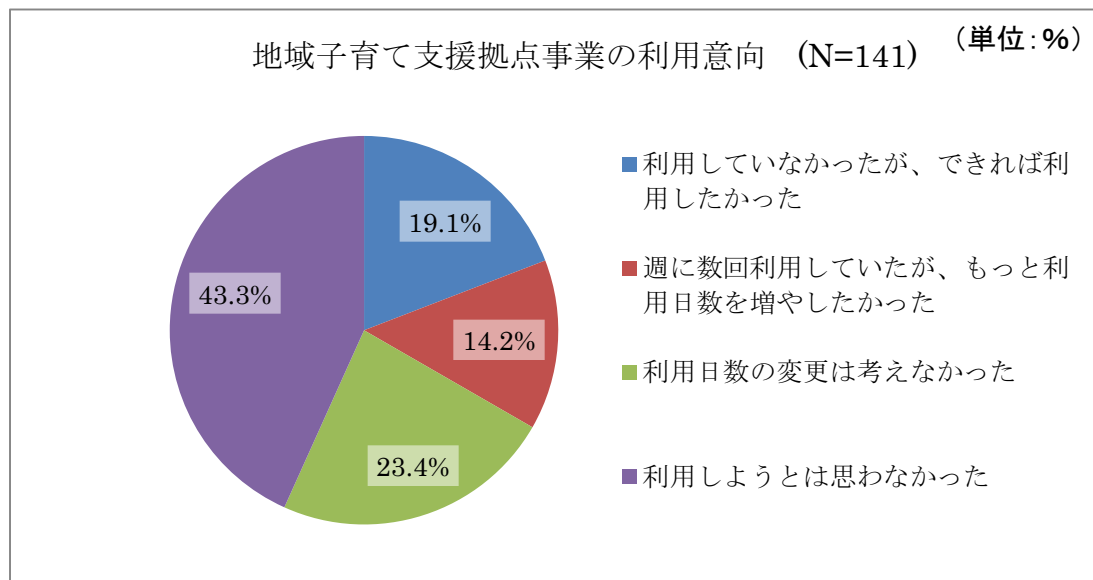
1 ヶ月当たりの利用回数をみると、月 1 回と回答した人が 45.7%と最も多く、次いで月 2 回の 29.6%という結果でした。

2. その他当該自治体で実施している類似の施設



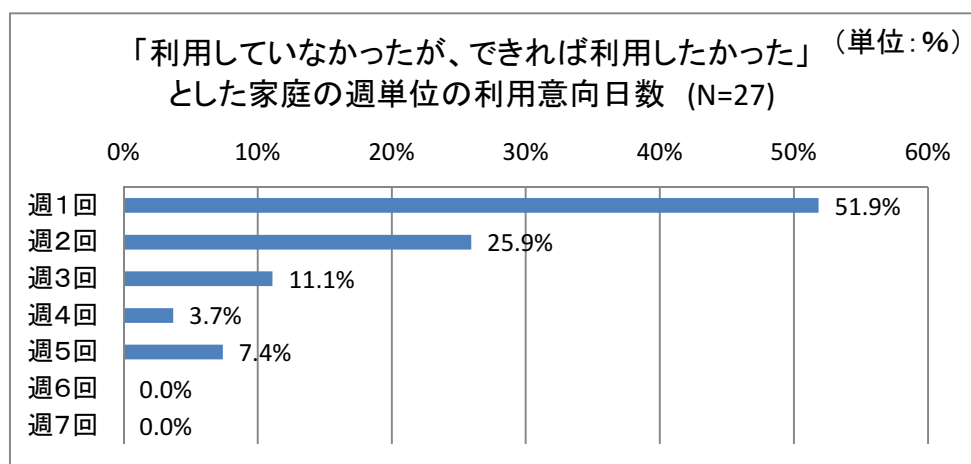
その他として最も回答が多かった施設は、「さくらんぼ園」の25%です。次いで「光の子保育園」の16.7%となっています。

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、利用していなかったが、できれば利用したかった、あるいは、利用日数を増やしたかったと思いますか。(数量回答)

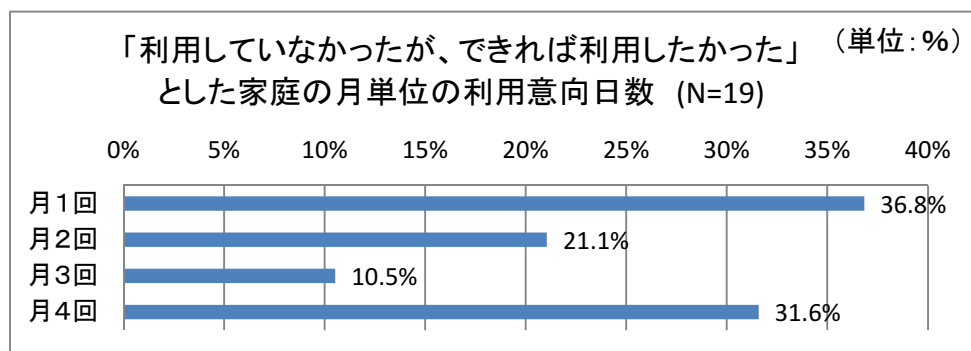


「利用しようとは思わなかった」と回答した人が43.3%と最も多い結果となっています。次いで「利用日数の変更は考えなかった」が23.4%です。

1. 利用していなかったが、できれば利用したかった

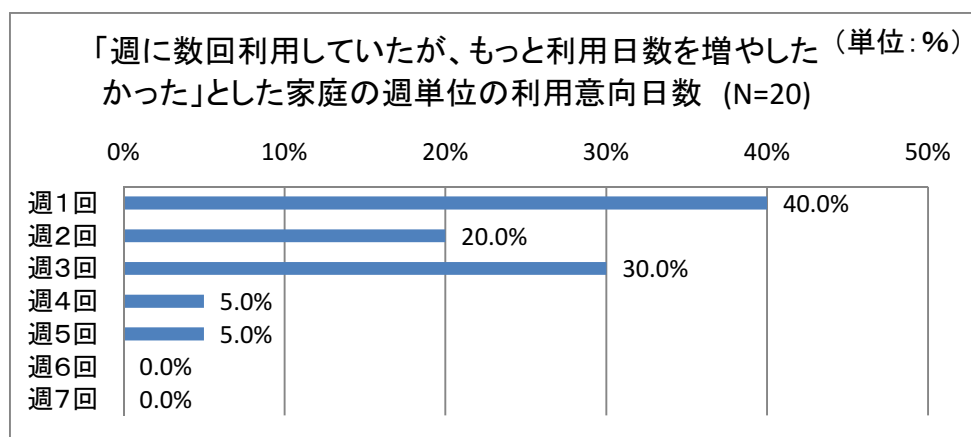


「利用していなかったが、できれば利用したかった」という回答を週単位でみると、51.9%の人が「週1回」と回答しています。

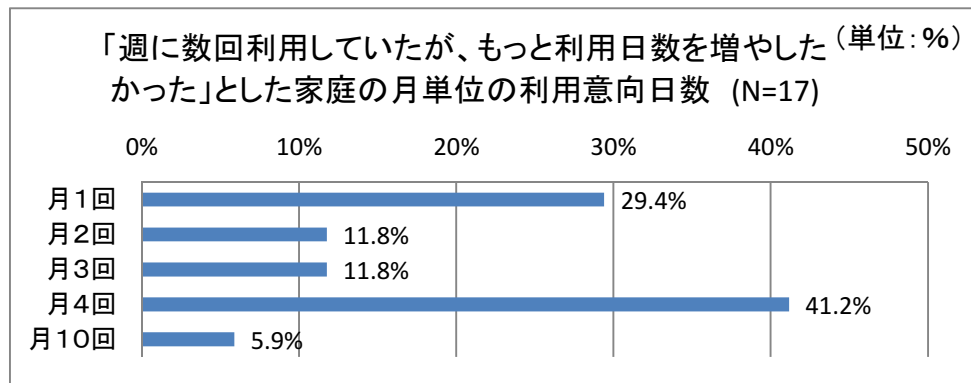


同じく月単位でみてみますと、「月1回」と回答した人が36.8%で最も多く、次いで「月4回」の31.6%となっています。

2. 週に数回利用していたが、もっと利用日数を増やしたかった



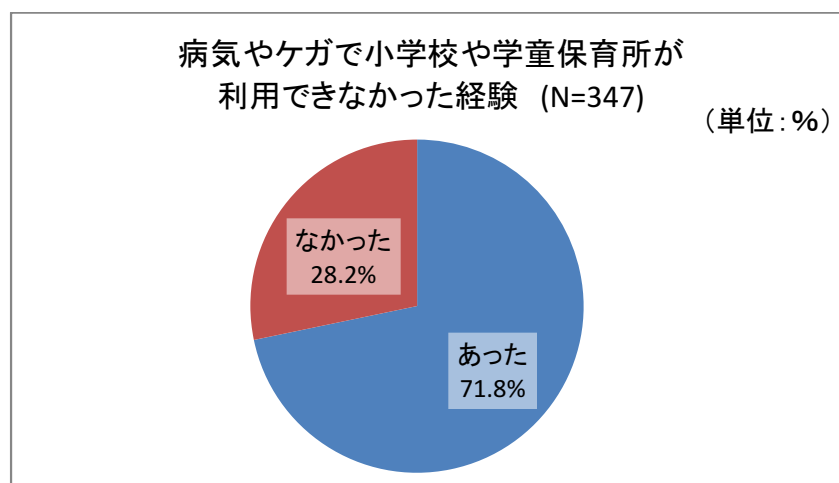
「週に数回利用していたが、もっと利用日数を増やしたかった」という回答を週単位でみると、40%の人が「週1回」と回答しています。次いで「週3回」が30%となっています。



同じく月単位でみてみますと、「月4回」と回答した人が41.2%で最も多く、次いで「月1回」の29.4%となっています。

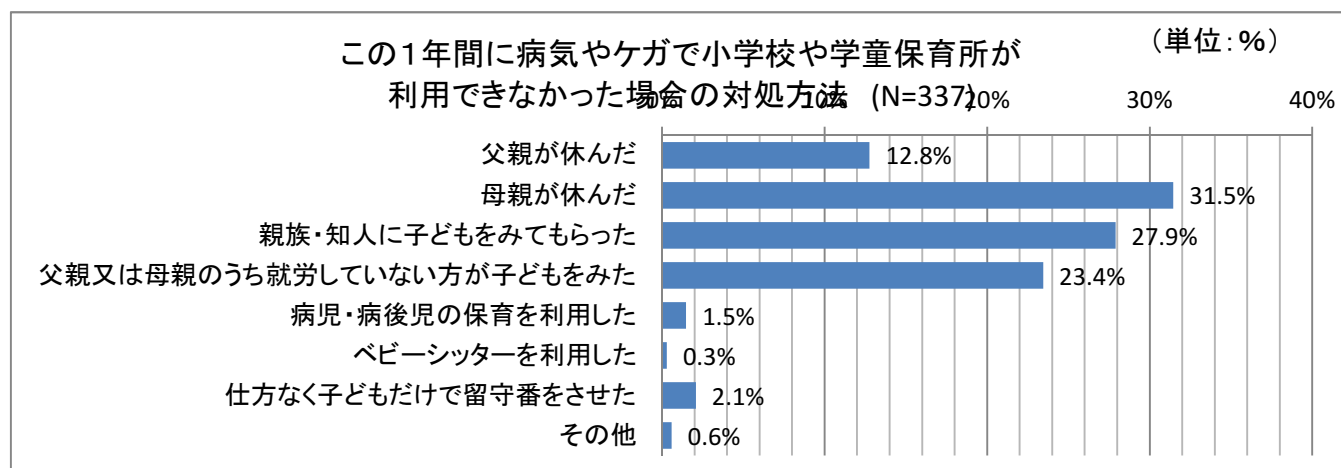
子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する人のみ）

問22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校や学童保育所をお休みしたことはありますか。平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた人への限定設問。（単数回答）



この1年間に、あて名のお子どもが病気やケガで小学校や学童保育所を休んだことがあったと回答した人は、71.8%でした。

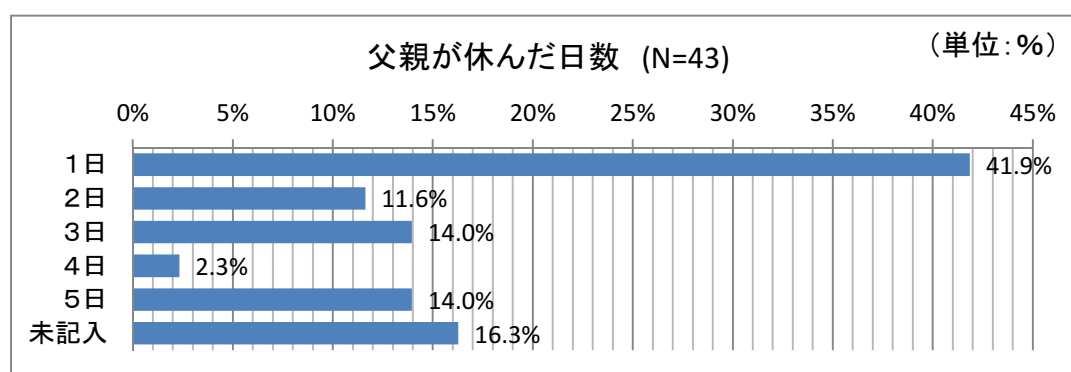
問 2 2 - 1 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やけがで小学校や学童保育所をお休みした場合に行った対処方法をお答えください。（数量回答）



「母親が休んだ」という人が 31, 5 % と最も多い回答でした。

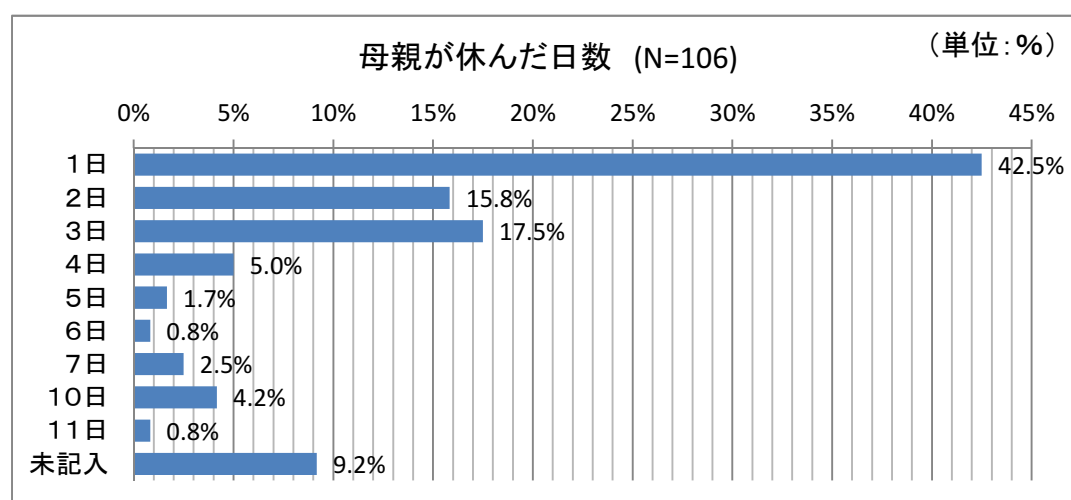
次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 27, 9 % でした。

ア. 父親が休んだ日数



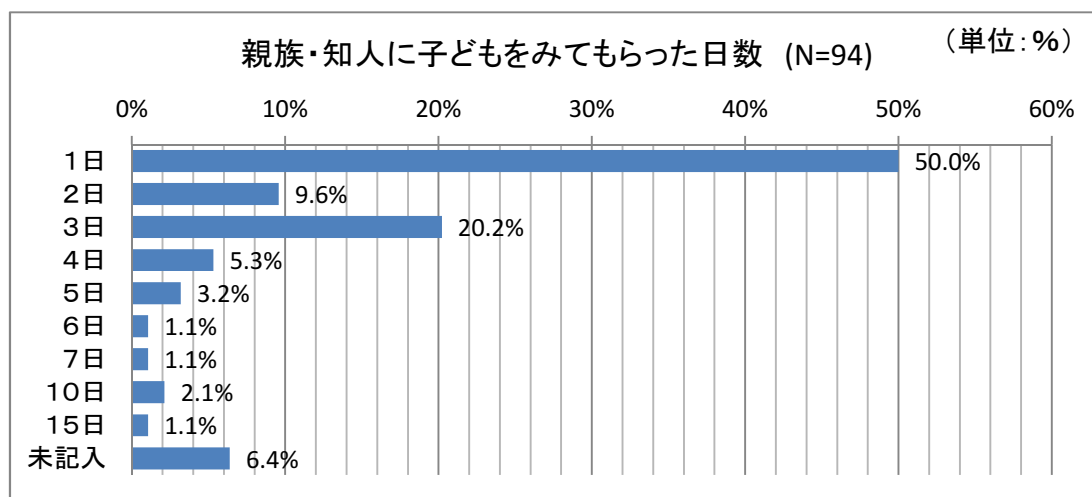
1 日と回答した人が最も多い 41, 9 % です。

イ. 母親が休んだ日数



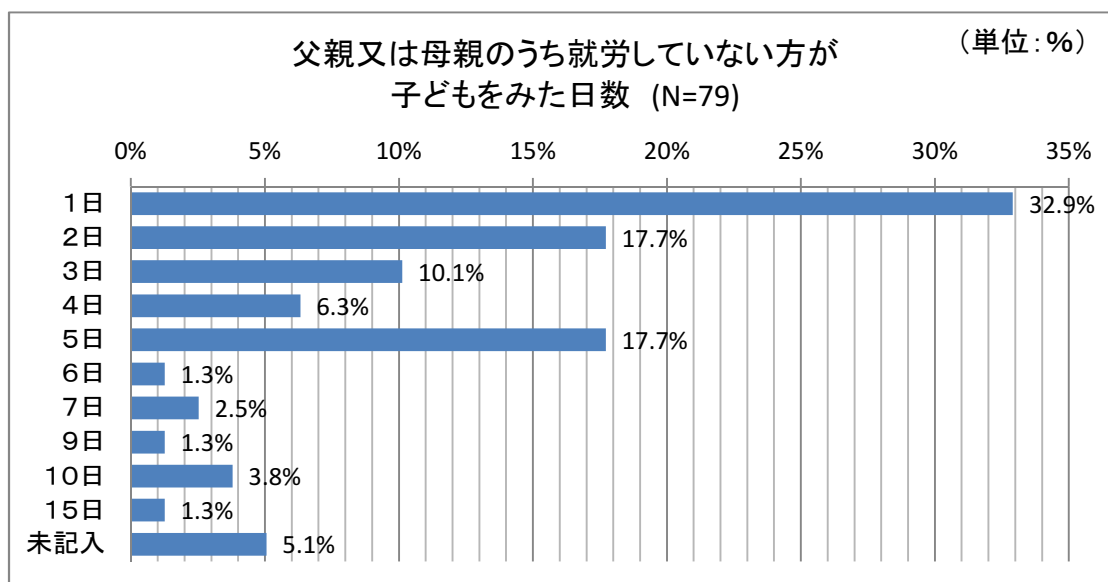
1 日と回答した人が 42, 5 % と最も多く、次いで 3 日の 17, 5 % でした。

ウ．親族・知人に子どもをみてもらった日数



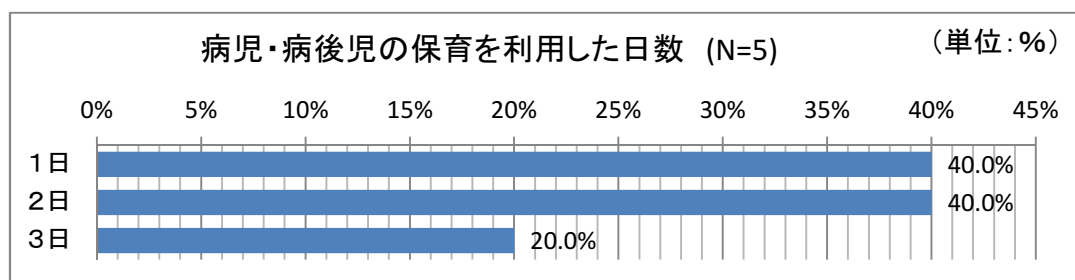
1日と回答した人が50%に及びました。

エ．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



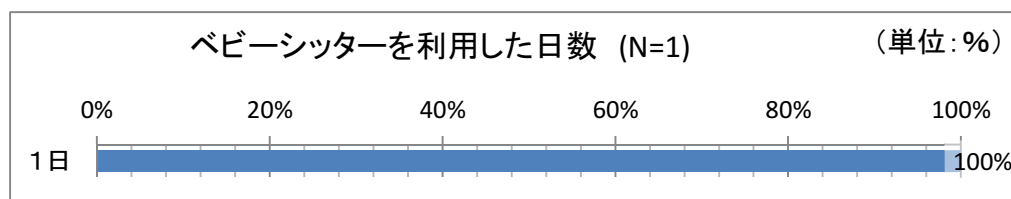
1日と回答したが32.9%と最も多く、次いで2日と5日が同率の17.7%でした。

オ．病児・病後児の保育を利用した日数



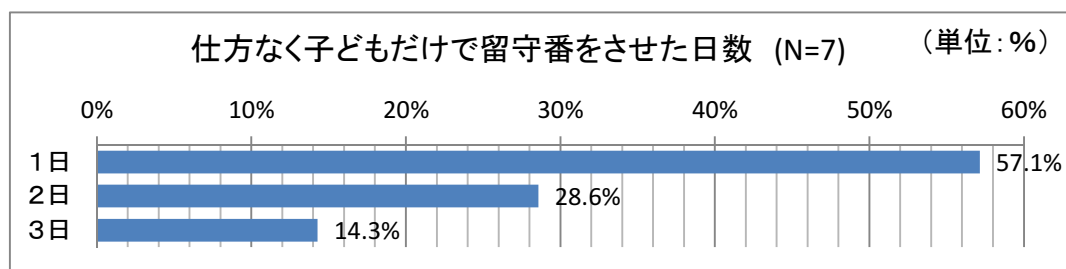
1日と回答した人と、2日と回答した人が同率の40%でした。

カ. ベビーシッターを利用した日数



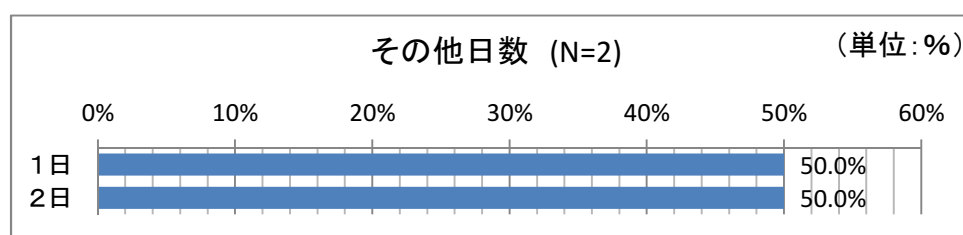
ベビーシッターを頼む場合、1日という回答でした。

キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

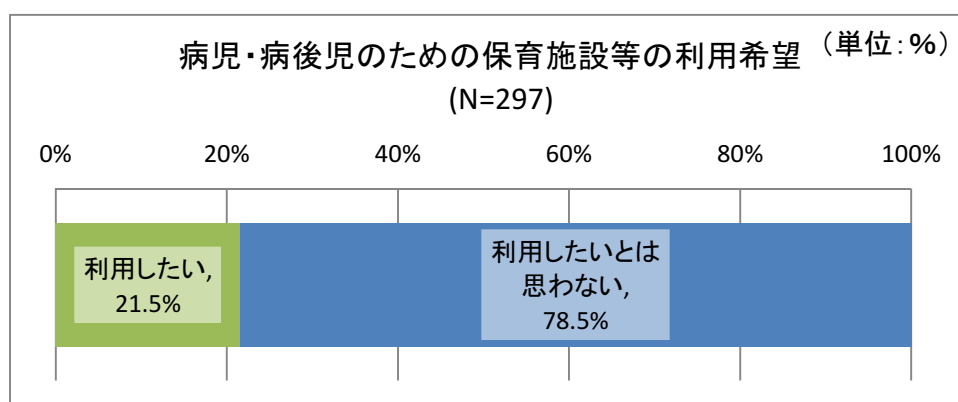


子どもだけで留守番をさせた場合では、1日という人が57.1%と最も多い日数でした。

ク. その他は以下のとおりです。

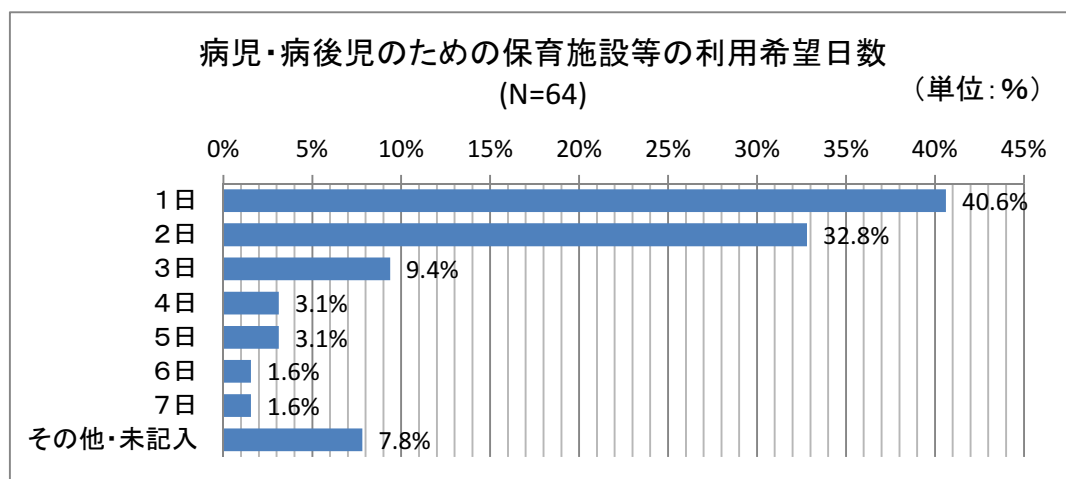


問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。問22-1で、「ア」「イ」のいずれかに回答した人への限定設問（単数回答）



利用したいとは思わないという人が78.5%に及びました。

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思う日数

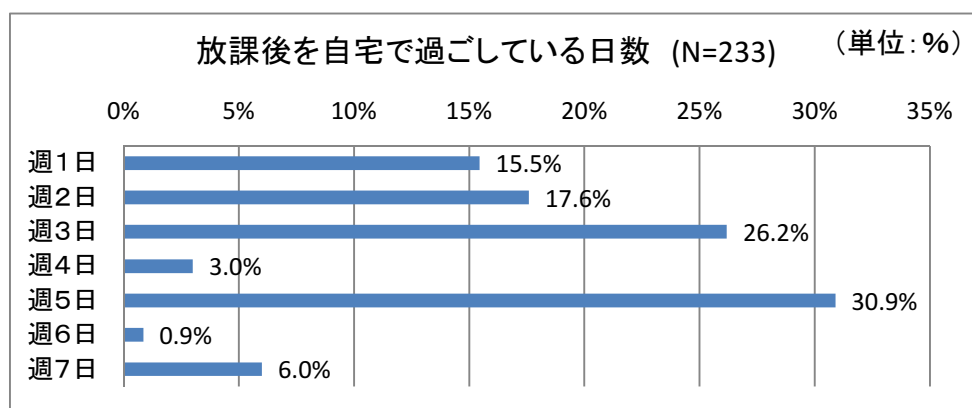


1日と回答した人が最も多い40.6%。次いで2日の32.8%でした。

宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

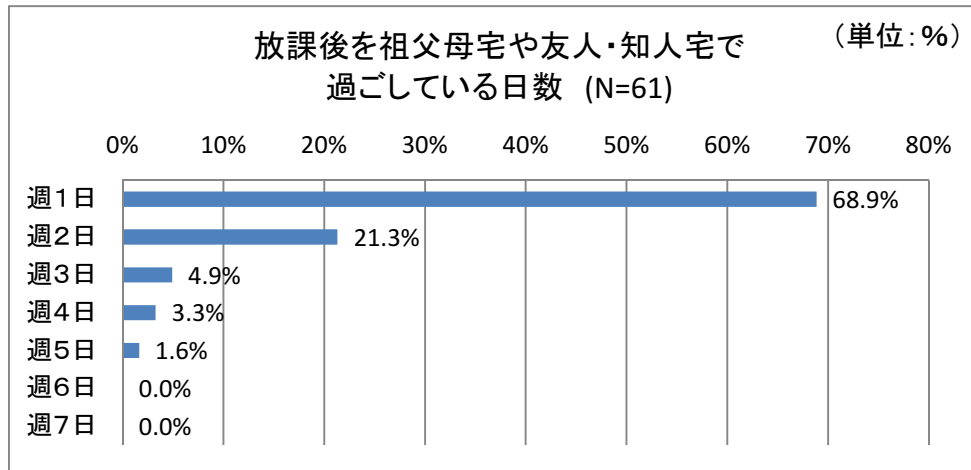
問23 あて名のお子さんについて、放課後はどのように過ごしていますか。(数量回答)

1. 自宅



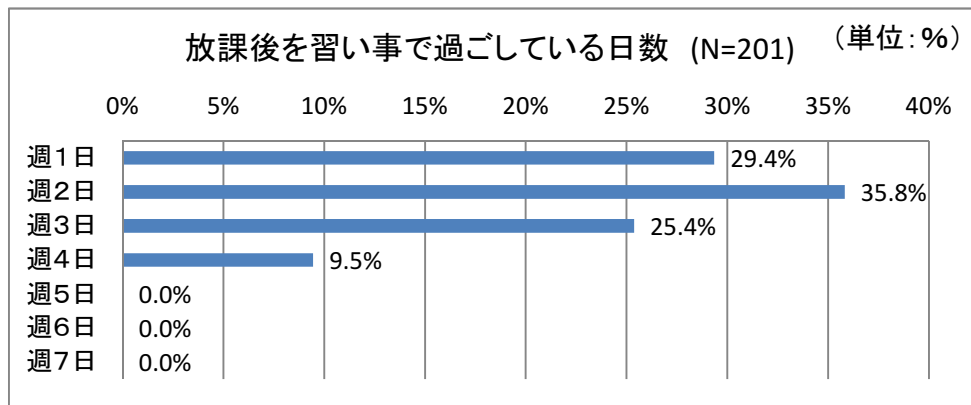
週5日が30.9%と最も多く、次いで週3日の26.2%となっています。

2. 祖父母宅や友人・知人宅



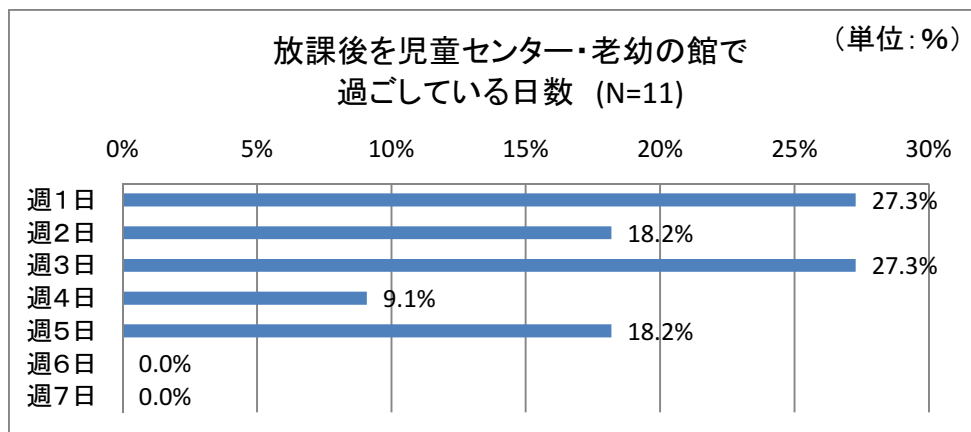
週1日が68.9%と最も多くなっています。

3. 習い事



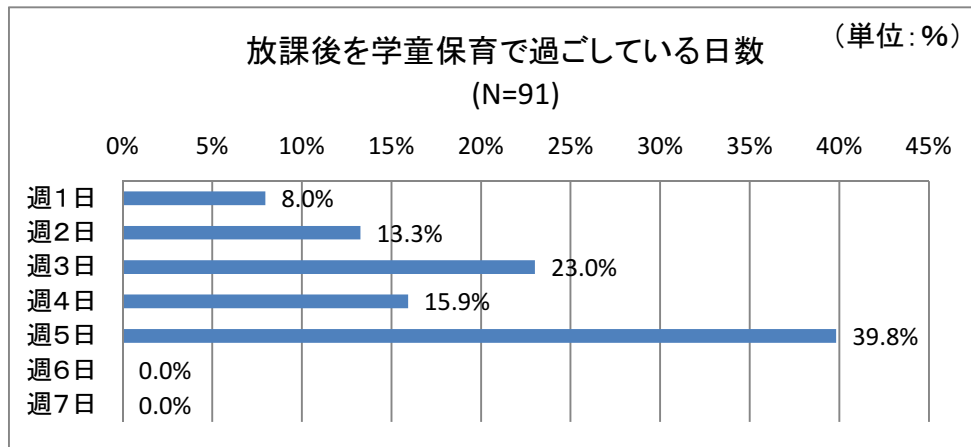
週2日が35.8%と最も多く、次いで週1日の29.4%となっています。

4. 児童センター・老幼の館



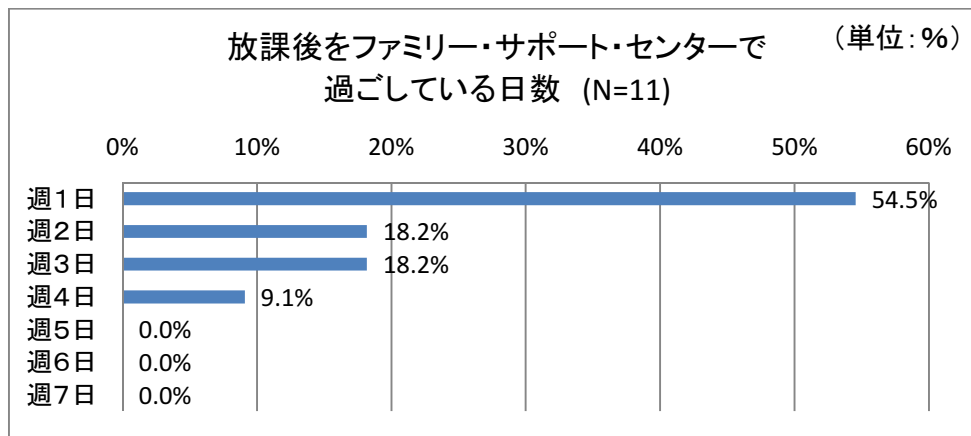
週1日と週3日が同率の27.3%となっています。

5. 学童保育所



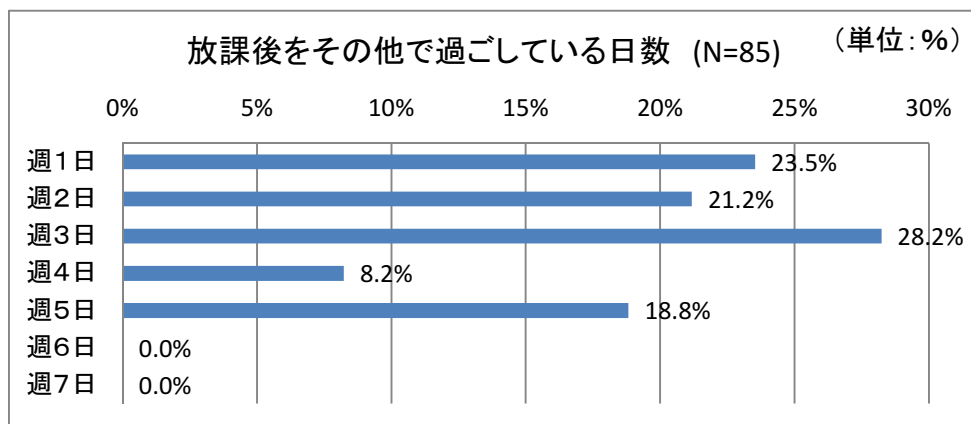
週5日が最も多い39.8%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター



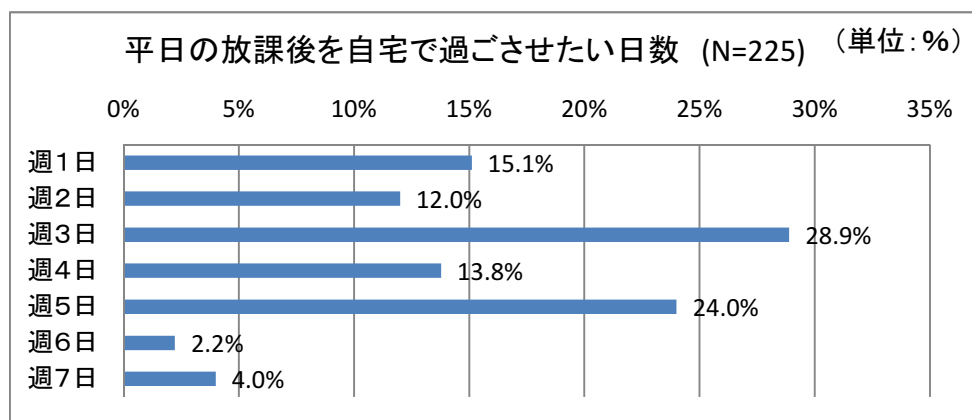
週1日が54.5%と最も多く、次いで週2日と週3日が同率の18.2%となっています。

7. その他（公民館、公園など）



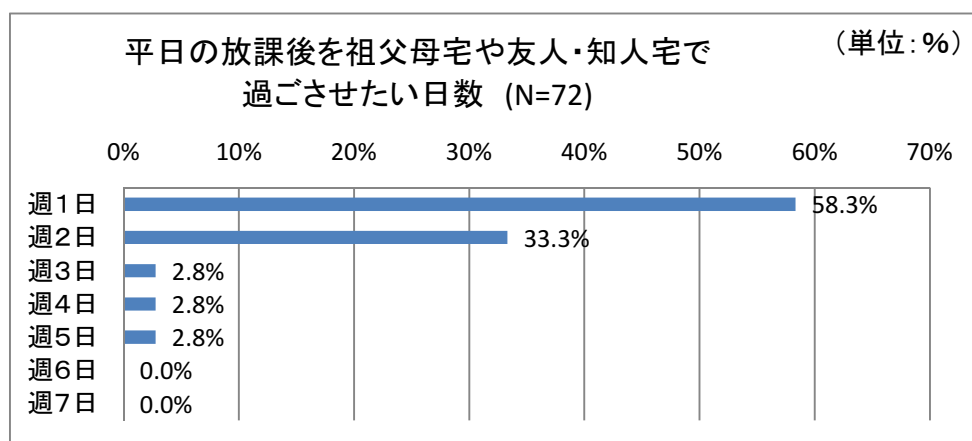
問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごさせていましたか。（数量回答）

1. 自宅



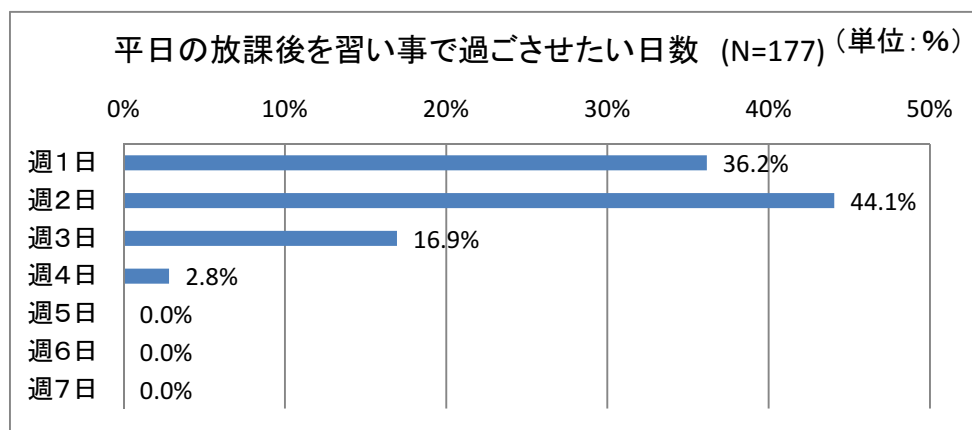
週3日が28, 9%と最も多く、次いで週5日の24%となっています。

2. 祖父母宅や友人・知人宅



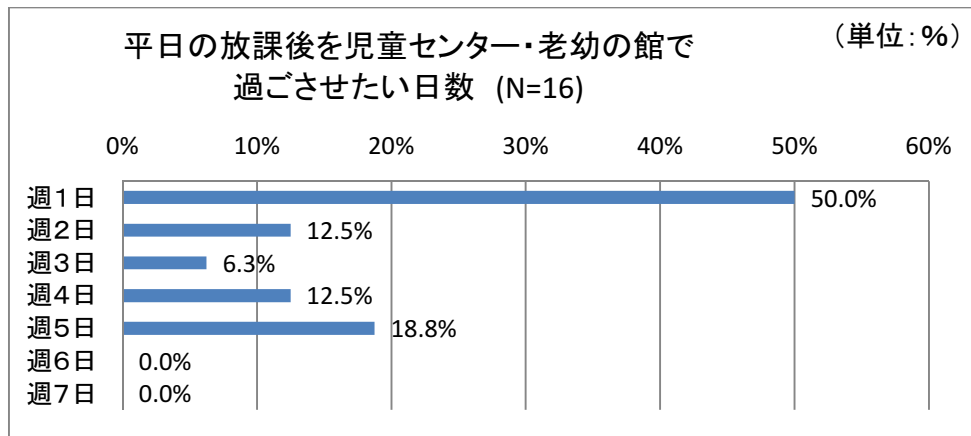
週1日が58, 3%と最も多くなっています。次いで週2日の33, 3%となっています。

3. 習い事



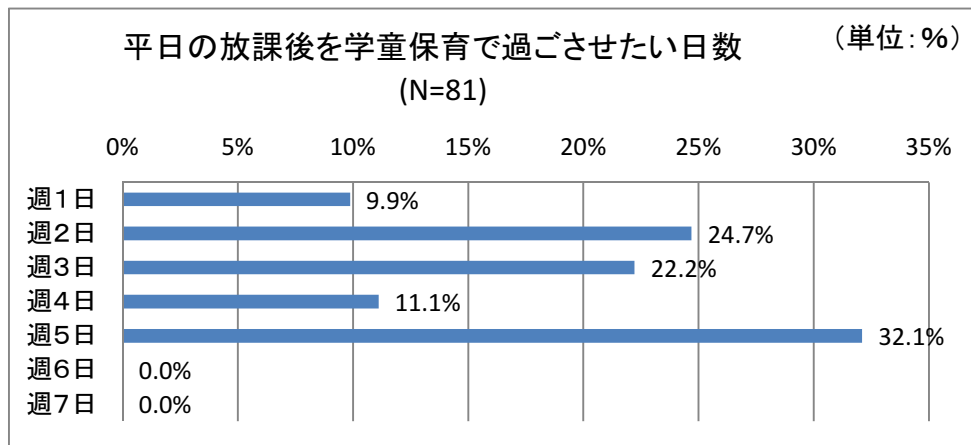
週2日が44, 1%と最も多く、次いで週1日の36, 2%となっています。

4. 児童センター・老幼の館



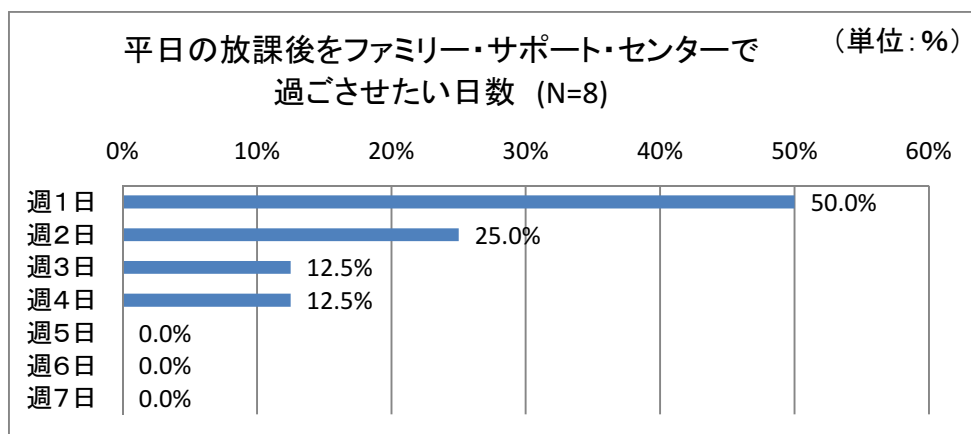
週1日が最も多く、50%となっています。

5. 学童保育所



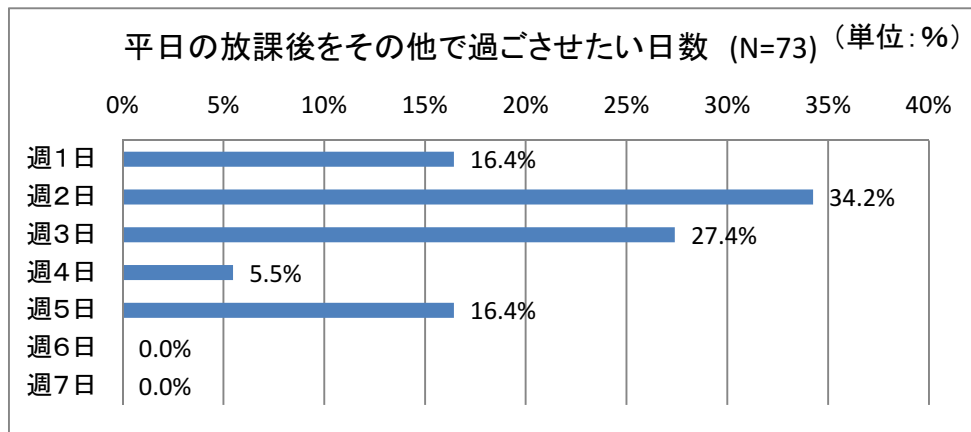
週5日が最も多い32.1%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター



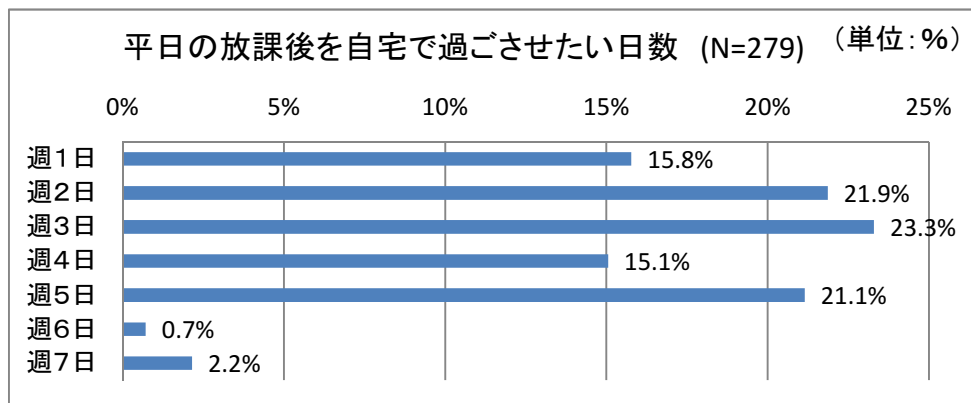
週1日が50%と最も多く、次いで週2日の25%となっています。

7. その他（公民館、公園など）



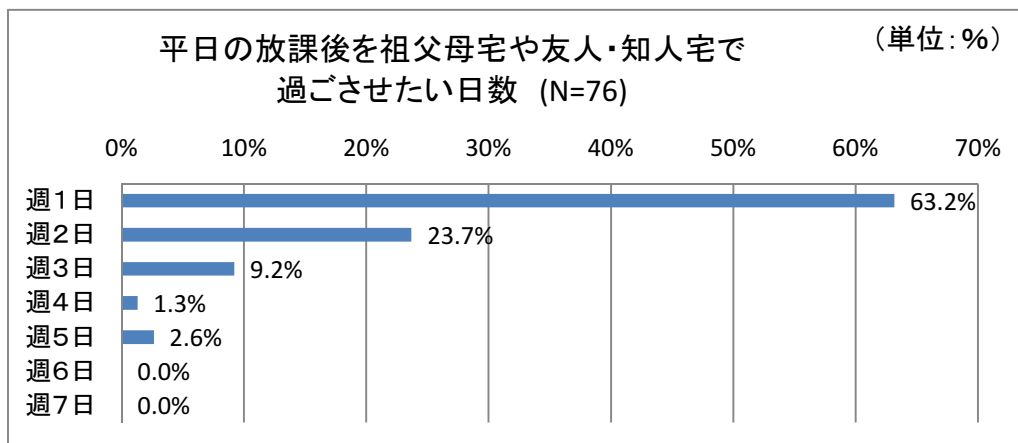
問25 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または過ごさせていますか。（数量回答）

1. 自宅



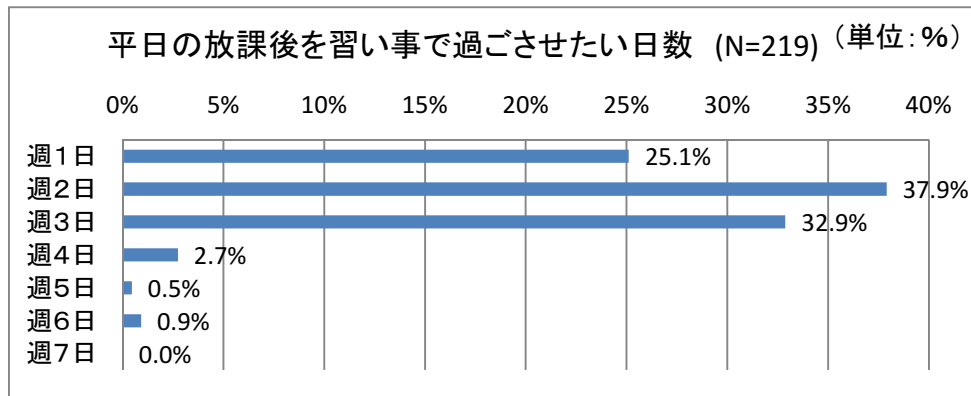
週3日が23.3%と最も多く、次いで週2日の21.9%となっています。

2. 祖父母宅や友人・知人宅



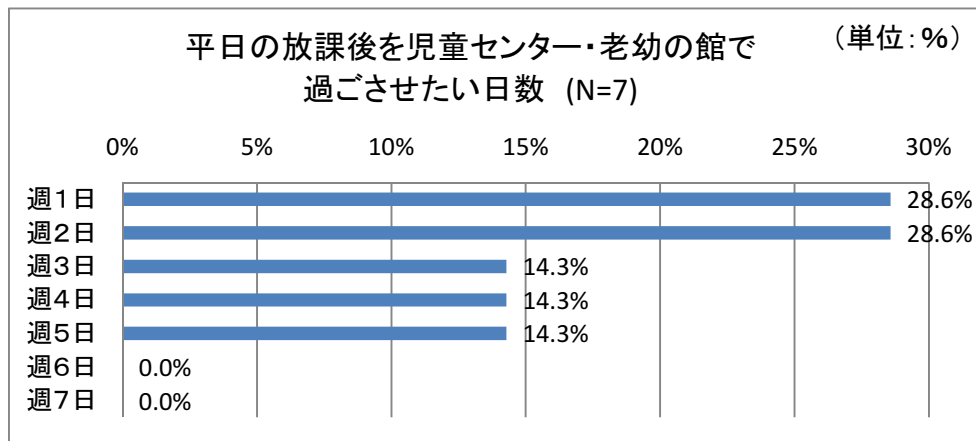
週1日が63.2%と最も多く、次いで週2日の23.7%となっています。

3. 習い事



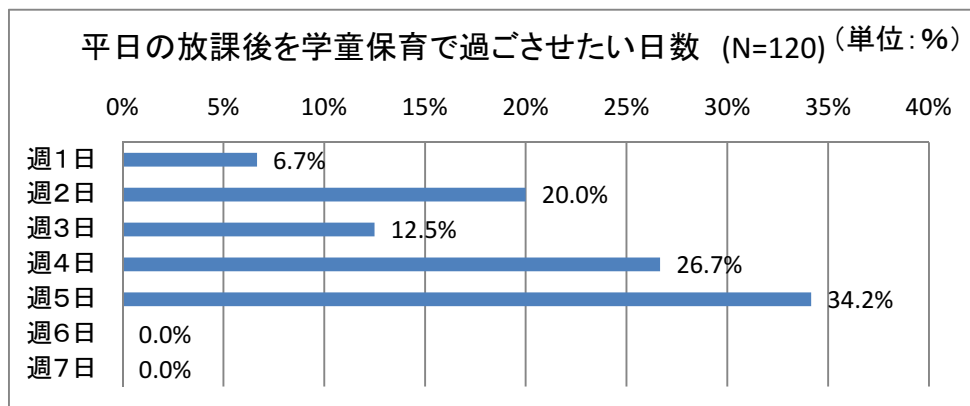
週2日が37.9%と最も多く、次いで週3日の32.9%となっています。

4. 児童センター・老幼の館



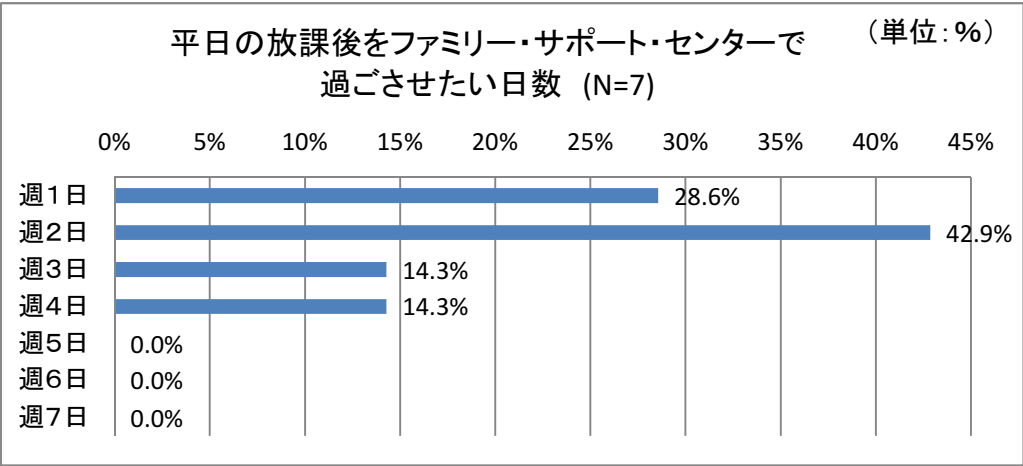
週1日と週2日が同率の28.6%と最も多くなっています。

5. 学童保育所



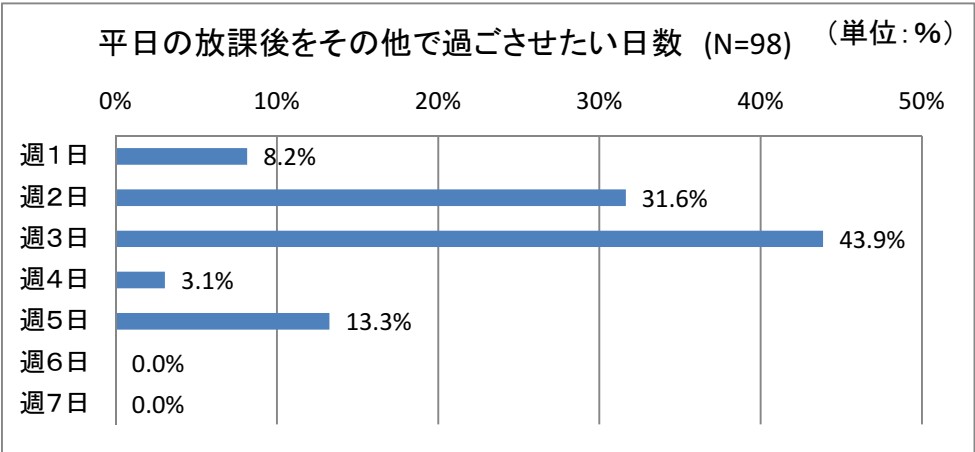
学童保育所の日数をみると、週5日が最も多い34.2%となっています。

6. ファミリー・サポート・センター



週2日が42.9%と最も多く、次いで週1日と週5日が28.6%となっています。

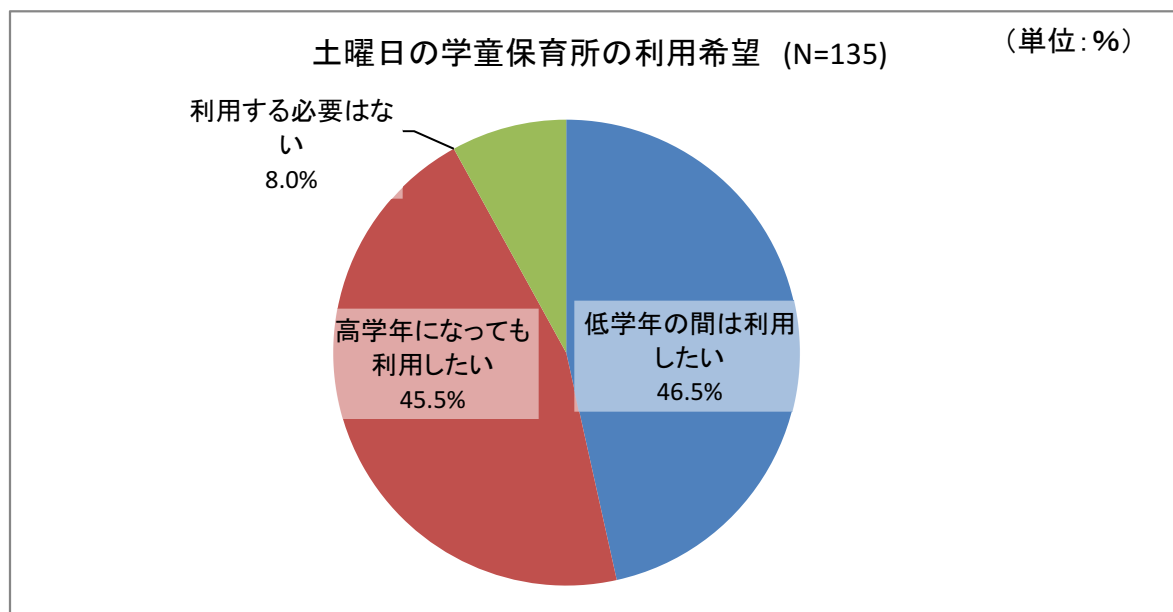
7. その他（公民館、公園など）



問 2 6 土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

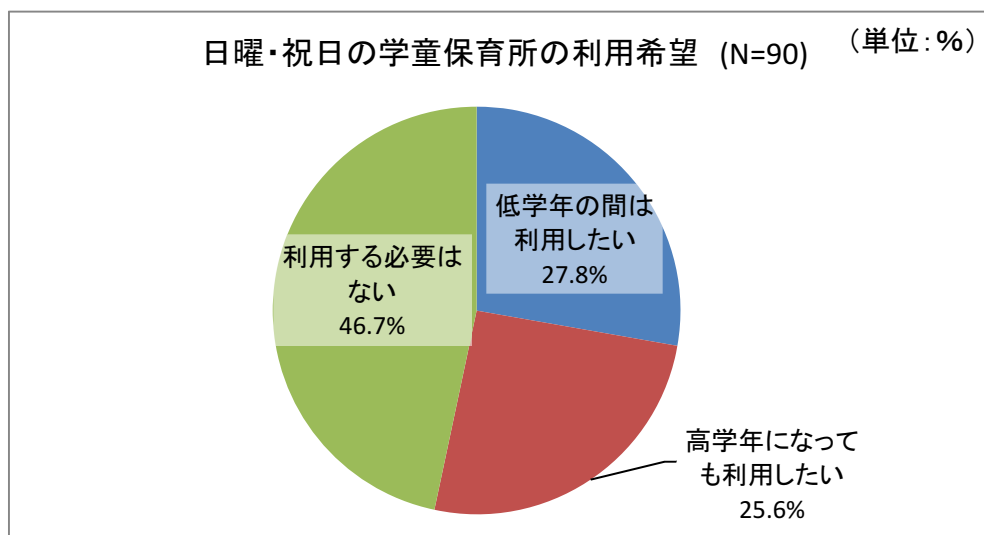
問 2 4 ・ 問 2 5 で「学童保育」を選択した人への限定設問（数量回答）

（１）土曜日 利用希望時間帯はグラフのとおりです。



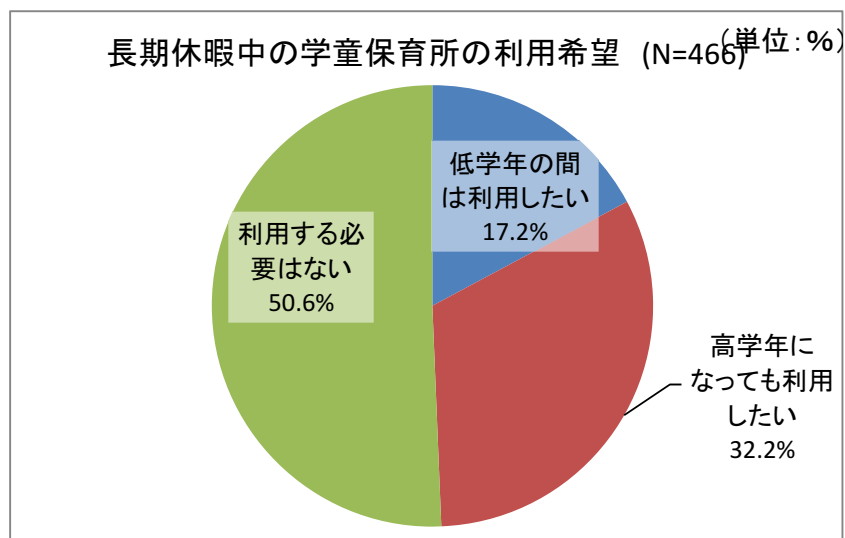
学童保育所の土曜日の利用希望についてみると、低学年（１～３年生）の間は利用したいという人が４６，５％。高学年（４～６年生）になっても利用したいという人が４５，５％でした。

（２）日曜日・祝日 利用希望時間帯はグラフのとおりです。



学童保育所の日曜日・祝日の利用希望についてみると、低学年（１～３年生）の間は利用したいという人が２７，８％。高学年（４～６年生）になっても利用したいという人が２５，６％でした。

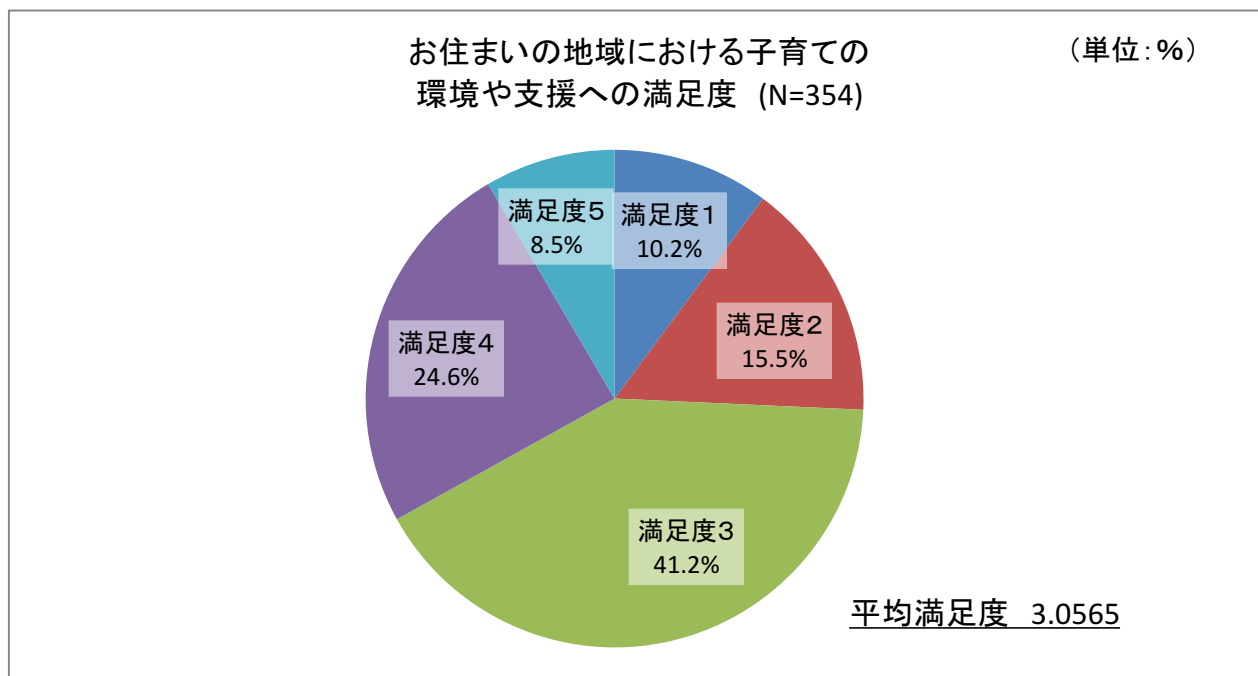
問 2 7 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。(数量回答)



長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、「利用する必要はない」と回答した人が50, 6%に及びました。利用希望時間帯はグラフのとおりです。

問 2 9 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

(単数回答)



本アンケート調査において、地域における子育ての環境や支援への満足度を5段階評価で質問した結果、満足度3という回答が41, 2%と最も多く、次いで満足度4が24, 6%という結果でした。

佐倉市子ども・子育て支援に係るニーズ調査 【就学前児童保護者用】

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進について、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。
佐倉市では、早ければ平成27年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めております。新制度は幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための制度で、国が定める「基本指針」に基づいた「子ども・子育て支援事業計画」を各市町村が策定することとされています。

つきましては、皆様の子育て支援に関する現在の状況、今後の利用希望など地域における様々なニーズを正確に把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に活かしていくため、「子ども・子育て支援に係るニーズ調査」を行うこととなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを持つ保護者の方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

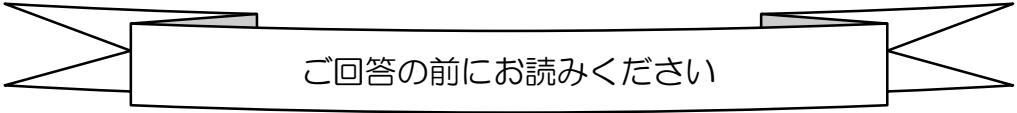
佐倉市の総合的な子ども・子育て支援対策の推進に向けた大変重要な調査ですので、ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

佐倉市

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（平成25年12月末現在）の状況についてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、**選択肢に○をつけて**お選びいただく場合と、**数字などをご記入いただく**場合があります。なお、数字は□欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに沿ってご記入ください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。**ことわり書きや矢印**に沿ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、同封の**返信用封筒**（切手は不要です）に入れて**1月17日（金）まで**にご投函ください。
8. お問い合わせは、健康こども部子育て支援課（担当：^{しげの}滋野・^{おがわ}小川）までお願いします。
電話484－6139（直通）



ご回答の前にお読みください

ご回答いただく項目は設問によって異なります。

アンケートに要する時間は、おおむね20分程度ですので、なにとぞご協力をお願いいたします。

佐倉市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成27年度から実施予定）

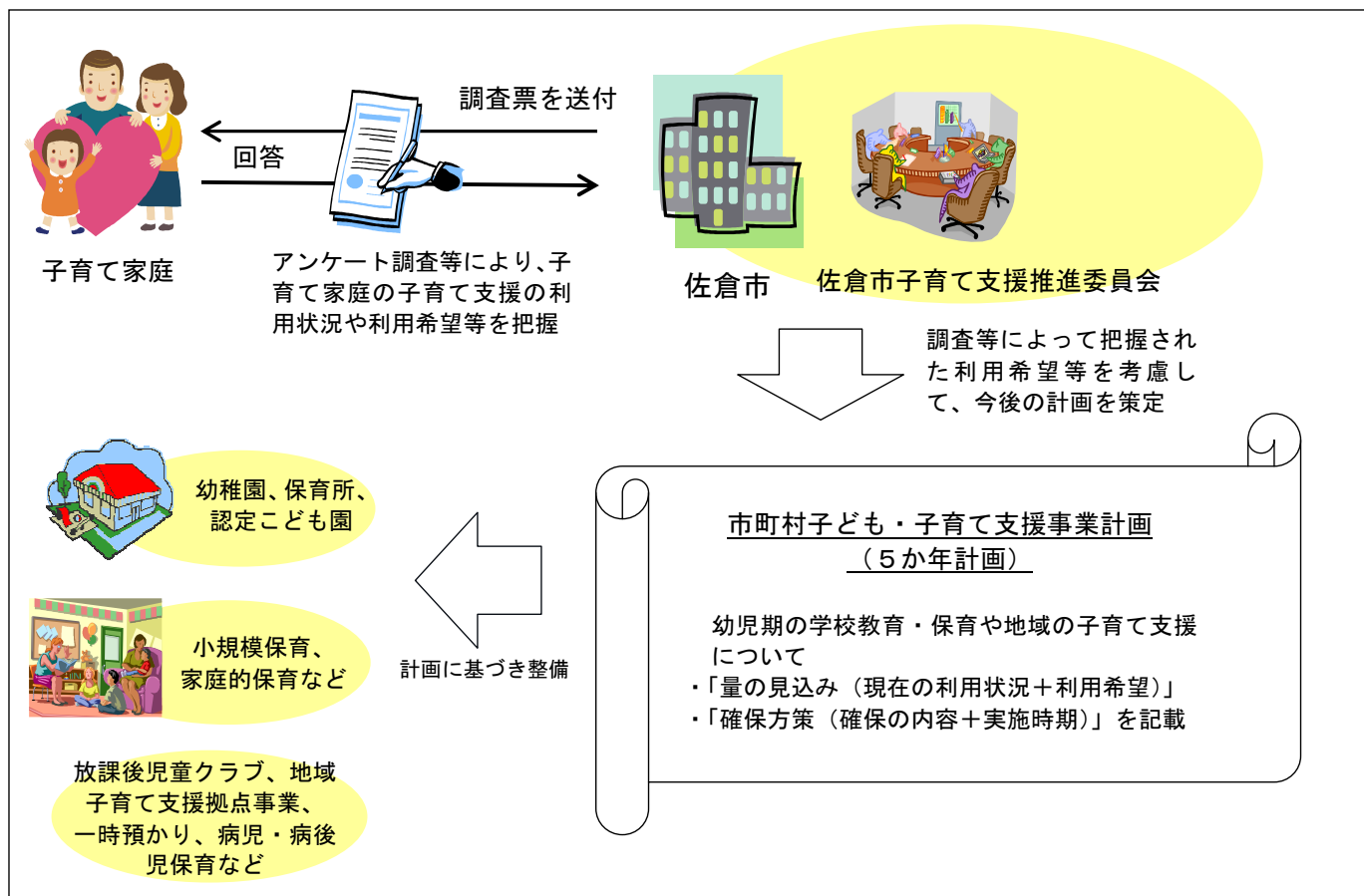
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を佐倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 園 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認 定 こ ど も 園 : 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
※現在、佐倉市内には認定こども園はありません。
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : この調査においては家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

285-0000

佐倉市〇〇〇〇〇番地

佐倉 太郎様 の保護者様



宛名ラベルの左下にある数字のうち、ハイフン（-）の前にある10ケタの数字の、下2ケタの数字（下線部分）が中学校区を示す番号ですので、番号をご確認のうえ、下記の枠の中からお選びになり、該当する番号に○をつけてください。

※左記のラベルはイメージです。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 31. 佐倉中学校区 | 32. 志津中学校区 | 33. 上志津中学校区 | 34. 南部中学校区 |
| 35. 臼井中学校区 | 36. 井野中学校区 | 37. 佐倉東中学校区 | 38. 臼井西中学校区 |
| 39. 西志津中学校区 | 40. 臼井南中学校区 | 41. 根郷中学校区 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字で記入ください。数字は一枠に一字。）

平成 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字で記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は末子の方の生年月月をご記入下さい。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ <input type="text"/> ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんと同居しているご家族の方はどなたですか。

当てはまる番号すべてに○を地付けてください。

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 姉（ <input type="text"/> ）人 | 4. 兄（ <input type="text"/> ）人 |
| 5. 妹（ <input type="text"/> ）人 | 6. 弟（ <input type="text"/> ）人 | 7. 祖母 | 8. 祖父 |

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他（ ） | | | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 認可保育園 | 7. 認定こども園 | 8. 認可外保育施設 |
| 9. その他（ ） | | | |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに〇をつけてください。

- | | | | | |
|------------|-------|-----------|----------|-----------|
| 1. 家族 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 認可保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. 認可外保育施設 | | 7. その他（ ） | | |

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある 問11-1へ | 2. いない／ない 問12へ |
|------------------------|-----------------------|

問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 1 1 - 1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）
5. 保健所・健康管理センター・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当
11. 民間の子育てグループ等
12. その他（ ）

問12 子育て（教育を含む）において、現在になか悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登校拒否、不登校などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
18. その他 差しつかえなければ、具体的にお書きください

問１３ 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ここで言う「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の働き方を言います。

また、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の働き方を言います。

母親	父親
1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない	1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない

問14で「1. ～4.」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は、必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

母親	父親
週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分	週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 15 問 14で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 17へお進みください。

フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある	1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない	2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している	3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 16 問 14で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）	
→希望する働き方	{ ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間
4. その他（ ）	

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）	
→希望する働き方	{ ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間
4. その他（ ）	

平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園・保育園など）の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育園を指します。

問 17 宛名のお子さんは、平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。いずれも利用していない方は⇒ **問 17-2**へ

1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）、利用している場所について、〔 〕内に数字でご記入ください。時間は、必ず 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

①利用している施設	現在の利用状況	希望の利用時間等	利用の場所
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長しての預かり)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
3. 認可保育園 (都道府県の認可を受けた保育施設)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
4. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
6. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
7. その他の認可外の保育施設	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村
10. その他 ()	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 (〔 〕時～〔 〕時)	1. 佐倉市 2. 他の市町村

問 17-1 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。

主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在働いている 3. 子育て（教育を含む）をしている方が働く予定がある／仕事をさがしている 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他 ()
--

問17-2 問17で、いずれも利用していない方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。

理由としてもっとも当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- [illegible]

問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える施設にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる施設のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育するもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるもの）
12. その他（ ）

問18-1 教育・保育施設を利用したい場所についてうかがいます。

「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 佐倉市 2. 他の市区町村

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①マタニティクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②パパ・ママクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③健康管理センター・南部保健センター・西部保健センターが実施する相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④公民館が主催する親子遊びなどの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤図書館が主催する絵本のお話会などの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥家庭教育に関する学級・講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧子育て支援センター（レイクピア3階）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨佐倉市教育センター（佐倉東小学校内）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩佐倉市の子育て情報誌「佐倉っ子・子育てナビ」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪佐倉市の民間団体が発行している子育て情報誌「佐倉子育てカレンダー」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫その他サークルやNPO法人が提供する「親と子の友達作り」や「親と子が集える場所」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬CSP講座（どならない子育て練習講座）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい		利用したい時間帯 時 分から 時 分まで
---	---	--

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい		利用したい時間帯 時 分から 時 分まで
---	---	--

問23の(1)もしくは(2)で「3. 月に1~2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。

問23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 月に数回仕事が入るため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
5. その他（ | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
4. 自分のリフレッシュのため
) |
|---|--|

幼稚園を利用されている方にうかがいます。

問 24 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯
- 時 分 から 時 分 まで

問 24-1 問 24で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 週に数回仕事が入るため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
5. その他（ | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
4. 自分のリフレッシュのため |
|---|--|

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問25 平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。

該当しない方は、問 26へお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問25-1へ 2. なかった ⇒ 問26へ

問 25-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)(数字は一枠に一字。)

1 年間の対処方法	日数		
ア. 父親が休んだ	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
イ. 母親が休んだ	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
カ. ベビーシッターを利用した	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
ク. その他 ()	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		

問25-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

(数字は一枠に一字)なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい ⇒

--	--

 日 ⇒ **問 25-3 へ**

2. 利用したいとは思わない ⇒ **問 25-4 へ**

問25-3 問25-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに
○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（ ）
--

問 25-4 問 25-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間 日数など）がよいくない	4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）	

問25-5 問25-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒

--	--

 日

2. 休んで看することは非常に難しい

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業（幼稚園・保育園など）や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 26 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している施設はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

利用している事業・日数（年間）	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
5. ベビーシッター	日
6. その他（ ）	日
7. 利用していない	日

問26で、7. 利用していないと回答した方にうかがいます。

問26-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問27 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、勤務日が一定でない仕事等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 日		
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、 リフレッシュ目的	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 日		
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 日		
ウ. 不定期の就労	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 日		
エ. その他（ ）	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 日		
2. 利用する必要はない ⇒ 問30へ			

問28 問27で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問27の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する施設（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する施設（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する施設（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法 日数	
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他（ ）	泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問31へ

問30 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

学童保育所…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※1	週 日くらい
5. 学童保育所	週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問31 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、学童保育所の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | | | |
|-----------------------------|---|----------------------|---|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 児童センター・老幼の館 | ※ | 週 | <input type="text"/> 日くらい |
| 5. 学童保育所 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい→ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 6. ファミリー・サポート・センター | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 7. その他（公民館、公園など） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問32 問30または問31で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

（2）日曜・祝日

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

問33 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

- | | | |
|-------------------------|---|--|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

問34 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください
(数字は一桁に一字)。
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)	父親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)
--	--

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

2. 仕事が忙しかった

3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった

4. 仕事に戻るのが難しそうだった

5. 昇給・昇格などが遅れそうだった

6. 収入減となり、経済的に苦しくなる

7. 保育園などに預けることができた

8. 配偶者が育児休業制度を利用した

9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

10. 子育てや家事に専念するため退職した

11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)

12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

13. 育児休業を取得できることを知らなかった

14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した

15. その他 ()

問34-1 問34で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問35へ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問34-2 問34-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。
また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（

）

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（

）

問34-6 問34-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問34-7 問34-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（

）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

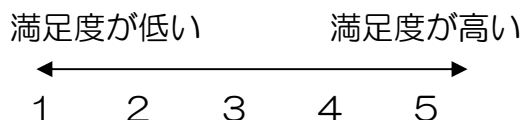
問34-8 問34-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問35 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



問36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、
ご自由にご記入ください。

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

佐倉市子ども・子育て支援に係るニーズ調査 【小学生児童保護者用】

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進について、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。
佐倉市では、早ければ平成27年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めております。新制度は幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための制度で、国が定める「基本指針」に基づいた「子ども・子育て支援事業計画」を各市町村が策定することとされています。

つきましては、皆様の子育て支援に関する現在の状況、今後の利用希望など地域における様々なニーズを正確に把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に活かしていくため、「子ども・子育て支援に係るニーズ調査」を行うこととなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生のお子さんを持つ保護者の方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

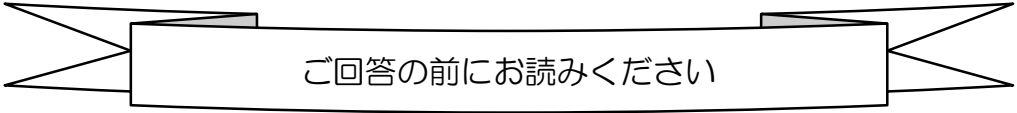
佐倉市の総合的な子ども・子育て支援対策の推進に向けた大変重要な調査ですので、ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

佐倉市

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（平成25年12月末現在）の状況についてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります**。なお、数字は□欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに沿ってご記入ください**。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。**ことわり書きや矢印に沿ってご回答ください**。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、同封の**返信用封筒（切手は不要です）に入れて1月17日（金）までにご投函ください**。
8. お問い合わせは、健康こども部子育て支援課（担当：^{しげの}滋野・^{おがわ}小川）までお願いします。
電話484-6139（直通）



ご回答の前にお読みください

ご回答いただく項目は設問によって異なります。

アンケートに要する時間は、おおむね15分程度ですので、なにとぞご協力をお願いいたします。

佐倉市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成27年度から実施予定）

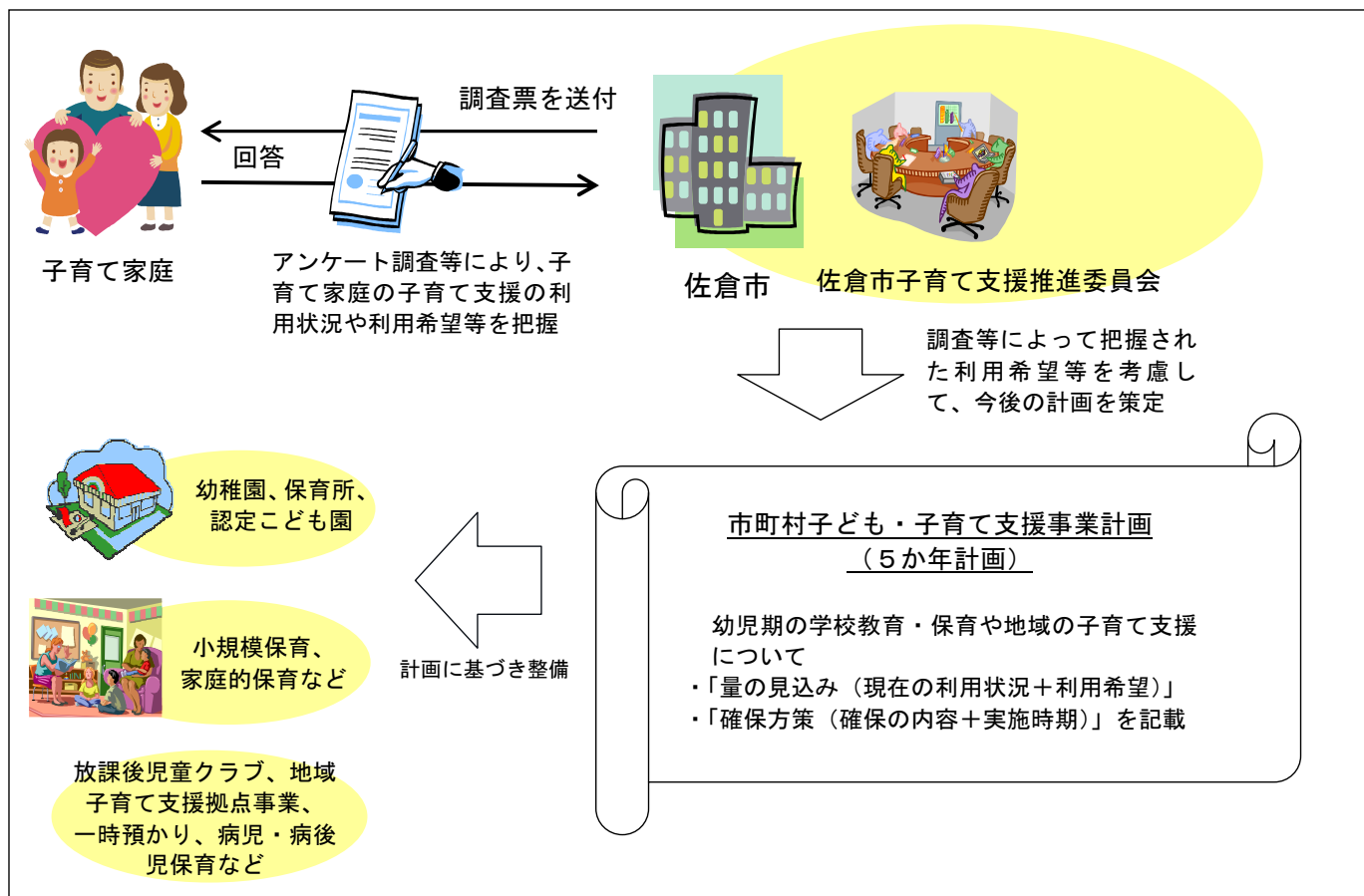
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を佐倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



(用語の定義)

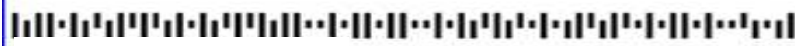
この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 園 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認 定 こ ど も 園 : 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
※現在、佐倉市内には認定こども園はありません。
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : この調査においては家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

285-0000
佐倉市〇〇〇〇〇番地
佐倉 太郎様 の保護者様



00000000000 - 00001

宛名ラベルの左下にある数字のうち、ハイフン（-）の前にある10ケタの数字の、下2ケタの数字（下線部分）が中学校区を示す番号ですので、番号をご確認のうえ、下記の枠の中からお選びになり、該当する番号に○をつけてください。

※左記のラベルはイメージです。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 31. 佐倉中学校区 | 32. 志津中学校区 | 33. 上志津中学校区 | 34. 南部中学校区 |
| 35. 臼井中学校区 | 36. 井野中学校区 | 37. 佐倉東中学校区 | 38. 臼井西中学校区 |
| 39. 西志津中学校区 | 40. 臼井南中学校区 | 41. 根郷中学校区 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの小学校何年生ですか。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

小学校 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は末子の方の生年月をご記入下さい。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんと同居しているご家族の方はどなたですか。
当てはまる番号すべてに○を地付けてください。

1. 母親 2. 父親 3. 姉（ ）人 4. 兄（ ）人
5. 妹（ ）人 6. 弟（ ）人 7. 祖母 8. 祖父

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他（ ） | | | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | |
| 5. 小学校 | | | | 6. その他（ ） |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに〇をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|-----------|
| 1. 家族 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 認可保育園 |
| 5. 認定こども園 | 6. 認可外保育施設 | 7. 小学校 | 8. その他（ ） |

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある 問11-1へ | 2. いない／ない 問12へ |
|------------------------|-----------------------|

問11で「1. いる／ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------|------------------------|----------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等） | 5. 保健所・健康管理センター・保健センター | 6. 小学校教諭 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 | 9. 自治体の子育て関連担当 |
| 10. 民間の子育てグループ等 | 11. その他（ ） | |

問12 子育て（教育を含む）において、現在なにか悩みや不安をお持ちですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 病気や発育・発達に関すること
 2. 食事や栄養に関すること
 3. 育児の方法がよくわからないこと
 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
 6. 話し相手や相談相手がないこと
 7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
 8. 子どもの教育に関すること
 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
 10. 登校拒否、不登校などの問題について
 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
 12. 子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
 15. 子どもを叱りすぎているような気がする
 16. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
 18. その他 差しつかえなければ、具体的にお書きください
- （ ）

問13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ここで言う「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の働き方を言います。

また、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の働き方を言います。

母親	父親
1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない	1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない

問14で「1. ～4.」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は、必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

母親	父親
週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分	週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 15 問 14で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 17へお進みください。

フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある 2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない 3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある 2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない 3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 16 問 14で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい ※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。 （数字は一桁に一字） →希望する働き方	
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間	
4. その他（	

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい ※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。 （数字は一桁に一字） →希望する働き方	
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間	
4. その他（	

問17 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんが小学校に入学する前に平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用していた施設にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる施設のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた
定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育するもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるもの）
12. その他（ ）

宛名のお子さんの就学前の地域子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんが小学校に入学する前に、地域子育て支援拠点事業（レイクピアウスイ内の子育て支援センターや、保育園の園庭開放など、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していましたか。

次の中から、利用していたものすべてに○をつけてください。

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1 週あたり□ 回 もしくは 1 ヶ月あたり□ 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の施設（具体名： ）

1 週あたり□ 回 もしくは 1 ヶ月あたり□ 回程度

3. 利用していない

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、利用していなかったが、できれば利用したかった、あるいは、利用日数を増やしたかったと思いますか。

当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で記入してください。）

1. 利用していなかったが、できれば利用したかった

週あたり□ 回 もしくは 1 ヶ月あたり□ 回程度

2. 週に数回利用していたが、もっと利用日数を増やしたかった

週あたりさらに□ 回 もしくは 1 ヶ月あたりさらに□ 回程度

3. 利用日数の変更は考えなかった。

4. 利用しようとは思わなかった。

問20 問18のような地域子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自宅の近くにある	2. 職場の近くにある
3. バスなどの送迎サービスがある	4. 駐車場がある
5. 気軽に参加できる(申込不要など)	6. 手続きがわかりやすい
7. 講座やイベントが充実している	8. スタッフの対応がよい
9. その他 ()	10. 特にない

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを
お答えください。

①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用し たことがある	C 今後利用したい
①マタニティクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②パパ・ママクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③健康管理センター・南部保健センター・西部保健 センターが実施する相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④公民館が主催する親子遊びなどの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤図書館が主催する絵本のお話会などの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥家庭教育に関する学級・講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧子育て支援センター(レイクピア臼井3階)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨佐倉市教育センター(佐倉東小学校内)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩佐倉市の子育て情報誌「佐倉っ子・子育てナビ」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪佐倉市の民間団体が発行している子育て情報誌 「佐倉子育てカレンダー」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫その他サークルやNPO法人が提供する「親と子 の友達作り」や「親と子が集える場所」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬CSP講座(どならない子育て練習講座)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校や学童保育所をお休みしたことはありますか。

1. あった ⇒ 問22-1へ	2. なかった ⇒ 問23へ
-----------------	----------------

問 22-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで小学校や学童保育所をお休みした場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。（数字は一桁に一字。）

1 年間の対処方法	日数		
ア. 父親が休んだ	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
イ. 母親が休んだ	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
カ. ベビーシッターを利用した	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		
ク. その他 ()	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 日		

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。
 （数字は一枠に一字）なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい ⇒

--	--

 日 ⇒ 問22-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

問22-3 問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに
○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（ ）
--

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよいくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問22-5 問22-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒

--	--

 日

2. 休んで看することは非常に難しい

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問23 あて名のお子さんについて、放課後はどのように過ごしていますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
 また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。
 時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）
 ※学童保育所…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 週 日くらい

2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい

3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい

4. 児童センター・老幼の館 ※1 週 日くらい

5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで

6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい

7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用している場合は「5.」に回答してください。

問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごさせていたか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

学童保育所…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※1 週 日くらい
5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごさせていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 自宅 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※ 週 日くらい
5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問26 問24または問25で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

問27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください
(数字は一枠に一字)。

また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)	父親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)
--	--

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育園などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 ()

問28-1 問28で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問29へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問28-2 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったとい

う場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問28-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親	(2) 父親
1. 実際の取得期間 歳 ヶ月	1. 実際の取得期間 歳 ヶ月
2. 希望 歳 ヶ月	2. 希望 歳 ヶ月

問28-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親	(2) 父親
歳 ヶ月	歳 ヶ月

問28-5 問28-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（

）

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他（

）

問28-6 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問28-7 問28-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（

）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

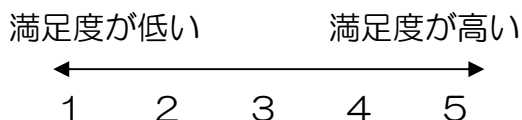
問28-8 問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問29 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



問30 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、
ご自由にご記入ください。

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。